

(様式第 10)

九大院医医第
平成 30 年 10 月

厚生労働大臣

殿

九州大学総長 久保 千尋

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒819-0395 福岡市西区元岡744
氏 名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	電話 (092) 641-1151 (代表)
------------------------	------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有・無		
内科と組み合わせた診療科名等			
1 呼吸器内科	2 消化器内科	3 循環器内科	4 腎臓内科
⑤ 神経内科	6 血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11 リウマチ科
診療実績			
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。			
・循環器内科は循環器科で診療を行っている。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科
4心臓外科		
⑧小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科	⑧産科
⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	14放射線治療科		
⑮麻酔科	⑯救急科						

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 病理診断科・病理部	3 形成外科	4 心療内科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
93床	床	床	床	1,182床	1,275床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	370人	269人	585.2人	看護補助者	23人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	91人	78人	153.4人	理学療法士	22人	臨床検査技師	107人
薬 剤 師	89人	0人	89人	作業療法士	10人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助 産 師	43人	0人	43人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1176人	12人	1184.4人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	15人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	26人
歯科衛生士	20人	0人	20人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	358人
管理栄養士	9人	0人	9人	診療放射線技師	66人	その他の職員	171人

- (注) 1 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	112人	眼 科 専 門 医	19人
外 科 専 門 医	57人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精 神 科 専 門 医	13人	放射線科専門医	28人
小 児 科 専 門 医	37人	脳神経外科専門医	9人
皮 膚 科 専 門 医	6人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	12人	麻 酔 科 専 門 医	20人
産婦人科専門医	24人	救 急 科 専 門 医	0人
		合 計	363人

- (注) 1 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (赤 司 浩 一) 任命年月日 平成 30 年 4 月 1 日

- ・平成 16 年度より平成 29 年度末まで輸血センター長及び輸血委員会委員長として九州大学病院の輸血・血漿交換等に関する医療安全管理業務を担当した。
- ・平成 20 年度より平成 29 年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	1,104.4 人	34.5人	1,138.9 人
1 日当たり平均外来患者数	2,281.7 人	712 人	2,993.7 人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数			2,228 剤
必要医師数			245.835 人
必要歯科医師数			40 人
必要薬剤師数			28 人
必要（准）看護師数			672 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	442.93m ²	鉄筋コンクリート	病 床 数	12床
			人工呼吸装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無
無菌病室等	【固定式の場合】 床面積 1,226.28 m ² 【移動式の場合】 台 数 4 台		心 電 計	有・無
医 薬 品 情報管理室	【専用室の場合】 床 積 84.74 m ² 【共用室の場合】 共用する室名		心細動除去装置	有・無
化学検査室	1,597 m ²	SRC	ペースメーカー	有・無
細菌検査室	629 m ²	SRC		
病理検査室	371 m ²	SRC		
病理解剖室	350 m ²	SRC		
研 究 室	m ²			
講 義 室	m ²			
図 書 室	m ²			

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算出根拠	紹介率	81.6%	逆紹介率	75.1%
	A：紹介患者の数			21,200人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			21,050人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,658人
	D：初診の患者の数			28,018人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
古賀 和徳	産業医科大学	○	安全管理の識見者	有・ 無	1
木村早希子	佐賀大学		安全管理の識見者	有・ 無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	有・ 無	1
秋好美代子	さく病院		安全管理の識見者	有 ・無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	有・ 無	1
宮部 治恵	NPO 法人キャンサーサポート		医療を受ける者	有・ 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 九州大学病院ホームページ	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション	0人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	12人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	10人
LDLアフェレシス療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロビドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	2人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	1人
シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示

第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数
疾患名	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球腎性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	225	
2 筋萎縮性側索硬化症	33	57	特発性拡張型心筋症	129	
3 脊髄性筋萎縮症	5	58	肥大型心筋症	25	
4 原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0	
5 進行性核上性麻痺	6	60	再生不良性貧血	62	
6 パーキンソン病	135	61	自己免疫性溶血性貧血	4	
7 大脳皮質基底核変性症	11	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	
8 ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	73	
9 神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	
10 シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	50	
11 重症筋無力症	198	66	IgA 腎症	35	
12 先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	36	
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	313	68	黄色靱帯骨化症	5	
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	51	69	後縦靱帯骨化症	71	
15 封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	9	
16 クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	212	
17 多系統萎縮症	26	72	下垂体性ADH分泌異常症	27	
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	81	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	
19 ライソゾーム病	16	74	下垂体性PRL分泌亢進症	35	
20 副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	18	
21 ミトコンドリア病	16	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	8	
22 もやもや病	85	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	51	
23 プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	108	
24 亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	
25 進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0	
26 HTLV-1関連脊髄症	8	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4	
27 特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0	
28 全身性アミロイドーシス	22	83	アジソン病	3	
29 ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	123	
30 遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	35	
31 ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	57	
32 自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1	
33 シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	66	
34 神経線維腫症	42	89	リンパ管筋腫症	6	
35 天疱瘡	31	90	網膜色素変性症	189	
36 表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	6	
37 膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	5	
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	5	93	原発性胆汁性肝硬変	124	
39 中毒性表皮壊死症	2	94	原発性硬化性胆管炎	0	
40 高安動脈炎	77	95	自己免疫性肝炎	14	
41 巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	356	
42 結節性多発動脈炎	14	97	潰瘍性大腸炎	480	
43 顕微鏡的多発血管炎	24	98	好酸球性消化管疾患	3	
44 多発血管炎性肉芽腫症	14	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	3	
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	
46 悪性関節リウマチ	11	101	腸管神経節細胞減少症	0	
47 パージャール病	24	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0	
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0	
49 全身性エリテマトーデス	545	104	コステロ症候群	0	
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	154	105	チャージ症候群	0	
51 全身性強皮症	178	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	
52 混合性結合組織病	49	107	全身型若年性特発性関節炎	1	
53 シェーグレン症候群	30	108	TNF受容体関連周期性症候群	1	
54 成人スチル病	14	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1	
55 再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0	

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	2	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4
113 筋ジストロフィー	4	163 特発性後天性全身性無汗症	1
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	4
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	5
116 アトピー性脊髄炎	7	166 弾性線維性仮性黄色腫	1
117 脊髄空洞症	3	167 マルファン症候群	4
118 脊髄髄膜瘤	1	168 エーラス・ダンロス症候群	0
119 アイザックス症候群	2	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	7
122 脳表ヘモジデリン沈着症	1	172 低ホスファターゼ症	1
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	0
124 皮膚下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ベリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	2	177 有馬症候群	0
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	3
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/トモルシア症候群	0	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
135 アイカルティ症候群	6	185 コフィン・シリズ症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスムンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	1	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	2
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	1
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	2
142 ミオクロニー欠伸てんかん	0	192 コケイン症候群	1
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193 ブラダー・ウィリ症候群	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソース症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	2
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンブソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	1	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	3
158 結節性硬化症	0	208 修正大血管転位症	9
159 色素性乾皮症	1	209 完全大血管転位症	9
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	12

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212	三尖弁閉鎖症	3	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	4	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	25	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	3	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	3	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	5
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	22	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	20
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	2
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	1	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	2	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	3
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性肺炎	0
251	尿素サイクル異常症	2	299	囊胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	10
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	3
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	7

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	319 セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308 進行性白質脳症	0	320 先天性グリコシルホスファチシルイノシトール(GPI)欠損症	0
309 進行性ミオクローヌスてんかん	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
310 先天異常症候群	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	326 大理石骨病	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316 カルニチン回路異常症	0	328 前眼部形成異常	0
317 三頭酵素欠損症	0	329 無虹彩症	0
318 シトリン欠損症	0	330 先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・患者サポート体制充実加算
・歯科外来診療環境体制加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神科棟13対1)	・総合評価加算
・臨床研修病院入院診療加算(医科・歯科)	・後発医薬品使用体制加算 4
・救急医療管理加算 1・2	・データ提出加算 2
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算 1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・入退院支援加算 3
・診療録管理体制加算 1	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算の加算)
・医師事務作業補助体制加算(25対1)	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・精神疾患診療体制加算
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・療養環境加算	・救命救急入院料 1(CCU病棟)
・重症者等療養環境特別加算	・救命救急入院料 3(ハイケア病棟)
・無菌治療室管理加算 2	・救命救急入院料 4(救命ICU)
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料 1
・精神科リエゾンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・がん診療連携拠点病院加算 1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・
・歯科医師連携加算	・
・医療安全対策加算 1	・
・感染防止対策加算 1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・高度難聴指導管理料	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・糖尿病合併症管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料 イ	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料 ロ	・造血器腫瘍遺伝子検査
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・抗体同時測定定性
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・糖尿病透析予防指導管理料	・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	(簡易ジェノタイプ判定)
・外来リハビリテーション診療料 1・2	・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(IV)
・ニコチン依存症管理料	・国際標準検査管理加算
・療養・就労両立支援指導料	・遺伝カウンセリング加算
・がん治療連携計画策定料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん治療連携管理料	・植込型心電図検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料 1	・長期継続頭蓋内脳波検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料 2	・長期脳波ビデオ同時記録検査 1
・認知症専門診断管理料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・肝炎インターフェロン治療計画料	・脳磁図
・薬剤管理指導料	・脳波検査診断料 1
・地域連携診療計画加算(診療情報提供料 I の加算)	・神経学的検査
・医療機器安全管理料1	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料2	

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・内服・点滴誘発試験	・各リハビリテーション料の初期加算
・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	・歯科口腔リハビリテーション料 2
・精密触覚機能検査	・児童思春期精神科専門管理加算
・画像診断管理加算 3	・救急患者精神科継続支援料
・歯科画像診断管理加算 1	・認知療法・認知行動療法 1
・歯科画像診断管理加算 2	・認知療法・認知行動療法 2
・遠隔画像診断	・精神科作業療法
・ポジトロン断層撮影	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピュータ断層複合撮影	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・CT撮影及びMRI撮影	・医療保護入院等診療料
・冠動脈CT撮影加算	・硬膜外自家血注入
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・大腸CT撮影加算	・人工腎臓・慢性維持透析を行った場合 1
・心臓MRI撮影加算	・導入期加算 2
・乳房MRI撮影加算	・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・一酸化窒素吸入療法
・頭部MRI撮影加算	・手術用顕微鏡加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・口腔粘膜処置
・外来化学療法加算 1	・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算
・無菌製剤処理料	・CAD/CAM 冠
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・羊膜移植術	(リードレスペースメーカーの場合)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術
・網膜再建術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・人工中耳植込術	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・補助人工心臓
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・小児補助人工心臓
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・同種心移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・経皮的大動脈遮断術
・内視鏡下筋層切開術	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・経皮的冠動脈形成術	・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下肝切除術
	・生体部分肝移植術
	・同種死体肝移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下腓頭十二指腸切除術	・歯周組織再生誘導手術
・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・生体部分小腸移植術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・同種死体小腸移植術	・歯根端切除手術の注3
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・レーザー機器加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・麻酔管理料(Ⅰ)(Ⅱ)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・放射線治療専任加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・高エネルギー放射線治療
・同種死体腎移植術	・1回線量増加加算
・生体腎移植術	・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)
・膀胱水圧拡張術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・病理診断管理加算2
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・口腔病理診断管理加算2
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料Ⅰ	・歯科矯正診断料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの
	・入院時食事療養(Ⅰ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	29回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 87 例 / 剖検率 34.7 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	全てのヒト骨髄性腫瘍が依存する、新規がん幹細胞維持機構の解明	赤司 浩一	第一内科	2,652 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
2	全ゲノム機能的CRISPRスクリーニングによる新規白血病治療標的分子の探索	前田 高宏	第一内科	1,430 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
3	原発性胆汁性胆管炎模倣培養系からのゲノム・脂質情報を利用した新規治療法の開発	下田 慎治	第一内科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
4	骨髄性およびリンパ性白血病幹細胞に共有されるTIM-3増殖シグナル機構の解析	宮本 敏浩	第一内科	429 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
5	幹細胞ニッチの機能破綻による発癌機構の解明	國崎 祐哉	第一内科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
6	高感度シングルセル解析を用いたヒト造血幹細胞分画の層別化	森 康雄	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
7	突発性心停止におけるサルコペニアの関与および作用点の解明	深田 光敬	第一内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
8	新規細胞系列ILCsの関節リウマチ発症・進展における役割の解明	有信 洋二郎	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	全身性強皮症の病態形成におけるマスト細胞および生理活性物質の役割の解明	赤星 光輝	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
10	骨髄増殖性疾患における、CALR遺伝子変異によるJAK2活性化メカニズムの解明	野波 篤	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
11	インフラマソームの制御機構の解明と自己免疫疾患治療への応用	三苦 弘喜	第一内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
12	ヒト検体を用いた消化器癌幹細胞の分化制御機構の解明と遠隔転移抑制法の確立	馬場 英司	第一内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
13	膵ベータ細胞における発生および成熟過程のエピジェネティック制御機構の解明	勝田 仁	第一内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
14	Prdm16を介したミトコンドリア代謝経路の造血幹細胞制御における役割の解明	亀崎 健次郎	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
15	自己免疫疾患の病態におけるエフェクターB細胞と制御性B細胞の役割	新納 宏昭	第一内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
16	Exhaustion関連分子による白血病幹細胞制御機構の解明	菊繁 吉謙	第一内科	780 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
17	アポトーシス/CD300aを基軸とした全身性強皮症の病態解明と新規治療法開発	綾野 雅宏	第一内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
18	脳腫瘍の酸化ストレス抵抗性を打破する新規治療法の開発	土橋 賢司	第一内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
19	腫瘍性幹細胞を標的とするヒト骨髄増殖性腫瘍制御法の確立	山内 拓司	第一内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
20	C型肝炎等に対するCBP/β-カテニン阻害剤を用いた抗線維化治療薬の開発	下田 慎治	第一内科	650 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
21	急性型及びリンパ腫型成人T細胞白血病のゲノム解析とバイオマーカーに基づいた造血幹細胞移植の最適化に関する研究	加藤 光次	第一内科	65 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
22	急性腎障害におけるアルギナーゼ2の役割とその制御機構の解明	鳥巢 久美子	第二内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
23	慢性腎臓病(CKD)進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究	鶴屋 和彦 (分担)	第二内科	20 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
24	多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立	鶴屋 和彦 (分担)	第二内科	20 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
25	細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	5,185 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
26	DNAメチル化に着目した「エピゲノム記憶」の分子機構と機能的意義の解明	小川 佳宏	第三内科	494 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
27	ω-3多価不飽和脂肪酸のDNAメチル化制御作用と機能的意義の解明	小川 佳宏	第三内科	494 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
28	脂肪組織のHealthy Expansionの分子機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	390 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
29	「エピゲノム記憶」の概念の確立～生活習慣病の先制医療の実現に向けて～	小川 佳宏	第三内科	3,000 万円	補 公益財団法人 セコム科学技術振興財団
30	末梢血単核球を用いた急性肝障害における免疫システム異常の評価	国府島 庸之	第三内科	100 万円	補 公益財団法人 武田科学振興財団
31	肝細胞癌における糖・脂質代謝の変化とその発癌・悪性化への関与に関する検討	国府島 庸之	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
32	神経および単球特異的GLP-1受容体欠損マウスを用いた臓器保護効果機序の検討	園田 紀之	第三内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
33	サイトカインプロファイル解析による食道アカシアの病態解明	伊原 栄吉	第三内科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
34	神経性ニコチン受容体を標的とした食道アカシア及び食道胃接合部通過障害の病態解明	伊原 栄吉	第三内科	200 万円	補 公益財団法人喫煙科学研究財団
35	腸内細菌・発酵産物による制御性T細胞表面結合TGF-β発現誘導の研究	中村 和彦	第三内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
36	プリン作動性化学伝達による糖代謝制御機構	坂本 昌平	第三内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
37	プリンシパルによる代謝調節機構の解明	坂本 昌平	第三内科	100 万円	補 公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団
38	神経性やせ症の病態解明と新パラダイムの創出:腸内細菌による体重・行動特性の制御	須藤 信行	心療内科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
39	ストレスはバクテリアルトランスロケーションを惹起する:高感度測定法による解析	須藤 信行	心療内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
40	不眠症に対する自律訓練法の効果研究:薬物療法とのランダム化比較試験	富岡 光直	心療内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
41	線維筋痛症と中枢性感作に関するトランスレーショナルリサーチ:精神神経免疫学的側面からの病態解明と評価法開発	細井 昌子	心療内科	750 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
42	一般住民における心理特性・自律神経機能・失体感傾向と慢性疾患の関連:久山町関連	細井 昌子	心療内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
43	幼少期の体験に注目したより有効な慢性疼痛に対する認知行動療法の開発	安野 広三	心療内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
44	神経性やせ症の入院治療ランダム化試験とバイオマーカーとしてのmiRNAの応用	高倉 修	心療内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
45	神経性食欲不振症の治療がもたらす脳機能の変化とその意義の解明	権藤 元治	心療内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
46	肥満治療におけるリバウンド防止効果の検証—認知行動療法とマインドフルネスのRCT	野崎 剛弘	心療内科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
47	報酬系おセルフコントロールの関連およびその脳内基盤	吉原 一文	心療内科	200 万円	委 公益財団法人 喫煙科学研究財団
48	慢性疲労症候群の病院病態の病因病態の解明と画期的診断・治療法の開発	吉原 一文	心療内科	50 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
49	ME/CFS 患者の心身医学的分析	吉原 一文	心療内科	183 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
50	CFS患者に対する臥位アイトメトリックヨガの有用性、安全性、及び奏功機序に関する研究	吉原 一文	心療内科	110 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
51	SP-D欠損マウスを用いた喘息COPDオーバーラップ症候群の病態解析と治療法探索	福山 聡	呼吸器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
52	閉塞性肺疾患の増悪に関わるB7H1に対し既存薬再開発を含めた創薬をめざす基盤研究	松元 幸一郎	呼吸器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
53	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における癌幹細胞マーカーCD44vの機能解析	岡本 勇	呼吸器科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
54	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	岡本 勇	呼吸器科	25 万円	補 国立がん研究センターがん研究開発費

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
55	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	1,450 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
56	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ベメレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験	岡本 勇	呼吸器科	318 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
57	高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	30 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
58	PD-1阻害抗体の抗腫瘍効果を増強するミトコンドリア活性化剤を用いた新規併用治療法の開発	岡本 勇	呼吸器科	9,254 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
59	生体多光子励起イメージング技術を利用した新規低侵襲・高解像度がん診断装置の開発	加藤 聖子	産科婦人科	512 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
60	難治性疾患実用化研究事業 先天性心疾患の患者教育とトータルライフケアをめざした医療情報集約システムの構築	加藤 聖子	産科婦人科	10 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
61	子宮平滑筋肉腫の早期診断と効果的治療法の確立を目指したOMICS解析	園田 顕三	産科婦人科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
62	マイクロRNAを介した子宮体癌の進展制御を司る新たな分子機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
63	婦人科悪性腫瘍の進展におけるGα13の役割	八木 裕史	産科婦人科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
64	胎児期睡眠形成と子どもの睡眠障害との関連に関する研究	諸隈 誠一	産科婦人科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
65	『機能リズム障害としての自閉症』仮説検証	諸隈 誠一	産科婦人科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
66	日本人胎児の心室壁厚のノモグラム作成および耐糖能異常母体における逸脱の観察	城戸 咲	産科婦人科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
67	健康医療データ多層統合プラットフォーム 発達障害・小児疾患多層統合プラットフォーム開発ユニット	諸隈 誠一 (分担)	産科婦人科	400 万円	補 理化学研究所 医科学 イノベーションハブ 推進プログラム
68	特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器内科	1,026 万円	委 厚生労働科学研究費補助金
69	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	14,052 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
70	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録観察研究	筒井 裕之	循環器内科	728 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
71	心不全の発症・重症化の高精度予測とそれに基づく最適な治療戦略の開発	筒井 裕之	循環器内科	986 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
72	循環器病医療の適正化に資するための、全国大規模データベースによるエビデンスの創出	筒井 裕之	循環器内科	14,000 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
73	心筋リモデリングにおけるmitoNEETによるミトコンドリア機能制御機構の解明	筒井 裕之	循環器内科	520 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
74	重症心不全における自由水排泄促進に抗する代償機構の解明	日浅 謙一	循環器内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	低酸素応答による生理的心肥大抑制を介した心不全発症機転の解明	池田 昌隆	循環器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
76	Nox4を介したミトコンドリア形態制御の分子基盤解明による新たな心不全治療の開発	松島 将士	循環器内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
77	トラスツマブ誘発性心筋症の危険因子の同定と機序解明	大谷 規彰	循環器内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	肺高血圧症の閉塞性病変進展における炎症誘導機構の解明および新規治療法の開発	阿部 弘太郎	循環器内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
79	急性心筋梗塞後の心臓修復を促進する革新的PPAR γ ナノ医薬の研究開発	的場 哲哉	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
80	生体内で細胞同調機能を再現しうるナノ粒子システムの開発	的場 哲哉	循環器内科	520 万円	委 文部科学省 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) さきがけ
81	電子カルテ情報をセマンティクス(意味・内容)の標準化により分析可能なデータに変換するための研究	的場 哲哉	循環器内科	130 万円	委 厚生労働科学研究費補助金
82	脳内レニンアイソフォームの発現調整異常は慢性心不全の発症機序に寄与しているか	篠原 啓介	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
83	Fontan手術後患者における肺血管拡張薬有用性の機序解明	坂本 一郎	循環器内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
84	脂質ラジカル可視化技術によるミトコンドリア核連関の解明と心不全治療への応用	井手 友美	循環器内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
85	臍帯血を用いた新生児・小児の肝再生細胞療法の研究	大賀 正一	小児科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
86	亜急性硬化性全脳炎の病態解明とバイオマーカーの確立	大賀 正一 (分担)	小児科	30 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
87	小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	10 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
88	慢性活動性EBウイルス感染症と類縁疾患の疾患レジストリとバイオバンクの構築	大賀 正一 (分担)	小児科	75 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
89	新生児・乳児に発症する突発性血栓症の病態解明および治療管理法と根治療法の確立に関する研究	大賀 正一	小児科	693 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
90	先天性赤芽球癆(Diamond-Blackfan貧血)の新規原因遺伝子の同定と病態解明に関する研究	大賀 正一 (分担)	小児科	50 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
91	X連鎖劣性遺伝性疾患女性患者由来iPS細胞を用いたX染色体不活化機構の解明	高田 英俊	小児科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
92	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	高田 英俊 (分担)	小児科	60 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
93	シース探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシリズマブの医師主導治験	高田 英俊 (分担)	小児科	160 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
94	PS細胞を活用した血液・免疫系難病に対する革新的治療薬の開発	高田 英俊 (分担)	小児科	215 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
95	神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証班	酒井 康成 (分担)	小児科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
96	小児がん患者における輸血後鉄過剰症に対する鉄キレート療法の有用性	古賀 友紀	小児科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
97	Pten変異マウスを用いた新しいてんかん病理・治療モデルの確立	酒井 康成	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
98	重篤な疾患や障害をもつ子どもの延命に関わる治療方針決定について	戸田 尚子	小児科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
99	新生児気管支肺異形成BPD重症化因子の検索と炎症特異的な治療戦略の開発	落合 正行	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
100	mTOR阻害薬による川崎病患者血清特異的物質の炎症惹起作用抑制の検討	西尾 壽乗	小児科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
101	川崎病の新規診断法の確立	西尾 壽乗	小児科	221 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
102	脂肪萎縮性糖尿病原因遺伝子POLDIの機能解析	大久保 一宏	小児科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
103	動脈硬化早期における未知の内因性NOD1リガンドの検索	神野 俊介	小児科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
104	極低出生体重児における高フェリチン血症の病態解析	藤吉 順子	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
105	先天性門脈体循環シャント症候群を引き起こす遺伝的要因の解明	石井 加奈子	小児科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
106	肺静脈狭窄症の成因・病態の解明、および有効治療の確立	平田 悠一郎	小児科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
107	胎児子宮内発育遅延の病因病態に関する研究 -血管炎との関連について-	井上 普介	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
108	早産児の低酸素性脳傷害とてんかん発症を防御する遺伝子群の解明	鳥尾 倫子	小児科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	Toll様受容体を介す熱性痙攣と続発性てんかんの病態解明と新規分子標的療法の開発	石崎 義人 (分担)	小児科	15 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
110	難治性リンパ管疾患レイジストリを活用したリンパ管疾患鑑別診断法の確立及び最適治療戦略の導出	木下 義晶	小児科	52 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
111	難治性リンパ管異常に対するシロリムス療法確立のための研究	木下 義晶	小児科	275 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
112	転移を導く臓器特異的リーディングセルの解明と微小転移環境モデリングの制御	中村 雅史	第一外科	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
113	3Dバイオブリンターを用いた肺癌微小環境モデルによる新たな浸潤・転移機序の可視化	中村 雅史	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
114	肺癌の新たな転移・再発機序の解明;肺管内播種に着目して	大塚 隆生	第一外科	559 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
115	肺オルガノイドを用いたリーディングPSC誘導基底膜破壊機序解明と基底膜制御法開発	大内田 研宙	第一外科	598 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
116	肺癌進展・防御に関わる微小環境のphenotype switchingによる制御	大内田 研宙	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
117	肺癌前癌病変周囲の間質細胞由来exosomeに着目したバイオマーカーの開発	宮坂 義浩	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
118	大腸癌肝転移・腹膜播種におけるexosomeによる微小環境誘導メカニズムの解明	藤田 逸人	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
119	肺癌の転移・播種における間質細胞(線維芽細胞・腭星細胞)との関わり	森山 大樹	第一外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
120	腭星細胞におけるオートファジー誘導を標的とした新規創薬スクリーニング	仲田 興平	第一外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
121	大腸癌肝転移高危険群選別を目的とした門脈系エクソソーム中RNA・タンパク質解析	貞苺 良彦	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
122	他施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立	前原 喜彦	第二外科	1,000 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
123	がん幹細胞化に関与するSphere形成メカニズムを標的とした革新的治療開発	前原 喜彦	第二外科	4,030 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
124	難治性がんにおけるSelf-niche仮説の提唱と革新的治療の開発	前原 喜彦	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
125	腹部大動脈瘤の成因究明—動脈瘤壁の瘤化と老化制御遺伝子BubR1の発現との関連—	古山 正	第二外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
126	がんのニオイ発生の分子機序解明と新しいがん診断法の開発	沖 英次	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
127	消化管癌における免疫チェックポイント阻害剤の分子機序解明とがん免疫複合療法の開発	佐伯 浩司	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
128	脂肪肝の再生におけるオートファジーの役割と分子機序の解明	池上 徹	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	ストレス応答性転写因子による代謝プログラミングを標的とした肝癌への革新的治療	伊藤 心二	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
130	肝細胞の代謝制御におけるオートファジーの意義-KO細胞の網羅的メタボローム解析	戸島 剛男	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
131	胃癌のがん幹細胞を標的とした薬剤耐性獲得の分子機序の解明と新規治療の開発	中島 雄一郎	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
132	糖尿病に着目した腹部大動脈瘤の病態解析~DPP-4阻害薬の瘤形成抑制効果の検討~	森崎 浩一	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
133	ヒストンメチル化によるPD-L1発現調節の分子機序解明	豊川 剛二	第二外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
134	肝線維芽細胞による免疫細胞との相互作用と肝発癌のメカニズムの解明	間野 洋平	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
135	肝発癌を促進する微小環境制御による革新的な癌治療法の開発・研究	本村 貴志	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
136	ヒト肝臓検体の採取及び、新規RNAウイルスの病態への関与	本村 貴志	第二外科	300 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
137	新たな免疫制御細胞に着目した悪性胸膜中皮腫に対する複合免疫療法の開発	田川 哲三	第二外科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
138	トリプルネガティブ乳癌における多様性の分子機序解明と新規治療への展開	山下 奈真	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
139	DNAミスマッチ修復異常大腸癌における免疫寛容誘導メカニズムの解明	中西 良太	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
140	肝類洞様血管構造解析による肝細胞癌に対する肝移植後再発機序の解明	原田 昇	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
141	消化器癌におけるtopol阻害剤の作用増幅を目指した新規小分子化合物の探索と応用	安藤 幸滋	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
142	消化管癌のRNAにおけるN6-メチルアデニン(m6A)による癌制御メカニズム	工藤 健介	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
143	高密度スキャフォールドフリー脂肪由来幹細胞構造体を用いた骨軟骨組織再生の実用化推進臨床研究	中島 康晴	整形外科	3,250 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
144	骨軟部腫瘍における薬剤感受性・耐性機構の解明に基づいた新規個別化薬物治療の開発	遠藤 誠	整形外科	468 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
145	骨軟部腫瘍に対する新規免疫療法の開発	遠藤 誠	整形外科	100 万円	補 公益財団法人 整形災害外科学研究所助成財団
146	変形性関節症の早期病態に即した治療標的分子の探索	赤崎 幸徳	整形外科	1,079 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
147	長寿遺伝子であるFOXO転写因子の活性化による変形性関節症治療	赤崎 幸徳	整形外科	160 万円	補 平成29年度長寿科学研究者支援事業
148	FOXOターゲット因子、C10orf10/DEPP蛋白の軟骨細胞における機能解析と軟骨変性治療標的としての有用性の検討	赤崎 幸徳	整形外科	100 万円	補 整形災害外科学研究所助成財団
149	血管収縮の観点から行う大腿骨頭壊死症の病態解析と予防法の確立	池村 聡	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
150	RNA結合タンパクMusashi2の破骨細胞における機能解明:動物モデルの確立	藤原 稔史	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
151	Ewing肉腫におけるRNA結合タンパクMusashiの役割	藤原 稔史	整形外科	10 万円	補 公益財団法人福岡県すこやか健康事業団
152	悪性骨軟部腫瘍におけるエリブリンメシル酸塩による低酸素環境の改善	薛 宇孝	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
153	脊髄損傷後の自己修復メカニズムに関わる因子の同定と新規治療法の確立	岡田 誠司	整形外科	611 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
154	黄色靭帯肥厚の分子生物学的メカニズムの解明と新規薬物治療法の開発	岡田 誠司	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
155	MMP2/MT1-MMP機能不全に伴う骨破壊機序の解明	福士 純一	整形外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
156	膠芽腫におけるHDAC7発現の機能的意義の解明と標的療法の確立	吉本 幸司	脳神経外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
157	小児脳腫瘍に対する多施設共同利用による治療開発	吉本 幸司	脳神経外科	110 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
158	グリオーマの分子病理学的診断のための、統合的解析プラットフォームの構築	秦 暢宏	脳神経外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
159	オプトジェネティクスを用いた閉ループ脳深部刺激システムの開発	吉田 史章	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
160	オプトジェネティクスを用いた不随意運動疾患根治療法装置の開発	吉田 史章	脳神経外科	180 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
161	光による不随意運動疾患根治法	吉田 史章	脳神経外科	1716 万円	委 文部科学省 国立研究開発法人科学技術振興機構(IST) さきがけ
162	膠芽腫に対するBevacizumab治療における血中バイオマーカーの同定	空閑 太亮	脳神経外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
163	脳動脈瘤に対するNADPH oxidaseをターゲットとしたナノ粒子治療の開発	西村 中	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
164	神経膠腫におけるデジタルPCR法を用いたLiquid biopsyの確立	赤木 洋二郎	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
165	ヒルシスブルング病および類縁疾患の治療としての新腸管作成に関する研究	田口 智章	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
166	ヒルシスブルング病および類縁疾患における乳歯幹細胞による病因解明と新規治療開発	田口 智章	小児外科	871 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
167	小児固形悪性腫瘍に対する、免疫学的糖鎖解析法を用いた新規診断システム法の開発	木下 義晶	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
168	薬剤抵抗性小腸移植片拒絶反応に対する細胞治療法の確立	松浦 俊治	小児外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
169	疾患特異的歯髄幹細胞を用いたヒルシスブルング病モデル腸管の作製及び機能解析	伊崎 智子	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
170	ヒト歯髄幹細胞による肝不全に対する新規再生医療の開発	林田 真	小児外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
171	神経芽腫に対する革新的手術シミュレーション・ナビゲーションシステムの開発	宗崎 良太	小児外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
172	小児肝移植におけるリンパ球及びその遊走因子の解析による免疫監視システムの開発	江角 元史郎	小児外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
173	ヒルシスブルング病類縁疾患におけるアセチルコリンレセプター発現の解析	三好 きな	小児外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
174	高解像度画像システムを用いた小腸移植後拒絶反応の革新的診断法の開発	高橋 良彰	小児外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
175	突然変異抑制遺伝子MTH1の小児固形悪性腫瘍における発現解析と新規治療への応用	武本 淳吉	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
176	バイオ3Dプリンターを用いた胆管構造を有する大型肝組織作製法の開発	柳 佑典	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
177	ヒト乳歯歯髄幹細胞によるヒルシスブルング病類縁疾患に対する新規再生医療の開発	吉丸 耕一朗	小児外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
178	内視鏡外科手術における画像処理技術を用いた擬似的視点変更システムの開発	小幡 聡	小児外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
179	技術評価システムを備えた小児希少高難度内視鏡外科手術・網羅的シミュレータの構築	神保 教広	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
180	羊水由来間葉系幹細胞の脱細胞化気管への投与による広範気管再生医療	和田 桃子	小児外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
181	先天性横隔膜ヘルニアモデルマウス低形成肺に対する脱落乳歯歯髄幹細胞の有用性の検討	近藤 琢也	小児外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
182	小児期からの移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	田口 智章	小児外科	2227.9 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
183	短腸症の重症度分類・集学的小腸リハビリテーション指針作成に関する研究	松浦 俊治	小児外科	100 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
184	大動脈ステント内挿術後の左心機能を心臓エナジェティクス解析により評価する試み	大石 恭久	心臓血管外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
185	左心補助下の右心バイパス手術は機械的右心補助の代替手段となり得るか	田ノ上 禎久	心臓血管外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
186	幹細胞移植による心筋再生療法—アクチン重合制御因子Fhod3を用いた新たな試み	帯刀 英樹	心臓血管外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
187	大動脈手術における脊髄保護戦略:遅発性対麻痺に対するネクロプトーシスの検討	元松 祐馬	心臓血管外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
188	植込型補助人工心臓装着後の出血性合併症予知法および予防法の確立に関する研究	塩瀬 明 (分担)	心臓血管外科	20 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
189	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	古江 増隆	皮膚科	20,971 万円	補 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 食品の安全確保推進研究
190	内因性AhRリガンドのアトピー性皮膚炎への効果	内 博史	皮膚科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
191	新規IL-1サイトカインによる表皮バリア機能の制御	三苦 千景	皮膚科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
192	エンドセリン-1のアトピー性皮膚炎における炎症やかゆみへの影響—その機序の解明—	中原 真希子	皮膚科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
193	免疫チェックポイント分子発現調節による樹状細胞能の変化と抗腫瘍効果に関する研究	立神 勝則	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
194	上部尿路がん早期発見を目的とした新規検査法の開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
195	ゲノムワイドSNPアレイによる転移性前立腺癌治療の個別化医療の確立と最適化	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
196	免疫チェックポイント阻害剤併用による新規膀胱内BCG注入療法の開発	武内 在雄	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
197	Adipokineと膀胱癌- PGE2を介した新規メカニズムの解明	柏木 英志	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
198	去勢抵抗性前立腺癌におけるLASP1の機能解析および治療への応用	出嶋 卓	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
199	ヒト末梢血誘導型ミクログリア様細胞を用いた慢性疲労症候群の客観的評価系の確立	扇谷 昌宏	精神科神経科	390 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
200	精神疾患の興奮性・抑制性神経機能-脳磁図研究	鬼塚 俊明	精神科神経科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
201	久山町高齢住民における認知症の実態とその危険因子・防御因子の解明に関する縦断研究	小原 知之	精神科神経科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
202	統合失調症患者の聴覚定常反応についての多角的・縦断的研究	織部 直弥	精神科神経科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
203	精神疾患における神経グリア相関異常を解明するための再生医学技術を用いた橋渡し研究	加藤 隆弘	精神科神経科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
204	神経グリア発達によるモチベーションの形成とその破綻・修復機構の解明	加藤 隆弘	精神科神経科	2,184 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
205	「現代抑うつ症候群(新型うつ・現代型うつ)」の多軸的な診断評価法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
206	統合失調症におけるミクログリア制御異常による白質・シナプス伝達障害の機構解明	神庭 重信	精神科神経科	1,365 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
207	統合失調症の神経活動異常と神経免疫異常:相互メカニズムの解明に向けて	神庭 重信	精神科神経科	1,365 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
208	ためこみ症と強迫症・不安症の生物学的差異の検討	中尾 智博	精神科神経科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
209	統合失調症における幻聴発生の神経活動基盤の多角的脳画像研究	中村 一太	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
210	初発統合失調症とハイリスク群におけるγ帯域皮質活動異常の包括的解明	平野 羊嗣	精神科神経科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
211	認知機能と脳画像、遺伝子の統合的解析による強迫性障害のエンドフェノタイプの解明	村山 桂太郎	精神科神経科	45 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
212	うつ病におけるミクログリア異常の病態解明とそれに基づく層別化と診断法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	1,259 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
213	社会的ひきこもりの長期化打開のためのエビデンスに基づく家族向け教育支援モデルの構築	加藤 隆弘	精神科神経科	350 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
214	脳全体マッピング技術(B-MANGA)による精神疾患のニューロン・グリアを介した病態解明研究	加藤 隆弘	精神科神経科	495 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
215	精神疾患の病態を反映した鑑別診断、重症度予測が可能な血中バイオマーカーの実用化研究	神庭 重信	精神科神経科	700 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(障害者対策総合研究開発事業)
216	ICD-11「精神と行動の障害」改訂案の信頼性・有用性の評価研究	神庭 重信	精神科神経科	716 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(障害者対策総合研究開発事業)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
217	神経発達症を基盤に持つ強迫性障害患者に対する入院行動療法:治療技法・対応の工夫の検討	豊見山 泰史	精神科神経科	30 万円	補 メンタルヘルス岡本記念財団 研究支援
218	統合失調症の発症に関わる神経同期活動異常の解明	平野 羊嗣	精神科神経科	100 万円	補 先進医薬研究振興財団 研究助成金
219	統合失調症の病態解明に向けて-統合失調症の神経振動異常と神経免疫異常-	平野 羊嗣	精神科神経科	200 万円	補 公益財団法人武田科学振興財団 学術教育研究補助金
220	アトピー性皮膚炎のバリア機能障害における芳香族炭化水素受容体とOVOL1の役割	辻 学	皮膚科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
221	糖尿病網膜症に対する包括的・画期的治療法の開発	石橋 達朗	眼科	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
222	網膜色素変性の病態を反映するバイオマーカーの探索	石橋 達朗	眼科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
223	Brilliant Blue G250による水晶体前囊可視化検討 第3相多施設共同医師主導治験	石橋 達朗	眼科	6,119 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
224	マトリセルラー蛋白を標的とした次世代型アンチセンス点眼、内服治療薬の開発	吉田 茂生	眼科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
225	セマフォリンの眼病態形成機序の解明	佐々 由季生	眼科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
226	網膜黄斑浮腫への硝子体中遊離ATPの関与とBBG投与による治療戦略	久富 智朗	眼科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
227	Beyond VEGFのアンメットニーズ:線維化と虚血へのマクロファージ教育療法	中尾 新太郎	眼科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
228	加齢黄斑変性による線維瘢痕化の病態および治療研究	大島 裕司	眼科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
229	単球/マクロファージの活性制御による網膜色素変性に対する新規ナノ粒子治療薬の開発	村上 祐介	眼科	689 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
230	形質転換を標的とした眼内線維増殖の予防的治療戦略の構築	石川 桂二郎	眼科	832 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
231	眼窩難治性疾患を対象とした新規ナビゲーションシステムの研究開発	田邊 美香	眼科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
232	抗VEGF療法に依存しない糖尿病黄斑浮腫根治療法の開発	有馬 充	眼科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
233	自己免疫性膵炎様病態自然発症マウスモデルを用いた病態制御機構の解明	柴田 健輔	眼科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
234	網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班	園田 康平	眼科	40 万円	補 厚生労働科学研究費補助金

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
235	術者の技能に依存しない高度かつ精密な手術システムの開発	園田 康平	眼科	2,350 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
236	臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業	園田 康平	眼科	100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
237	網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療の実用化に関する研究	池田 康博	眼科	10,100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
238	網膜色素変性に対する遺伝子特異的治療実現を目的とした、集約的遺伝解析とゲノム編集技術による病態解明	池田 康博	眼科	106 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
239	鼻・副鼻腔乳頭腫における癌化メカニズムの解明と予測マーカーの確立	安松 隆治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
240	頭頸部癌幹細胞の多分化能獲得におけるnon-coding RNAの役割	若崎 高裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
241	喉頭科学視点からの吃音治療の新戦略-喉頭ファイバーとフォノグラムの同時計測-	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
242	複層のアプローチによるラセン靱帯線維細胞の電気生理学的機能解析	吉田 崇正	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
243	頭頸部扁平上皮癌の腫瘍内不均一性の解明	内 龍太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究B)
244	発達性吃音の最新治療法の開発と実践に基づいたガイドライン作成	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	128 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
245	画像診断ナショナルデータベース実現のための開発研究(GAJJ290514)	本田 浩	放射線科	25,727 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
246	画像診断ナショナルデータベース実現のための開発研究(GAJJ290522)	本田 浩	放射線科	4,388 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
247	トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究(伊丹班分担金)	大賀 才路 (分担)	放射線科	55 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
248	早期非小細胞癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験(永田班分担金)	大賀 才路 (分担)	放射線科	97 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
249	高度な放射線治療装置等の医療機器	本田 浩	放射線科	246 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
250	⁶⁴ Cuを用いた新たなimmuno-PET/MRI法の確立	本田 浩	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
251	PET/MR装置を用いた頸動脈プラークの高解像度ハイブリッドイメージング	渡邊 祐司	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
252	PET/MRIを用いた新たな放射線治療抵抗部位の同定法の開発	馬場 眞吾	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
253	酸素強調心臓MRIの撮影法の開発	川波 哲	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
254	CESTイメージングによる頭頸部腫瘍の悪性度診断の確立と治療効果予測への応用	神谷 武志	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
255	機能画像を用いた子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療法の開発	渥美 和重	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
256	幹細胞形質を有する胆道系腫瘍の形態学的特徴および生物学的悪性度の解明	浅山 良樹	放射線科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
257	320列面検出CT仮想展開像を用いた胃癌の多様性診断に関する研究	鶴丸 大介	放射線科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
258	PET/MRを用いた画素単位でのマルチパラメトリック解析:骨軟部腫瘍への応用	鷺山 幸二	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
259	Dual energy CTを用いた食道癌の新たな画像バイオマーカーの確立	西牟田 雄祐 (共同研究員)	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
260	血管抑制法を用いた高感度MRによる肺結節検出と悪性度評価及び間質性肺炎の病勢評価	亀井 僚太郎	放射線科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
261	食道癌ゲノム・エピゲノムの腫瘍内不均一性解析による化学放射線療法耐性機構の解明	平田 秀成	放射線科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
262	高比放射能18F-FBPAの新規合成法の確立	山田 明史	放射線科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
263	新たなMR-based pHイメージングの開発とoncologyへの臨床応用	西江 昭弘	放射線科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
264	肺癌の個別化ゲノム医療に向けた定位放射線治療感受性のバイオマーカー探索	大賀 才路	放射線科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
265	MRNとT2定量値の同時測定法を用いた新しい末梢神経疾患診断法の確立	樋渡 昭雄	放射線科	220 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
266	大動脈ステント留置後のエンドリックに対する新たな診断法とテーラーメイド治療の開発	牛島 泰宏	放射線科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
267	APTイメージングによる高悪性度グリオーマの治療モニタリングと予後因子の検討	梅尾 理	放射線科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
268	ラジオゲノミクス、定量的画像解析に基づく多角的な脳腫瘍診断法の開発	山下 孝二	放射線科	220 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
269	肝細胞機能、肝線維化および肝壊死炎症に対する新たな定量的MRI診断法の開発	幸久(共同研	放射線科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
270	マルチパラメトリックMRIを用いた慢性膵炎の早期診断法の確立	藤田 展宏	放射線科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
271	MRIによる慢性血栓性肺高血圧症の非侵襲的評価法の確立と左右肺血流特性の解明	山崎 誘三	放射線科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
272	肺癌に対する線維化抑制ペプチドと肺癌特異的T細胞輸注併用免疫療法の開発	村橋 睦了	先端分子・細胞治療科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
273	C型肝炎ウイルスに対するDAA治療における腎関連分子学および免疫学的解析	小川 栄一	総合診療科	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
274	ヘルスサービスリサーチ基盤型地域医療リーダー養成プログラムの開発研究	貝沼 茂三郎	総合診療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	MID-NETを用いた医薬品等のベネフィット・リスク評価のためのデータ標準化の普及に関する研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	960 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
276	エビデンスの飛躍的創出を可能とする超高速・超学際次世代NDBデータ研究基盤構築に関する研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	990 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
277	診療ガイドラインを念頭に疾患自己管理項目セットを実診療に活用するための具体的な手法とその効果評価	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	750 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
278	国産医療機器創出促進基盤整備等事業	橋爪 誠	先端医工学診療部	1,875 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
279	コンピュータ支援外科システムを用いたメレ/匠の技の評価手法の確立	小幡 聡	先端医工学診療部	96 万円	補 日本学術振興会(二国間交流事業)
280	バイオマテリアルを用いたレーザー透過溶着法による革新的生体組織接合技術の研究開発	池田 哲夫	先端医工学診療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
281	主観・経験から客観・論理へー革新的な科学的内視鏡外科手術教育パッケージの開発	富川 盛雅	先端医工学診療部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	多元計算解剖学の外科における臨床展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,379 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
283	医用画像に基づく計算解剖学の多元化と高度知能化診断・治療への展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,093 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
284	多元計算解剖モデルを核とした国際共同研究基盤の創成	橋爪 誠	先端医工学診療部	1,547 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
285	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	橋爪 誠	先端医工学診療部	7,100 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
286	非アルコール性脂肪肝炎の早期精密画像診断システムの開発	橋爪 誠	先端医工学診療部	4,806 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
287	脳外科手術用専用ツールの開発と技術認定医制度への展開	橋爪 誠	先端医工学診療部	2,000 万円	委 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
288	次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業-人工知能分野-	橋爪 誠	先端医工学診療部	400 万円	委 国立医薬品食品衛生研究所

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
289	炎症性筋線維芽細胞腫瘍の新規融合遺伝子の同定と機能の解明	山元 英崇	病理診断科・病理部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
290	癌腫の肉腫様変化におけるSWI/SNF型クロマチン再構成因子の関与と治療戦略	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
291	融合遺伝子を標的とした肉腫治療のための基礎研究	山田 裕一	病理診断科・病理部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
292	心不全治療を変革する多機能血行動態モニタ	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	1,690 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
293	中等度以上の睡眠呼吸障害患者での持続陽圧呼吸器と口腔内装置の治療効果の客観的比較	安藤 眞一	睡眠時無呼吸センター	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
294	橋渡し研究戦略的推進プログラム「地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	22,039 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
295	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	17,000 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
296	先進医療等実用化モデル事業「精密がん医療等を具現化する先進医療迅速化スキーム構築」	中西 洋一	ARO次世代医療センター	1,200 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
297	国産医療機器創出拠点促進基盤整備等事業	橋爪 誠	ARO次世代医療センター	300 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
298	中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業「九州大学病院における中央IRB体制の基盤構築」	河原 直人	ARO次世代医療センター	3,053 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
299	乳歯で染色体異常疾患を克服するトランスレーショナル研究	野中 和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
300	ヒト乳歯幹細胞を基盤とした新規アンチエイジング機構の解明	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
301	酸化ストレスからみた口唇裂口蓋裂発症機序解明と予防法の開発	加藤 大樹	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
302	セントロメアを染色体上の一カ所に調節する機構の解明	佐藤 浩	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
303	間葉系幹細胞の細胞凝集の分子メカニズム解明と器官形成の基盤的制御モデルの構築	高橋 一郎	矯正歯科	819 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
304	iPS細胞を用いた3次元的歯根膜作製法の確立と人工歯根開発への応用	前田 英史	歯内治療科	1,365 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
305	iPS由来神経堤細胞によるパイオミメティクスに基づいた新規歯周組織再生療法の開発	友清 淳	歯内治療科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
306	歯根端切除後の周囲組織の治癒を促す神経ペプチドの同定	橋口 勇	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
307	3Dプリンターを用いた歯内治療シミュレーションシステムの創出	後藤 康治	歯内治療科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
308	Wnt5aシグナルによる効果的な歯根膜組織再生を用いた次世代型意図的再植法の開発	長谷川 大学	歯内治療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
309	iPS細胞由来の歯根膜幹細胞の樹立およびこの細胞を用いた効果的な歯根膜組織の再生	濱野 さゆり	歯内治療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
310	Activin Aの選択的分化誘導能を応用した新規歯周組織再生療法の開発	杉井 英樹	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
311	広範囲の欠損修復を可能とする生体親和性良好な新規直接覆髄剤の開発	吉田 晋一郎	歯内治療科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
312	歯根膜幹細胞誘導因子の同定と新規歯周組織再生療法の開発	御手洗 裕美	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
313	歯周医学の新展開～歯周炎症とエネルギー代謝の連関	西村 英紀	歯周病科	533 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
314	炎症の収束と組織リモデリングを誘導する次世代歯周組織再生治療法の構築	讃井 彰一	歯周病科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
315	歯肉幹細胞由来エクソソームを用いた新規歯周病治療の開発	福田 隆男	歯周病科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
316	歯肉増殖症におけるカテプシンの役割の解明～多様なカテプシンKOマウスを用いた検討	山下 明子	歯周病科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
317	歯周病を合併したインスリン抵抗性関連疾患における補体分子C3bの役割の解明	岩下 未咲	歯周病科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
318	TLR2遺伝子を標的としたエビジェネティクス制御による新規歯周治療薬の開発	田中 麗	歯周病科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
319	新規アメロジニン会合分子Grp78 を標的とした新規歯周組織再生治療薬の開発	豊田 敬介	歯周病科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
320	エピカテキンの抗炎症効果の検証～脂肪組織炎症および実験的歯周炎モデルにおける検討	佐野 朋美	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
321	歯周病感染器官培養モデルによる抗菌薬効果の検討:歯周抗菌療法イノベーション	竹下 正章	歯周病科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
322	Angptl2 と骨粗鬆症や歯周炎の発症との関連性についての研究	高野 愛子	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
323	デンタルインターフェイスにおける応力-セルシグナル変換の解明と個体差医療への展開	古谷野 潔	義歯補綴科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
324	未分化間葉系幹細胞を用いた力を起因とする歯科疾患の超早期自律診断と予防治療の開発	鮎川 保則	義歯補綴科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
325	間葉系幹細胞を用いた自律反応型メカノセンサーの開発	鮎川 保則	義歯補綴科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
326	磨耗メカニズムを考慮した睡眠時ブラキシズム患者に使用する歯冠修復材料の選択	桑鶴 利香	義歯補綴科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
327	非熱的不可逆エレクトロポレーションによるインプラント周囲炎の低侵襲治療法	江崎 大輔	義歯補綴科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
328	軟組織の治癒に着目した新規骨増生法の検討	ラフマティア ユニアドゥイ	義歯補綴科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
329	インプラントの早期機能、長期的維持を可能にする新規表面処理法の開発	大城 和可奈	義歯補綴科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
330	インプラントの表面形状によるぬれ性の制御とその生物学的意義の解明	荻野 洋一郎	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
331	骨質劣化がもたらすインプラント周囲骨リモデリング破綻機序の解明と予防策の考案	森山 泰子	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
332	新規三次元培養技術の再生医療への応用	古橋 明大	義歯補綴科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
333	薬剤関連顎骨壊死に対する新規予防・治療法の開拓	安波 礼之	義歯補綴科	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
334	骨細胞の咬合力応答に着目したインプラント周囲骨代謝バランスの解明	富田 陽子	義歯補綴科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
335	オーバードンチャーによる補綴治療が片側臼歯部欠損患者の偏咀嚼に与える影響の検討	山崎 陽	義歯補綴科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
336	アスピリン添加による間葉系幹細胞の治療効果増強について	三枝 真依子	義歯補綴科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
337	薬剤関連顎骨壊死に対する間葉系幹細胞のミトコンドリアリプレイスの有効性の検討	松浦 由梨	義歯補綴科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
338	「福島県浜通り地域から世界に発信する、安全・安心・低侵襲な歯科インプラント手術を行うためのナビゲーションシステム実用化開発」	大内田 理一	咬合補綴科	6,300 万円	補 福島県復興実用化開発等促進事業
339	直感的インターフェースを有する歯科インプラント手術ナビゲーションシステムの開発	大内田 理一	咬合補綴科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
340	赤外線ナビゲーションシステムで歯科インプラント手術を安全に行う支援ロボットの開発	田中 宏佑	咬合補綴科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
341	インプラントから溶出したチタンイオンが ephrin と Eph の相互作用に与える影響	和智 貴紀	咬合補綴科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
342	マイクロギャップ位置と応力がインプラント周囲骨の初期吸収に及ぼす影響	松崎 達哉	咬合補綴科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
343	磁性ナノ粒子を用いたセメント質の再生	篠原 義憲	咬合補綴科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
344	IgG4関連疾患の病因解明とマウス疾患モデルの作製による検証	中村 誠司	顎口腔外科	1,716 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
345	自己免疫疾患に関する調査研究	中村 誠司	顎口腔外科	43 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
346	IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	中村 誠司	顎口腔外科	50 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
347	IgG4関連疾患モデルマウスの樹立と新規標的分子治療の確立	中村 誠司	顎口腔外科	221 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
348	口腔がん治療により生じる口腔細菌叢の量的・質的变化の次世代シーケンサーによる解析	大部 一成	顎口腔外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
349	ヘッジホッグ経路抑制によるエナメル上皮腫の新規治療法の探索	光安 岳志	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
350	口腔扁平苔癬の病態形成の解析～樹状細胞とT細胞を繋ぐサイトカインネットワーク～	林田 淳之介	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
351	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	梯 裕恵	顎口腔外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
352	新疾患概念「IgG4関連疾患」の病態解明に向けた自然免疫からの新戦略	森山 雅文	顎口腔外科	390 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
353	日米共同研究によるIgG4関連疾患の国際的疾患概念の構築と新規診断法への展開	森山 雅文	顎口腔外科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
354	遺伝子間相互作用解析を活用した口唇口蓋裂疾患感受性遺伝子の解明	新井 伸作	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
355	口腔癌の発生と浸潤・転移に関わる上皮間葉転換の制御因子△Np63の分子機構の解明	松原 良太	顎口腔外科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
356	HTLV-1関連シェーグレン症候群の病態解明に向けた免疫学的検討	田中 昭彦	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
357	口腔癌の転移に関与する分泌型RCAS1の機能解析	田中 秀明	顎口腔外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
358	IL-6シグナル伝達経路を介した口腔扁平上皮癌細胞の抗癌剤抵抗性獲得に関する研究	神野 哲平	顎口腔外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
359	乳歯歯髄幹細胞培養上清を用いた放射線性唾液腺障害治療への応用	緒方 謙一	顎口腔外科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
360	Keratin17による抗アポトーシス機構を介した口腔癌新規治療薬開発を目指して	三上 友理恵	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
361	口腔扁平上皮癌の転移におけるWnt5a-Ror2シグナル経路の関与	坂本 泰基	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
362	口腔扁平上皮癌の悪性転化および上皮-間葉転換を介した転移におけるKLK6の役割	金子 直樹	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
363	下顎非対称患者における咀嚼筋の分子病理学的検討	山田 朋弘	顔面口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
364	歯科用コーンビームCTの画質に基づく参照線量レベルの構築	吉浦 一紀	口腔画像診断科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
365	決定木(decision tree)を使用した診断学習システムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
366	シェーグレン症候群国際診断基準への超音波診断導入のための基礎的研究	清水 真弓	口腔画像診断科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
367	顎顔面部における可動性蛋白質/ペプチドの化学交換イメージングの検討	筑井 徹	口腔画像診断科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
368	レーザー光を用いた根尖歯周組織再生療法の開発	松本 妃可	口腔画像診断科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
369	歯根膜幹細胞誘導による組織再生を基盤とした包括的歯内疾患治療法の開発	和田 尚久	口腔総合診療科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
370	癌治療患者に発症する味覚異常のメカニズム解明と治療法の開発	山添 淳一	口腔総合診療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
371	唾液を用いたシェーグレン症候群の診断および重症度分類法の確立	大山 恵子	口腔総合診療科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
372	P. gingivalisバイオフィルム剥離に関わる新規プロテアーゼの解明	原口 晃	口腔総合診療科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
373	免疫抑制薬の副作用に着目した慢性移植腎症の分子機構解明と非侵襲マーカーの探索	増田 智先	薬剤部	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
374	がん化学療法における痛みと睡眠に関する包括的研究	江頭 伸昭	薬剤部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
375	肺癌治療に伴う薬物性腎障害早期発見のための非侵襲尿中バイオマーカーの探索	渡邊 裕之	薬剤部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
376	薬剤師の行動心理に基づく調剤エラーのメカニズム解明と実臨床への応用	辻 敏和	薬剤部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
377	新規抗MRSA薬におけるTDMの有用性評価と至適投与のためのノモグラムの構築	山田 孝明	薬剤部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
378	肝移植患者における術後拒絶反応の個人差克服を目指した新規分子機序の解明	山本 奈々絵	薬剤部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)

小計18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
379	造血幹細胞移植後の個別化免疫抑制療法確立に向けた遺伝子多型情報の有用性解明	末次 王卓	薬剤部	55 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
380	医療廃棄物収集場における抗がん薬の汚染調査並びに最適な廃棄物処理材料の検討	入佐 俊弘	薬剤部	53 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
381	医薬品等の安全対策のための医療情報データベースの利用拡大に向けた基盤整備に関する研究	康 東天	検査部	3,072 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
382	網羅的代謝変化解析による、ミトコンドリア異常疾患の病態解析とバイオマーカー探索	康 東天	検査部	1,612 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
383	抗老化に繋がるミトコンドリアストレス応答機構解明と診断分子の探索、有効性	内海 健	検査部	520 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
384	臨床検査への応用を目的とした樹状細胞のミトコンドリア活性測定法の開発	後藤 和人	検査部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
385	哺乳動物ミトコンドリアDNAの塩基修飾の解明～その生物学的意義の理解にむけて	安川 武宏	検査部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
386	RNA修飾であるPoly(A)を活用したミトコンドリア機能検査法の確立と臨床応用	相原 正宗	検査部	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
387	中南米における早期胃癌診断率向上のための継続的遠隔医療教育システムの構築	清水 周次	国際医療部	806 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
388	アジアにおける早期胃癌診断率向上のための継続的遠隔医療教育システムの構築	清水 周次	国際医療部	704 万円	補 日本学術振興会 研究拠点形成事業:アジア・アフリカ学術基盤形成型
389	遠隔医療の更なる展開へ向けた技術者養成プログラム	清水 周次	国際医療部	2,000 万円	補 ユーラシア横断情報ネットワーク基金(TEIN)
390	国際医療テレカンファレンス実施のための連携支援オンラインデータベースの構築	工藤 孔梨子	国際医療部	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
391	学術用超高速インターネットを利用した遠隔医療ネットワークの世界展開	工藤 孔梨子	国際医療部	25 万円	補 平成29年度 研究活動基礎支援制度「国際学会派遣支援」(春期)(秋期)

小計13件

合計 391 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	Minami M, Arita T, Iwasaki H, et al.	第一内科	Comparative analysis of pulmonary hypertension in patients treated with imatinib, nilotinib and dasatinib.	Br J Haematol. 2017 May; 177(4): 578C6:C24-587.	Original Article
2	Miyawaki K, Iwasaki H, Jiromaru T, et al.	第一内科	Identification of unipotent megakaryocyte progenitors in human hematopoiesis.	Blood. 2017 Jun; 129(25): 3332-3343.	Original Article
3	Inadomi K, Kusaba H, Matsushita Y, et al.	第一内科	Efficacy and Safety Analysis of Oxaliplatin-based Chemotherapy for Advanced Gastric Cancer.	Anticancer Res. 2017 May;37(5):2663-2671.	Original Article
4	Tsuchihashi K, Kusaba H, Yamada Y, et al.	第一内科	Programmed death-ligand 1 expression is associated with fibrosarcomatous transformation of dermatofibrosarcoma protuberans.	Mol Clin Oncol. 2017 May; 6(5): 665-668.	Original Article
5	Semba Y, Harada A, Maehara K, et al.	第一内科	Chd2 regulates chromatin for proper gene expression toward differentiation in mouse embryonic stem cells.	Nucleic Acids Res. 2017 Sep 6; 45(15): 8758-8772.	Original Article
6	Yoshihiro T, Nio K, Tsuchihashi K, et al.	第一内科	Pancreatic acinar cell carcinoma presenting with panniculitis, successfully treated with FOLFIRINOX: A case report.	Mol Clin Oncol. 2017 Jun; 6(6): 866-870.	Case report
7	Kodama H, Fujita K, Moriyama S, et al.	第一内科	Manifestation of J wave induced by acetylcholine applied for a coronary spasm provocation test in a patient with aborted sudden cardiac death.	J Arrhythm. 2017 Jun; 33(3): 234-236.	Case report
8	Takayoshi K, Kusaba H, Uenomachi M, et al.	第一内科	Suggestion of added value by bevacizumab to chemotherapy in patients with unresectable or recurrent small bowel cancer.	Cancer Chemother Pharmacol. 2017 Aug;80(2):333-342.	Original Article
9	Tsuruta N, Takayoshi K, Arita S, et al.	第一内科	Systemic chemotherapy with pronounced efficacy and neutropenia in a granulocyte-colony stimulating factor-producing advanced gastric neuroendocrine carcinoma.	Oncol Lett. 2017 Aug; 14(2): 1500-1504.	Case report
10	Nakagawa J, Koyama Y, Kawakami A, et al.	第一内科	A novel scoring system based on common laboratory tests predicts the efficacy of TNF-inhibitor and IL-6 targeted therapy in patients with rheumatoid arthritis: a retrospective, multicenter observational study.	Arthritis Res Ther. 2017 Aug 11;19(1):185.	Original Article
11	Yuda J, Miyamoto T, Odawara J, et al.	第一内科	Persistent detection of alternatively spliced BCR-ABL variant results in a failure to achieve deep molecular response.	Cancer Sci. 2017 Nov;108(11):2204-2212.	Original Article
12	Wakasaki T, Niino H, Jabbarzadeh-Tabrizi S, et al.	第一内科	Musashi-1 is the candidate of the regulator of hair cell progenitors during inner ear regeneration.	BMC Neurosci. 2017 Aug 16;18(1):64.	Original Article
13	Ito M, Kusaba H, Mukaide S, et al.	第一内科	Early tumor shrinkage indicates a favorable response to bevacizumab-based first-line chemotherapy for metastatic colorectal cancer.	Anticancer Drugs. 2017 Nov;28(10):1166-1173.	Original Article
14	Fukata M, Arita T, Kadota H, et al.	第一内科	Successful management of wound dehiscence after implantation of a subcutaneous implantable cardioverter-defibrillator without device removal.	HeartRhythm Case Rep. 2017 Jul 14;3(9):415-417.	Case report
15	Miyake N, Chong Y, Nishida R, et al.	第一内科	Mycobacterium abscessus and massiliense lung infection during macrolide treatment for bronchiolitis obliterans after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	J Infect Chemother. 2018 Jan;24(1):78-81.	Others

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
16	Tsuchihashi K, Shimokawa H, Takayoshi K, et al.	第一内科	Regorafenib-induced retinal and gastrointestinal hemorrhage in a metastatic colorectal cancer patient with liver dysfunction: A case report.	Medicine (Baltimore). 2017 Oct;96(42):e8285.	Case report
17	Yoshihiro T, Tsuchihashi K, Nio K, et al.	第一内科	Lingual alveolar soft part sarcoma responsive to pazopanib: A case report.	Medicine (Baltimore). 2017 Nov;96(44):e8470.	Case report
18	Mizuno S, Iino T, Ozawa H, et al.	第一内科	Notch1 expression is regulated at the post-transcriptional level by the 3' untranslated region in hematopoietic stem cell development.	Int J Hematol. 2018 Mar;107(3):311-319.	Original Article
19	Tsuchihashi K, Yoshihiro T, Aikawa T, et al.	第一内科	Metastatic esophageal cancer presenting as shock by injury of vagus nerve mimicking baroreceptor reflex: A case report.	Medicine (Baltimore). 2017 Dec;96(49):e8987	Case report
20	Kisanuki M, Fujita K, Moriyama S, et al.	第一内科	Complex regional pain syndrome induced by pacemaker implantation for sick sinus syndrome.	J Arrhythm. 2017 Dec;33(6):643-645.	Case report
21	Uchida M, Nakamura T, Hata K, et al.	第一内科	Antiemetic efficacy and safety of granisetron or palonosetron alone and in combination with a corticosteroid for ABVD therapy-induced nausea and vomiting.	J Pharm Health Care Sci. 2018 Jan 9;4:1.	Original Article
22	Yamauchi T, Masuda T, Canver MC, et al.	第一内科	Genome-wide CRISPR-Cas9 Screen Identifies Leukemia-Specific Dependence on a Pre-mRNA Metabolic Pathway Regulated by DCPS.	Cancer Cell. 2018 Mar 12;33(3):386-400.e5.	Original Article
23	Yotsueda R, Taniguchi M, Tanaka S et al.	第二内科	Cardiothoracic Ratio and All-Cause Mortality and Cardiovascular Disease Events in Hemodialysis Patients: The Q-Cohort Study.	Am J Kidney Dis. 2017 Jul;70(1):84-92.	Original Article
24	Hasegawa S, Nakano T, Torisu K et al.	第二内科	Vascular endothelial growth factor-C ameliorates renal interstitial fibrosis through lymphangiogenesis in mouse unilateral ureteral obstruction.	Lab Invest. 2017 Dec;97(12):1439-1452.	Original Article
25	Tsuchimoto A, Nakano T, Hasegawa S et al.	第二内科	The potential role of perivascular lymphatic vessels in preservation of kidney allograft function.	Clin Exp Nephrol. 2017 Aug;21(4):721-731	Original Article
26	Yamada S, Matsuo M, Tokumoto M, Ooboshi H.	第二内科	Hypercalcaemia-induced acute kidney injury in an older patient with osteoporosis treated with alfacalcidol for denosumab-induced hypocalcaemia.	Nephrology (Carlton). 2017 Jul;22(7):572-573.	Case report
27	Matsukuma Y, Tanaka S, Taniguchi M et al.	第二内科	Association of geriatric nutritional risk index with infection-related mortality in patients undergoing hemodialysis: The Q-Cohort Study.	Clin Nutr. 2018 Feb 1. pii: S0261-5614(18)30037-2.	Original Article
28	Komorita Y, Iwase M, Fujii H, et al.	第二内科	SSerum adiponectin predicts fracture risk in individuals with type 2 diabetes: the Fukuoka Diabetes Registry.	Diabetologia. 2017 Oct;60(10):1922-1930.	Original Article
29	Sumi A, Nakamura U, Iwase M, et al.	第二内科	The gene-treatment interaction of paraoxonase-1 gene polymorphism and statin therapy on insulin secretion in Japanese patients with type 2 diabetes: Fukuoka diabetes registry.	BMC Med Genet. 2017 Dec 12;18(1):146.	Original Article
30	Uchida M, Mori Y, Nakamura T, et al.	第三内科	Comparison between Antiemetic Effects of Palonosetron and Granisetron on Chemotherapy-Induced Nausea and Vomiting in Japanese Patients Treated with R-CHOP.	Biol Pharm Bull. 2017;40(9):1499-1505.	Original Article
31	Xiong P, Shiratsuchi M, Matsushima T, et al.	第三内科	Regulation of expression and trafficking of perforin-2 by LPS and TNF- α .	Cell Immunol. 2017 Oct;320:1-10.	Original Article
32	Haji S, Shiratsuchi M, Matsushima T, et al.	第三内科	Achievement of disease control with donor-derived EB virus-specific cytotoxic T cells after allogeneic peripheral blood stem cell transplantation for aggressive NK-cell leukemia.	Int J Hematol. 2017 Apr;105(4):540-544.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
33	Maki T, Maeda N, Sonoda N, et al	第三内科	Renoprotective effect of a novel selective PPAR α modulator K-877 in db/db mice: A role of diacylglycerol-protein kinase C-NAD(P)H oxidase pathway.	Metabolism. 2017 Jun;71:33-45.	Original Article
34	Minami Y, Sonoda N, Hayashida E, et al	第三内科	p66Shc Signaling Mediates Diabetes-Related Cognitive De	Sci Rep. 2018 Feb 16;8(1):3213.	Original Article
35	Inoue T, Sonoda N, Hiramatsu S, et al	第三内科	Serum Bilirubin Concentration is Associated with Left Ventricular Remodeling in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A Cohort Study.	Diabetes Ther. 2018 Feb;9(1):331-338.	Original Article
36	Bai X, Ihara E, Hirano K, et al	第三内科	Endogenous Hydrogen Sulfide Contributes to Tone Generation in Porcine Lower Esophageal Sphincter Via Na ⁺ /Ca ²⁺ Exchanger.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol. 2017 Nov 22;5(3):209-221.	Original Article
37	Nakano K, Yamamoto H, Fujiwara M, et al	第三内科	Clinicopathogenic and molecular characteristics of synchronous colorectal carcinoma with mismatch repair deficiency.	Am J Surg Pathol. 2018 Feb; 42(2): 172-82	Original Article
38	Otsuka Y, Akahoshi K, Yasunaga K, et al	第三内科	Clinical outcomes of Clutch Cutter endoscopic submucosal dissection for older patients with early gastric cancer.	World J Gastrointest Oncol. 2017 Oct 15;9(10):416-422.	Original Article
39	Iwasa T, Nakamura K, Ihara E, et al	第三内科	The Effective Treatment with Cyclosporine of a Ulcerative Colitis Patient with Concurrent Idiopathic Thrombocytopenic Purpura Who Subsequently Developed Spontaneous Pneumomediastinum.	Intern Med. 2017 Jun 1; 56(11): 1331-1337.	Case report
40	Y. Moriyama, M.Hiasa, S. Sakamoto	第三内科	Vesicular nucleotide transporter (VNUT): appearance of an actress on the stage of purinergic signaling.	Purinergic Signal. 2017 doi: 10.1007/s11302-017-9568-1	Original Article
41	Inoue C, Zhao C, Tsuduki Y	第三内科	SMARCD1 regulates senescence-associated lipid accumulation in hepatocytes.	Purinergic Signal. 2017 Sep;13(3):387-404.	Original Article
42	Lee L, Ito T, Igarashi H, et al	第三内科	Dose and schedule modification are required for long-term continuation of sunitinib in Japanese patients with advanced pancreatic neuroendocrine tumors.	Cancer Chemother Pharmacol. 2018 Jan;81(1):163-169.	Original Article
43	Ueda K, Ito T, Kawabe K, et al	第三内科	Should the Selective Arterial Secretagogue Injection Test for Insulinoma Localization Be Evaluated at 60 or 120 Seconds?	Intern Med. 2017 Nov 15;56(22):2985-2991.	Original Article
44	Fujiyama T, Ito T, Ueda K, et al	第三内科	Serum levels of Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein reflect the severity of chronic pancreatitis.	J Dig Dis. 2017 May;18(5):302-308.	Original Article
45	Miki M, Ito T, Hijioka M, et al	第三内科	Utility of chromogranin B compared with chromogranin A as a biomarker in Japanese patients with pancreatic neuroendocrine tumors.	Jpn J Clin Oncol. 2017 Jun 1;47(6):520-528.	Original Article
46	Ueda K, Kawabe K, Lee L, et al	第三内科	Diagnostic Performance of 48-Hour Fasting Test and Insulin Surrogates in Patients With Suspected Insulinoma.	Pancreas. 2017 Apr;46(4):476-481.	Original Article
47	Miki M, Kawabe K, Igarashi H, et al	第三内科	An Advanced well-differentiated Pancreatic Neuroendocrine Carcinoma (NET-G3) Associated with Von Hippel-Lindau Disease.	Intern. Med.:2018 Feb; doi: 10.2169/internalmedicine.0416-17.(オンライン)	Case report
48	Ohgidani M, Kato TA, Hosoi M, et al.	心療内科	Fibromyalgia and microglial TNF- α : Translational research using human blood induced microglia-like cells.	Sci Rep. 2017 Sep 19;7(1):11882.	Original Article
49	Sawamoto R, Nozaki T, Nishihara T, et al.	心療内科	Predictors of successful long-term weight loss maintenance: a two-year follow-up.	Biopsychosoc Med. 2017 Jun 6;11:14.	Original article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
50	Aikawa T, Oyama-Manabe N, Naya M, et al.	循環器内科	Delayed contrast-enhanced computed tomography in patients with known or suspected cardiac sarcoidosis: A feasibility study.	Eur Radiol. 2017 Oct;27(10):4054-4063.	Original Article
51	Asakawa N, Uchida K, Sakakibara M et al.	循環器内科	Immunohistochemical identification of Propionibacterium acnes in granuloma and inflammatory cells of myocardial tissues obtained from cardiac sarcoidosis patients. .	PLoS One. 2017; 12(7): e0179980.	Original Article
52	Fujii K, Saku K, Kishi T, et al.	循環器内科	Carotid Body Denervation Markedly Improves Survival in Rats With Hypertensive Heart Failure.	Am J Hypertens. 2017 Aug 1;30(8):791-798.	Original Article
53	Fujino T, Inoue S, Katsuki S, et al.	循環器内科	Fatal Cardiac Hemochromatosis in a Patient with Hereditary Spherocytosis.	Int Heart J. 2018 Mar 30;59(2):427-430.	Original Article
54	Hioka T, Kaga S, Mikami T, et al.	循環器内科	Overestimation by echocardiography of the peak systolic pressure gradient between the right ventricle and right atrium due to tricuspid regurgitation and the usefulness of the early diastolic transpulmonary valve pressure gradient for estimating pulmonary artery pressure.	Heart Vessels. 2017 Jul;32(7):833-842.	Original Article
55	Kurozumi Y, Oishi S, Sugano Y, et al.	循環器内科	Design of a nationwide survey on palliative care for end-stage heart failure in Japan.	J Cardiol. 2018 Feb;71(2):202-211.	Original Article
56	Mao Y, Koga J-I, Tokutome M, et al.	循環器内科	Nanoparticle-Mediated Delivery of Pitavastatin to Monocytes/Macrophages Inhibits Left Ventricular Remodeling After Acute Myocardial Infarction by Inhibiting Monocyte-Mediated Inflammation.	Int Heart J. 2017 Aug 3;58(4):615-623.	Original Article
57	Mizukami K, Yokoshiki H, Mitsuyama H, et al.	循環器内科	Influence of myopotential interference on the Wavelet discrimination algorithm in implantable cardioverter-defibrillator.	J Arrhythm. 2017 Jun;33(3):214-219.	Original Article
58	Murayama M, Mikami T, Kaga S, et al.	循環器内科	Usefulness of the Continuous-Wave Doppler-Derived Pulmonary Arterial-Right Ventricular Pressure Gradient Just before Atrial Contraction for the Estimation of Pulmonary Arterial Diastolic and Wedge Pressures.	Ultrasound Med Biol. 2017 May;43(5):958-966.	Original Article
59	Sakamoto M, Fukuda H, Kim J et al.	循環器内科	The impact of creating mathematical formula to predict cardiovascular events in patients with heart failure.	Sci Rep. 2018 Mar 5;8(1):3986.	Original Article
60	Shinohara K, Nakagawa P, Gomez J, et al.	循環器内科	Selective Deletion of Renin-b in the Brain Alters Drinking and Metabolism.	Hypertension. 2017 Nov;70(5):990-997.	Original Article
61	Tanaka M, Abe K, Oka M, et al.	循環器内科	Inhibition of nitric oxide synthase unmasks vigorous vasoconstriction in established pulmonary arterial hypertension.	Physiol Rep. 2017 Dec;5(23).	Original Article
62	Tohyama T, Saku K, Kawada T, et al.	循環器内科	Impact of lipopolysaccharide-induced acute inflammation on baroreflex-controlled sympathetic arterial pressure regulation.	PLoS One. 2018 Jan 12;13(1):e0190830.	Original Article
63	Tsutsui H, Ito H, Kitakaze M, et al.	循環器内科	Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Trial Evaluating the Efficacy and Safety of Eplerenone in Japanese Patients With Chronic Heart Failure (J-EMPHASIS-HF).	Circ J. 2017 Dec 25;82(1):148-158.	Original Article
64	Yamada H, Tanaka A, Kusunose K, et al.	循環器内科	Effect of sitagliptin on the echocardiographic parameters of left ventricular diastolic function in patients with type 2 diabetes: a subgroup analysis of the PROLOGUE study.	Cardiovasc Diabetol. 2017 May 11;16(1):63.	Original Article
65	Yokota T, Kinugawa S, Hirabayashi K, et al.	循環器内科	Pioglitazone improves whole-body aerobic capacity and skeletal muscle energy metabolism in patients with metabolic syndrome.	J Diabetes Investig. 2017 Jul;8(4):535-541.	Original Article
66	Furukawa D, Ohtani K, Kawahara T, et al.	循環器内科	Candida oesophagitis incidentally detected by fluorine-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography in a patient with sarcoidosis.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2017 Nov 1;18(11):1300.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
67	Hosokawa K, Abe K, Kashihara S, et al.	循環器内科	3-Dimensional SPECT/CT Fusion Imaging-Guided Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension.	JACC Cardiovasc Interv. 2017 Oct 23;10(20):e193-e194.	Case report
68	Hosokawa K, Yamamoto T, Abe K et al.	循環器内科	Delayed-onset lung injury after balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension—a case report.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2017 Dec 1;18(12):1426.	Case report
69	Kawai S, Mukai Y, Chishaki A et al.	循環器内科	Dissociated electrical activities in the left atrial posterior wall seen in a patient with focal atrial tachycardia after heart transplantation.	Eur Heart. 2017 Dec;J 1 (2): 1–2	Case report
70	Nishizaki A, Ohtani K, Maehata Y, et al.	循環器内科	refractory coronary artery spasm associated with tacrolimus.	Coron Artery Dis. 2018 Jan;29(1):83–85.	Case report
71	Watanabe T, Abe K, Horimoto K, et al.	循環器内科	Subcutaneous treprostinil was effective and tolerable in a patient with severe pulmonary hypertension associated with chronic kidney disease on hemodialysis.	Heart Lung. 2017 Mar – Apr;46(2):129–130.	Case report
72	Otsubo K, Seki N, Nakanishi Y, et al	呼吸器科	Development of leptomeningeal carcinomatosis during a marked response of brain metastases to pembrolizumab in a patient with non-small-cell lung cancer.	Ann Oncol. 2018 Mar 1;29(3):780–781.	Case report
73	Iwama E, Nakanishi Y, Okamoto I.	呼吸器科	Combined therapy with epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitors for non-small cell lung cancer.	Expert Rev Anticancer Ther. 2018 Mar;18(3):267–276.	Review
74	Otsubo K, Kishimoto J, Kenmotsu H, et al	呼吸器科	Treatment Rationale and Design for J-SONIC: A Randomized Study of Carboplatin Plus Nab-paclitaxel With or Without Nintedanib for Advanced Non-Small-cell Lung Cancer With Idiopathic Pulmonary Fibrosis.	Clin Lung Cancer. 2018 Jan;19(1):e5–e9.	Others
75	Tanaka K, Isse K, Fujihira T, et al	呼吸器科	Prevalence of Delta-like protein 3 expression in patients with small cell lung cancer.	Lung Cancer. 2018 Jan;115:116–120.	Original Article
76	Otsubo K, Nakatomi K, Furukawa R, et al	呼吸器科	Two cases of late-onset secondary adrenal insufficiency after discontinuation of nivolumab.	Ann Oncol. 2017 Dec 1;28(12):3106–3107.	Case report
77	Kawano Y, Iwama E, Tsuchihashi K, et al	呼吸器科	CD44 variant-dependent regulation of redox balance in EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer: A target for treatment.	Lung Cancer. 2017 Nov;113:72–78.	Original Article
78	Ikematsu Y, Yoneshima Y, Ijichi K, et al	呼吸器科	Marked response to pembrolizumab in a patient with pulmonary pleomorphic carcinoma highly positive for PD-L1.	Lung Cancer. 2017 Oct;112:230–231.	Case report
79	Otsubo K, Nosaki K, Imamura CK, et al	呼吸器科	Phase I study of salazosulfapyridine in combination with cisplatin and pemetrexed for advanced non-small-cell lung cancer.	Cancer Sci. 2017 Sep;108(9):1843–1849.	Original Article
80	Yanagihara T, Tanaka K, Ota K, et al	呼吸器科	Tumor-infiltrating lymphocyte-mediated pleuritis followed by marked shrinkage of metastatic kidney cancer of the chest wall during nivolumab treatment.	Ann Oncol. 2017 Aug 1;28(8):2038–2039.	Case report
81	Ota K, Harada T, Otsubo K, et al	呼吸器科	Visualization and quantitation of epidermal growth factor receptor homodimerization and activation with a proximity ligation assay.	Oncotarget. 2017 Jul 25;8(42):72127–72132.	Original Article
82	Tanaka K, Nosaki K, Otsubo K, et al	呼吸器科	Acquisition of the T790M resistance mutation during afatinib treatment in EGFR tyrosine kinase inhibitor-naïve patients with non-small cell lung cancer harboring EGFR mutations.	Oncotarget. 2017 Jul 12;8(40):68123–68130.	Original Article
83	Iwama E, Goto Y, Murakami H, et al	呼吸器科	Alectinib for Patients with ALK Rearrangement-Positive Non-Small Cell Lung Cancer and a Poor Performance Status (Lung Oncology Group in Kyushu 1401).	J Thorac Oncol. 2017 Jul;12(7):1161–1166.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
84	Hidaka N, Iwama E, Kubo N, et al	呼吸器科	Most T790M mutations are present on the same EGFR allele as activating mutations in patients with non-small cell lung cancer.	Lung Cancer. 2017 Jun;108:75-82.	Original Article
85	Ogata H, Yamamoto Y, Harada T, et al	呼吸器科	Severe Aplastic Anemia during Osimertinib Therapy in a Patient with EGFR Tyrosine Kinase Inhibitor-Resistant Non-Small Cell Lung Cancer.	J Thorac Oncol. 2017 May;12(5):e46-e47.	Case report
86	Seki N, Kan-O K, Matsumoto K, et al	呼吸器科	Interleukin-22 attenuates double-stranded RNA-induced upregulation of PD-L1 in airway epithelial cells via a STAT3-dependent mechanism.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Dec 9;494(1-2):242-248.	Original Article
87	Kudo K, Hata J, Matsumoto K, et al	呼吸器科	Association of Airflow Limitation With Carotid Atherosclerosis in a Japanese Community - The Hisayama Study.	Circ J. 2017 Nov 24;81(12):1846-1853.	Original Article
88	Yanagihara T, Ikematsu Y, Kato K, et al	呼吸器科	Expression of PD-1 and PD-L1 on cytotoxic T lymphocytes and immune deficiency in a patient with adult T cell leukemia/lymphoma.	Ann Hematol. 2018 Feb;97(2):359-360.	Case report
89	Kawaguchi T, Yanagihara T, Yokoyama T, et al	呼吸器科	Probenecid attenuates hyperoxia-induced lung injury in mice.	PLoS One. 2017 Apr 6;12(4):e0175129.	Original Article
90	Mikumo H, Hamada N, Harada E, et al	呼吸器科	A case of immunoglobulin G4-related respiratory disease with multiple lung cysts: A case report.	Respir Med Case Rep. 2017 Apr 8;21:89-92.	Case report
91	Mikumo H, Yanagihara T, Hamada N, et al	呼吸器科	Neutrophil elastase inhibitor sivelestat ameliorates gefitinib-naphthalene-induced acute pneumonitis in mice.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Apr 22;486(1):205-209.	Original Article
92	Yamamoto Y, Kiyohara C, Ogata-Suetsugu S, et al	呼吸器科	Association between genetic polymorphisms involved in the hypoxia-inducible factor pathway and lung cancer risk: a case-control study in Japan.	Asia Pac J Clin Oncol. 2017 Jun;13(3):234-242.	Original Article
93	Suzuki K, Yanagihara T, Yokoyama T, et al	呼吸器科	Bax-inhibiting peptide attenuates bleomycin-induced lung injury in mice.	Biol Open. 2017 Dec 15;6(12):1869-1875.	Original Article
94	Yokoyama T1, Yanagihara T1, Suzuki K1, et al	呼吸器科	Depletion of club cells attenuates bleomycin-induced lung injury and fibrosis in mice.	J Inflamm (Lond). 2017 Sep 18;14:20.	Original Article
95	Yanagihara T, Yamamoto N, Kotetsu Y, et al	呼吸器科	Interstitial pneumonia caused by dabigatran.	Respir Med Case Rep. 2017 Oct 31;23:10-12.	Case report
96	Hamada N, Yanagihara T, Suzuki K, et al	呼吸器科	Treatment with a programmed cell death-1-specific antibody has little effect on afatinib- and naphthalene-induced acute pneumonitis in mice.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Sep 23;491(3):656-661.	Original Article
97	Tamura K, Matsumoto K, Fukuyama S, et al	呼吸器科	Frequency-dependent airway hyperresponsiveness in a mouse model of emphysema and allergic inflammation.	Physiol Rep. 2018 Jan;6(2).	Original Article
98	Okugawa K, Kobayashi H, Sonoda K, et al	産科婦人科	Oncologic and obstetric outcomes and complications during pregnancy after fertility-sparing abdominal trachelectomy for cervical cancer: a retrospective review.	Int J Clin Oncol. 2017 Apr;22(2):340-346.	Original Article
99	Sonoda K, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科	Isthmic-vaginal cytological findings after a trachelectomy for early-stage cervical cancer.	Cytopathology. 2017 Jun;28(3):243-245.	Original Article
100	Fujita Y, Yumoto Y, Kato K	産科婦人科	Prenatal diagnosis of abnormal umbilical cord insertion: a rare case of furcate insertion.	J Med Ultrason (2001). 2017 Apr;44(2):203-205.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
101	Morokuma S, Shimokawa M, Kato K et al	産科婦人科	Maternal sleep and small for gestational age infants in the Japan Environment and Children's Study: a cohort study.	BMC Res Notes. 2017 Aug 11;10(1):394.	Original Article
102	Morokuma S, Michikawa T, Yamazaki S et al	産科婦人科	Association between exposure to air pollution during pregnancy and false positives in fetal heart rate monitoring.	Sci Rep. 2017 Sep 29;7(1):12421.	Original Article
103	Hidaka N, Sato Y, Kido S et al	産科婦人科	Ductus venosus Doppler and the postnatal outcomes of growth restricted fetuses with absent end-diastolic blood flow in the umbilical arteries.	Taiwan J Obstet Gynecol. 2017 Oct;56(5):642-647.	Original Article
104	Sonoda K, Yahata H, Okugawa K et al	産科婦人科	Value of Intraoperative Cytological and Pathological Sentinel Lymph Node Diagnosis in Fertility-Sparing Trachelectomy for Early-Stage Cervical Cancer.	Oncology. 2018;94(2):92-98.	Original Article
105	Hidaka N, Sato Y, Kido S	産科婦人科	Thoracoamniotic shunting for fetal pleural effusion with hydropic change using a double-basket catheter: An insight into the preoperative determinants of shunting efficacy.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2018 Feb;221:34-39.	Original Article
106	Hidaka N, Sato Y, Kido S et al	産科婦人科	Expectant management of pregnancies complicated by fetal growth restriction without any evidence of placental dysfunction at term: Comparison with routine labor induction.	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Jan;44(1):93-101.	Original Article
107	Matsunaga Y, Ishimura M, Nagata H, et al,	小児科	Thrombotic microangiopathy in a very young infant with mitral valvuloplasty.	Pediatr Neonatol. 2018 Feb 7. pii: S1875-9572(17)30039-6.	Original Article
108	Teranishi H, Koga Y, Nakashima K, et al,	小児科	Cancer Management in Kabuki Syndrome: The First Case of Wilms Tumor and a Literature Review.	J Pediatr Hematol Oncol. 2018 Feb 27.	Original Article
109	Sonoda M, Ishimura M, Ichimiya Y, et al,	小児科	Atypical erythroblastosis in a patient with Diamond-Blackfan anemia who developed del(20q) myelodysplasia.	Int J Hematol. 2018 Feb 23.	Original Article
110	Ayabe T, Yamamoto-Hanada K, Mezawa H, et al	小児科	Regional differences in infant 25-Hydroxyvitamin D: Pilot study of the Japan Environment and Children's Study.	Pediatr Int. 2018 Jan;60(1):30-34.	Original Article
111	Fujimoto Y, Hasegawa S, Matsushigea T, et al	小児科	Pulmonary inflammation and cytokine dynamics of bronchoalveolar lavage fluid from a mouse model of bronchial asthma during A(H1N1)pdm09 influenza infection.	Sci Rep. 2017 Aug 22;7(1):9128.	Original Article
112	Haro K, Ogawa M, Hoshina T, et al	小児科	Difference between Japanese Secondary and Tertiary Medical Facilities Regarding Changes in the Hospitalization of Children for Pneumonia after the Introduction of the Pneumococcal Conjugate Vaccine.	Jpn J Infect Dis. 2017 May 24;70(3):270-274.	Original Article
113	Hoshina T, Yamamoto N, Ogawa M, et al	小児科	The efficacy of the direct clinical intervention for infectious diseases by a pediatric infectious disease specialist in the pediatric ward of a tertiary medical facility without a pediatric antimicrobial stewardship program.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2017 Aug;36(8):1449-1454.	Original Article
114	Hoshino A, Okada S, Yoshida K, et al	小児科	Abnormal hematopoiesis and autoimmunity in human subjects with germline IKZF1 mutations.	J Allergy Clin Immunol. 2017 Jul;140(1):223-231.	Original Article
115	Ichimura T, Yoshida K, Yosuke O, et al	小児科	Diagnostic challenge of Diamond-Blackfan anemia in mothers and children by whole-exome sequencing.	Int J Hematol. 2017 Apr;105(4):515-520.	Original Article
116	Imagawa E, Higashimoto K, Sakai Y, et al	小児科	Mutations in genes encoding polycomb repressive complex 2 subunits cause Weaver syndrome.	Hum Mutat. 2017 Jun;38(6):637-648.	Original Article
117	Inoue H, Ochiai M, Yasuoka K, et al	小児科	Early Mortality and Morbidity in Infants with Birth Weight of 500 Grams or Less in Japan.	J Pediatr. 2017 Nov;190:112-117.e3.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
118	Ito M, Takahashi H, Yano H, et al	小児科	High mobility group box 1 enhances hyperthermia-induced seizures and secondary epilepsy associated with prolonged hyperthermia-induced seizures in developing rats.	Metab Brain Dis. 2017 Dec;32(6):2095-2104.	Original Article
119	Kagawa R, Fujiki R, Tsumura M, et al	小児科	Alanine-scanning mutagenesis of human signal transducer and activator of transcription 1 to estimate loss- or gain-of-function variants.	J Allergy Clin Immunol. 2017 Jul;140(1):232-241.	Original Article
120	Kanegane H, Hoshino A, Okano T, et al	小児科	Flow cytometry-based diagnosis of primary immunodeficiency diseases.	Allergol Int. 2018 Jan;67(1):43-54.	Original Article
121	Nanishi E, Nishio H, Takada H, et al	小児科	Clarithromycin Plus Intravenous Immunoglobulin Therapy Can Reduce the Relapse Rate of Kawasaki Disease: A Phase 2, Open-Label, Randomized Control Study.	J Am Heart Assoc. 2017 Jul 6;6(7).	Original Article
122	Nishikawa E, Yagasaki H, Hama A, et al	小児科	Long-term outcomes of 95 children with moderate aplastic anemia treated with horse antithymocyte globulin and cyclosporine.	Pediatr Blood Cancer. 2017 May;64(5).	Original Article
123	Okada S, Kobayashi-Fujiwara Y, Oga A, et al	小児科	Distinct Distribution of Immunocytes in a Retropharyngeal Lymphadenopathy Associated with Kawasaki Disease: A Case Study Compared with Tonsillitis.	Cardiology. 2017;137(4):237-243.	Original Article
124	Mizutani M, Hasegawa S, Matsushige T, et al	小児科	Distinctive inflammatory profile between acute focal bacterial nephritis and acute pyelonephritis in children.	Cytokine. 2017 Nov;99:24-29.	Original Article
125	Murata K, Motomura Y, Tanaka T, et al	小児科	Calcineurin inhibitors exacerbate coronary arteritis via the MyD88 signalling pathway in a murine model of Kawasaki disease.	Clin Exp Immunol. 2017 Oct;190(1):54-67.	Original Article
126	Shono Y, Akahoshi T, Mezuki S, et al	小児科	Clinical characteristics of type A acute aortic dissection with CNS symptom.	Am J Emerg Med. 2017 Dec;35(12):1836-1838.	Original Article
127	Teranishi H, Koga Y, Nishio H, et al	小児科	Clinical efficacy of cycling empirical antibiotic therapy for febrile neutropenia in pediatric cancer patients.	J Infect Chemother. 2017 Jul;23(7):463-467.	Original Article
128	Takano T, Motozono C, Imai T, et al	小児科	Dectin-1 intracellular domain determines species-specific ligand spectrum by modulating receptor sensitivity.	J Biol Chem. 2017 Oct 13;292(41):16933-16941.	Original Article
129	Tsuji M, Ayabe T, Tanaka R, et al	小児科	Comparative study on three different methods for arm-span measurement: the Japan environment and Children's study pilot.	Environ Health Prev Med. 2017 Apr 4;22(1):28.	Original Article
130	Ushijima K, Fukami M, Ayabe T, et al	小児科	Comprehensive screening for monogenic diabetes in 89 Japanese children with insulin-requiring antibody-negative type 1 diabetes.	Pediatr Diabetes. 2018 Mar;19(2):243-250.	Original Article
131	Yokota S, Imagawa T, Nishikomori R, et al	小児科	Long-term safety and efficacy of canakinumab in cryopyrin-associated periodic syndrome: results from an open-label, phase III pivotal study in Japanese patients.	Clin Exp Rheumatol. 2017 Nov-Dec;35 Suppl 108(6):19-26.	Original Article
132	Ichimiya Y, Kaku N, Sakai Y, et al	小児科	Transient dysautonomia in an acute phase of encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	Brain Dev. 2017 Aug;39(7):621-624.	Case report
133	Harada M, Honda Y, Hoshina T, et al	小児科	Successful resolution of Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis during the treatment course of acute lymphoblastic leukemia.	Pediatr Neonatol. 2017 Dec;58(6):555-557.	Case report
134	Nanishi E, Hoshina T, Nishio H, et al	小児科	Intramuscular Venous Malformation in an Infant Masquerading as Recurrent Gonarthrititis.	Pediatr Neonatol. 2017 Apr;58(2):185-186.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
135	Nishiyama K, Imai T, Ohkubo K, et al	小児科	Resolution of Hydronephrosis in a Patient With Mucopolysaccharidosis Type II With Enzyme Replacement Therapy.	Urology:2017;101:163-5	Case report
136	Oba U, Yamada H, Suenobu SI, et al	小児科	Toxic epidermal necrolysis in a child 6 months post-hematopoietic stem cell transplantation.	Pediatr Transplant. 2017 Aug;21(5).	Case report
137	Ohyama N, Torio M, Nakashima K, et al	小児科	A childhood-onset intestinal toxemia botulism during chemotherapy for relapsed acute leukemia.	Ann Clin Microbiol Antimicrob. 2017 Sep 18;16(1):61.	Case report
138	Takemoto R, Yamamura K, Nagata H, et al	小児科	Disappearance of basal ganglia lesions in T1-weighted magnetic resonance images after the ligation of congenital portosystemic venous shunt.	Pediatr Neonatol:2017; 58:465-6	Case report
139	Taku K, Hoshina T, Haro K, et al	小児科	An infant case with hydrocephalus as the initial manifestation of Mycoplasma hominis-associated meningitis.	J Infect Chemother. 2017 Oct;23(10):713-716.	Case report
140	Teranishi H, Ishimura M, Koga Y, et al	小児科	Activated phosphoinositide 3-kinase δ syndrome presenting with gut-associated T-cell lymphoproliferative disease.	Rinsho Ketsueki. 2017;58(1):20-25.	Case report
141	Tocan V, Ohkubo K, Higashi K, et al	小児科	Reappraising newborn screening for cobalamin C disorder.	Pediatr Neonatol. 2017 Nov 22. pii: S1875-9572(17)30162-6.	Case report
142	Yamamura K, Sakamoto I, Yamasaki Y, et al	小児科	Silent Progression of Coronary Artery Thrombosis in a Pregnant Woman With Anomalous Origin of Left Coronary Artery From the Pulmonary Artery.	Circ J. 2017 Jul 25;81(8):1236-1237.	Case report
143	Yasuoka K, Inoue H, Tanaka K, et al	小児科	Successful Liver Transplantation for Transient Abnormal Myelopoiesis-Associated Liver Failure.	Neonatology. 2017;112(2):159-162.	Case report
144	Endo S, Nakata K, Sagara A, et al.	第一外科	Autophagy inhibition enhances antiproliferative effect of salinomycin in pancreatic cancer cells.	Pancreatology. 2017 Nov - Dec;17(6):990-996.	Original Article
145	Endo S, Nakata K, Ohuchida K, et al.	第一外科	Autophagy Is Required for Activation of Pancreatic Stellate Cells, Associated With Pancreatic Cancer Progression and Promotes Growth of Pancreatic Tumors in Mice.	Gastroenterology. 2017 May;152(6):1492-1506.e24.	Original Article
146	Abe T, Ohuchida K, Endo S, et al.	第一外科	Clinical importance of intraoperative peritoneal cytology in patients with pancreatic cancer.	Surgery. 2017 Apr;161(4):951-958.	Original Article
147	Ohuchida K, Nagai E, Moriyama T, et al.	第一外科	Feasibility and safety of modified inverted T-shaped method using linear stapler with movable cartridge fork for esophagojejunostomy following laparoscopic total gastrectomy.	Transl Gastroenterol Hepatol. 2017 May 23;2:50.	Original Article
148	Date S, Noguchi H, Kaku K, et al.	第一外科	Laparoscopy-Assisted Spleen-Preserving Distal Pancreatectomy for Living-Donor Pancreas Transplantation.	Transplant Proc. 2017 Jun;49(5):1133-1137.	Original Article
149	Date K, Ohtsuka, T, Fujimoto, T et al.	第一外科	Molecular Evidence for Monoclonal Skip Progression in Main Duct Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas.	Ann Surg. 2017 May;265(5):969-977.	Original Article
150	Miyasaka Y, Mori Y, Nakata K, et al.	第一外科	Prophylactic Biliary and Gastrointestinal Bypass for Unresectable Pancreatic Head Cancer: A Retrospective Case Series.	JOP. J Pancreas (Online) 2017 Nov 30; 18(6):470-474.	Original Article
151	Matsunaga T, Ohtsuka T, Asano K, et al.	第一外科	S100P in Duodenal Fluid Is a Useful Diagnostic Marker for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	Pancreas. 2017 Nov/Dec;46(10):1288-1295.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
152	Nakayama H, Ohuchida K, Yoshida M, et al.	第一外科	Degree of desmoplasia in metastatic lymph node lesions is associated with lesion size and poor prognosis in pancreatic cancer patients.	Oncol Lett. 2017 Sep;14(3):3141-3147.	Original Article
153	Koikawa K, Ohuchida K, Takesue S, et al.	第一外科	Pancreatic stellate cells reorganize matrix components and lead pancreatic cancer invasion via the function of Endo180.	Cancer Lett. 2018 Jan 1;412:143-154.	Original Article
154	Nakano K, Yamamoto H, Fujiwara M, et al.	第一外科	Clinicopathologic and Molecular Characteristics of Synchronous Colorectal Carcinoma With Mismatch Repair Deficiency.	Am J Surg Pathol. 2018 Feb;42(2):172-182.	Original Article
155	Date K, Ohtsuka T, Nakamura S, et al.	第一外科	Surveillance of patients with intraductal papillary mucinous neoplasm with and without pancreatotomy with special reference to the incidence of concomitant pancreatic ductal adenocarcinoma.	Surgery. 2018 Feb;163(2):291-299.	Original Article
156	Itoh S., Yoshizumi T., Shirabe K.	第二外科	Functional remnant liver assessment predicts liver-related morbidity after hepatic resection in patients with hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2017 Apr;47(5):398-404.	Original Article
157	Itoh S., Yoshizumi T., Tomino T.	第二外科	Associations between antibody to hepatitis B core antigen positivity and outcomes in hepatocellular carcinoma patients undergoing hepatic resection.	Hepatol Res. 2018 Feb;48(3):E155-E161.	Original Article
158	Harada N., Yoshizumi T., Maeda T.	第二外科	Preoperative Pancreatic Stiffness by Real-time Tissue Elastography to Predict Pancreatic Fistula After Pancreaticoduodenectomy.	Anticancer Res. 2017 Apr;37(4):1909-1915.	Original Article
159	Harada N., Yoshizumi T., Yamashita YI.	第二外科	Impact and Prediction of Lymph Node Involvement in Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma After Curative Resection.	Anticancer Res. 2017 Jul;37(7):3763-3769.	Original Article
160	Yoshida Y., Yoshizumi T., Wang H.	第二外科	Liver transplantation for cryptogenic liver failure caused by diffuse hepaticangiosarcoma: case report.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):21.	Case report
161	Ikegami T., Ueda Y., Akamatsu N.	第二外科	Asunaprevir and daclatasvir for recurrent hepatitis C after liver transplantation: A Japanese multicenter experience.	Clin Transplant. 2017 Nov;31(11). C	Original Article
162	Ikegami T., Yoshizumi T., Ohira M.	第二外科	Indication of living donor liver transplantation for septuagenarians from double equipoise theory.	Am J Transplant. 2018 Jan;18(1):278-279.	Original Article
163	Ikegami T., Yoshizumi T., Uchiyama H.	第二外科	Hepatic artery reconstruction in living donor liver transplantation using surgical loupes: Achieving low rate of hepatic arterial thrombosis in 741 consecutive recipients-tips and tricks to overcome the poor hepatic arterial flow.	Liver Transpl. 2017 Aug;23(8):1081-1082	Original Article
164	Motomura T., Yoshizumi T., Ohira M.	第二外科	Successful Recombinant Thrombomodulin Treatment for Thrombotic Microangiopathy After Liver Transplantation: A Case Report.	Transplant Proc. 2017 Dec;49(10):2409-2410.	Case report
165	Motomura T., Yoshizumi T., Wang H.	第二外科	Duct-to-duct Biliary Reconstruction in Living-donor Liver Transplantation for Primary Sclerosing Cholangitis: Report of a Case.	Transplant Proc. 2017 Jun;49(5):1196-1198.	Case report
166	Harimoto N., Yoshizumi T., Sakata K.	第二外科	Prognostic Significance of Preoperative Controlling Nutritional Status (CONUT) Score in Patients Undergoing Hepatic Resection for Hepatocellular Carcinoma.	World J Surg. 2017 Nov;41(11):2805-2812.	Original Article
167	Harimoto N., Yoshizumi T., Sakata K.	第二外科	Prognostic significance of combined albumin-bilirubin and tumor-node-metastasis staging system in patients who underwent hepatic resection for hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2017 Nov;47(12):1289-1298.	Original Article
168	Harimoto N., Yoshizumi T., Sakata K.	第二外科	Clinical Outcomes of Living Liver Transplantation According to the Presence of Sarcopenia as Defined by Skeletal Muscle Mass, Hand Grip, and Gait Speed.	Transplant Proc. 2017 Nov;49(9):2144-2152.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
169	Shimagaki T., Yoshizumi T., Harimoto N.	第二外科	MicroRNA-125b expression and intrahepatic metastasis are predictors for early recurrence after hepatocellular carcinoma resection.	Hepatol Res. 2018 Mar;48(4):313-321.	Original Article
170	Morisaki K, Yamaoka T, Iwasa K	第二外科	Outcomes of Endovascular Therapy for Infrarenal Aortic Occlusion of TASC II D Classification.	Ann Vasc Surg. 2017 Aug;43:203-209.	Original Article
171	Morisaki K, Matsumoto T, Matsubara Y	第二外科	Prognostic factor of the two-year mortality after revascularization in patients with critical limb ischemia.	Vascular. 2017 Apr;25(2):123-129.	Original Article
172	Morisaki K, Yamaoka T, Iwasa K	第二外科	Preoperative risk factors for aneurysm sac expansion caused by type 2 endoleak after endovascular aneurysm repair.	Vascular. 2017 Oct;25(5):533-541.	Original Article
173	Morisaki K, Yamaoka T, Iwasa K	第二外科	Influence of frailty on treatment outcomes after revascularization in patients with critical limb ischemia.c	J Vasc Surg. 2017 Dec;66(6):1758-1764.	Original Article
174	Morisaki K, Yamaoka T, Iwasa K	第二外科	Bypass Surgery after Endovascular Therapy for Infrapopliteal Lesion Is Not a Poor Outcome Compared with Initial Bypass Surgery by Vascular Surgeons.	Ann Vasc Surg. 2017 Nov;45:35-41.	Original Article
175	Fujimoto Y., Nakashima Y., Sasaki S.	第二外科	Chemoradiotherapy for Solitary Skeletal Muscle Metastasis from Oesophageal Cancer: Case Report and Brief Literature Review.	Anticancer Res. 2017 Oct;37(10):5687-5691.	Case report
176	Kudou K., Komatsu T., Nogami J.	第二外科	The requirement of Mettl3-promoted MyoD mRNA maintenance in proliferative myoblasts for skeletal muscle differentiation.	Open Biol. 2017 Sep;7(9). pii: 170119.	Original Article
177	Kudou K., Saeki H., Nakashima Y.	第二外科	Prognostic Significance of Sarcopenia in Patients with Esophagogastric Junction Cancer or Upper Gastric Cancer.	Ann Surg Oncol. 2017 Jul;24(7):1804-1810	Original Article
178	Korehisa S, Oki E, Iimori M	第二外科	Clinical significance of programmed cell death-ligand 1 expression and the immune microenvironment at the invasive front of colorectal cancers with high microsatellite instability.	Int J Cancer. 2018 Feb 15;142(4):822-832.	Original Article
179	Sasaki S, Sugiyama M, Nakaji Y	第二外科	Anal metastasis of rectal cancer-adenocarcinoma of squamous cells: a case report and literature review.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):55.	Case report
180	Saeki H, Nakashima Y, Hirose K	第二外科	"Energy-less technique" with mini-clips for recurrent laryngeal nerve lymph node dissection in prone thoracoscopic esophagectomy for esophageal cancer.	Am J Surg. 2017 Oct 23. pii: S0002-9610(17)31290-4.	Original Article
181	Kitao H, Iimori M, Kataoka Y	第二外科	DNA replication stress and cancer chemotherapy.	Cancer Sci. 2018 Feb;109(2):264-271.	Original Article
182	Nakanishi R, Kitao H, Kiniwa M	第二外科	Monitoring trifluridine incorporation in the peripheral blood mononuclear cells of colorectal cancer patients under trifluridine/tipiracil medication.	Sci Rep. 2017 Dec 5;7(1):16969.	Original Article
183	Nakanishi R, Oki E, Sasaki S	第二外科	Sarcopenia is an independent predictor of complications after colorectal cancer surgery.c	Surg Today. 2018 Feb;48(2):151-157.	Original Article
184	Oki E, Okano S, Saeki H	第二外科	Protein Expression of Programmed Death 1 Ligand 1 and HER2 in Gastric Carcinoma.	Oncology. 2017;93(6):387-394.	Original Article
185	Yamashita N, Tokunaga E, Yamamoto H	第二外科	The Local Recurrence of Breast Cancer with Squamous Metaplasia and Obvious Histological Heterogeneity.	Anticancer Res. 2017 Sep;37(9):5249-5254.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
186	Inoue Y, Yamashita N, Kitao H	第二外科	Clinical Significance of the Wild Type p53-Induced Phosphatase 1 Expression in Invasive Breast Cancer.	Clin Breast Cancer. 2017 Nov 21. pii: S1526-8209(17)30385-3.	Original Article
187	Inoue Y, Yamashita N, Tokunaga E	第二外科	A Locally Advanced Breast Cancer that Achieved pCR with Pertuzumab, Trastuzumab and Docetaxel: Case Report.	Anticancer Res. 2017 Apr;37(4):1917-1921.	Case report
188	Ando K, Emi Y, Suenaga T	第二外科	A prospective study of XELIRI plus bevacizumab as a first-line therapy in Japanese patients with unresectable or recurrent colorectal cancer (KSCC1101).	Int J Clin Oncol. 2017 Oct;22(5):913-920.	Original Article
189	Toyokawa G., Kozuma Y., Matsubara T.	第二外科	Prognostic impact of controlling nutritional status score in resected lung squamous cell carcinoma.	J Thorac Dis. 2017 Sep;9(9):2942-2951.	Original Article
190	Toyokawa G., Shimokawa M., Kozuma Y.	第二外科	Invasive features of small-sized lung adenocarcinoma adjoining emphysematous bullae.	Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Aug 29.	Original Article
191	Toyokawa G., Takada K., Okamoto T.	第二外科	Computed Tomography Features of Lung Adenocarcinomas With Programmed Death Ligand 1 Expression.	Clin Lung Cancer. 2017 Nov;18(6):e375-e383.	Original Article
192	Toyokawa G., Takada K., Okamoto T.	第二外科	Relevance Between Programmed Death Ligand 1 and Radiologic Invasiveness in Pathologic Stage I Lung Adenocarcinoma.	Ann Thorac Surg. 2017 Jun;103(6):1750-1757.	Original Article
193	Haratake N., Toyokawa G., Takada K.	第二外科	Programmed Death-Ligand 1 Expression and EGFR Mutations in Multifocal Lung Cancer.	Ann Thorac Surg. 2018 Feb;105(2):448-454.	Original Article
194	Haratake N., Toyokawa G., Tagawa T.	第二外科	Positive Conversion of PD-L1 Expression After Treatments with Chemotherapy and Nivolumab.	Anticancer Res. 2017 Oct;37(10):5713-5717.	Original Article
195	Haratake N., Shoji F., Kozuma Y.	第二外科	Giant Leiomyoma Arising from the Mediastinal Pleura: A Case Report.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2017 Jun 20;23(3):153-156.	Case report
196	Akamine T., Toyokawa G., Matsubara T.	第二外科	Highlighted version successful resection of a tracheal metastasis of rectal cancer: a case report.	J Thorac Dis. 2017 Sep;9(9):E797-E800.	Case report
197	Akamine T., Toyokawa G., Matsubara T.	第二外科	Significance of the Preoperative CONUT Score in Predicting Postoperative Disease-free and Overall Survival in Patients with Lung Adenocarcinoma with Obstructive Lung Disease.	Anticancer Res. 2017 May;37(5):2735-2742.	Original Article
198	Takamori S., Toyokawa G., Taguchi K.	第二外科	The Controlling Nutritional Status Score Is a Significant Independent Predictor of Poor Prognosis in Patients With Malignant Pleural Mesothelioma.	Clin Lung Cancer. 2017 Jul;18(4):e303-e313.	Original Article
199	Takamori S., Toyokawa G., Okamoto I.	第二外科	Discrepancy in Programmed Cell Death-Ligand 1 Between Primary and Metastatic Non-small Cell Lung Cancer.	Anticancer Res. 2017 Aug;37(8):4223-4228.	Original Article
200	Takamori S., Yamaguchi M., Taguchi K.	第二外科	Uncommon features of surgically resected ALK-positive cavitary lung adenocarcinoma: a case report.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):46.	Case report
201	Kawanaka H, Akahoshi T, Nagao Y	第二外科	Customization of laparoscopic gastric devascularization and splenectomy for gastric varices based on CT vascular anatomy.c	Surg Endosc. 2018 Jan;32(1):114-126.	Original Article
202	Fukushima S, Endo M, Matsumoto Y, et al.	整形外科	Hypoxia-inducible factor 1 alpha is a poor prognostic factor and potential therapeutic target in malignant peripheral nerve sheath tumor.	PLoS One. 2017; 12(5): e0178064	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
203	Oyama R, Takahashi M, Yoshida A, et al.	整形外科	Generation of novel patient-derived CIC-DUX4 sarcoma xenografts and cell lines.	Scientific Reports volume 7, Article number: 4712 (2017)	Original Article
204	Matsumoto Y, Shinoto M, Endo M, et al.	整形外科	Evaluation of Risk Factors for Vertebral Compression Fracture after Carbon-Ion Radiotherapy for Primary Spinal and Paraspinal Sarcoma.	Biomed Res Int. 2017;2017:9467402.	Original Article
205	Matsumoto Y, Baba S, Endo M, et al.	整形外科	Metabolic Tumor Volume by 18F-FDG PET/CT Can Predict the Clinical Outcome of Primary Malignant Spine/Spinal Tumors.	Biomed Res Int. 2017;2017:8132676.	Original Article
206	Sakumoto M, Takahashi M, Oyama R, et al.	整形外科	Establishment and proteomic characterization of NCC-LMS1-C1, a novel cell line of primary leiomyosarcoma of the bone.	Jpn J Clin Oncol. 2017 Oct 1;47(10):954-961.	Original Article
207	Hara M, Kobayakawa K, Ohkawa Y, Hara M, et al.	整形外科	Interaction of reactive astrocytes with type I collagen induces astrocytic scar formation through the integrin-N-cadherin pathway after spinal cord injury.	Nat Med. 2017 Jul;23(7):818-828.	Original Article
208	Renault-Mihara F, Mukaino M, Shinozaki M, et al.	整形外科	Regulation of RhoA by STAT3 coordinates glial scar formation.	J Cell Biol. 2017 Aug 7;216(8):2533-2550.	Original Article
209	Saito T, Hara M, Kumamaru H, et al.	整形外科	Macrophage Infiltration Is a Causative Factor for Ligamentum Flavum Hypertrophy through the Activation of Collagen Production in Fibroblasts.	Am J Pathol. 2017 Dec;187(12):2831-2840.	Original Article
210	Okada S, Hara M, Kobayakawa K, et al.	整形外科	Astrocyte reactivity and astrogliosis after spinal cord injury.	Neurosci Res. 2018 Jan;126:39-43.	Review
211	Yamaguchi R, Yamamoto T, Motomura G, et al.	整形外科	Radiological morphology variances of transient osteoporosis of the hip.	J Orthop Sci. 2017 Jul;22(4):687-692.	Original Article
212	Otsuka H, Kohashi K, Yoshimoto M, et al.	整形外科	Immunohistochemical evaluation of H3K27 trimethylation in malignant peripheral nerve sheath tumors.	Pathol Res Pract. 2018 Mar;214(3):417-425.	Original Article
213	Hara D, Hamai S, Komiyama K, et al.	整形外科	Sports Participation in Patients After Total Hip Arthroplasty vs Periacetabular Osteotomy: A Propensity Score-Matched Asian Cohort Study.	J Arthroplasty. 2018 Feb;33(2):423-430.	Original Article
214	Hara D, Hamai S, Fukushi J, et al.	整形外科	Does participation in sports activities after periacetabular osteotomy degenerate the stage of osteoarthritis?	Am J Sports Med. 2017 Sep;45(11):2468-2475.	Original Article
215	Murakami K, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	Kinematic analysis of stair climbing in rotating platform cruciate-retaining and posterior-stabilized mobile-bearing total knee arthroplasties.	Arch Orthop Trauma Surg. 2017 May;137(5):701-711.	Original Article
216	Yoshimoto K, Hamai S, Higaki H, et al.	整形外科	Visualization of a cam-type femoroacetabular impingement while squatting using image-matching techniques: a case report.	Skeletal Radiol. 2017 Sep;46(9):1277-1282.	Case report
217	Osaki K, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	Preoperative 3-D MRI planning of tunnel placement in ACL reconstruction for a skeletally immature patient: A case report.	J Orthop Sci. 2017 May 30. pii: S0949-2658(17)30133-1.	Case report
218	Yoshimoto K, Hamai S, Higaki H, et al.	整形外科	Pre- and post-operative evaluation of pincer-type femoroacetabular impingement during squat using image-matching techniques: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2018;42:121-127.	Case report
219	Abe D, Hamai S, Okazaki K, et al.	整形外科	Inverted V-shaped high tibial osteotomy for severe tibia vara associated with Turner syndrome: A case report and review of literature.	Int J Surg Case Rep. 2018;42:128-132.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
220	Ushio T, Okazaki K, Mizu-Uchi H, et al.	整形外科	Anterior cruciate ligament reconstruction in a patient who has received systemic steroids for autoimmune disease.	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2018 Jan; 11: 12-14.	Original Article
221	Ma Y, Mizu-Uchi H, Okazaki K, et al.	整形外科	Effects of tibial baseplate shape on rotational alignment in total knee arthroplasty: three-dimensional surgical simulation using osteoarthritis knees.	Arch Orthop Trauma Surg. 2018 Jan;138(1):105-114.	Original Article
222	Kuwashima U, Mizu-Uchi H, Okazaki K, et al.	整形外科	Three-dimensional analysis of accuracy of patient-matched instrumentation in total knee arthroplasty: Evaluation of intraoperative techniques and postoperative alignment.	J Orthop Sci. 2017 Nov;22(6):1077-1083.	Original Article
223	Karasuyama K, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Risk factor analysis for postoperative complications requiring revision surgery after transtrochanteric rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head.	J Orthop Surg Res. 2018 Jan 10;13(1):6.	Original Article
224	Baba S, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Femoral head fracture similar to slipped capital femoral epiphysis in an elderly woman with antecedent hip osteoarthritis after subchondral insufficiency fracture: A case report.	J Orthop Sci. 2017 Sep 26. pii: S0949-2658(17)30240-3.	Case report
225	Hatanaka H, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Use of a long distally fixed intramedullary stem to treat a periprosthetic femoral fracture following total hip arthroplasty using a thrust plate hip prosthesis: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2017;37:65-68.	Case report
226	Kubo Y, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Effect of collapse on the deformity of the femoral head-neck junction in osteonecrosis of the femoral head.	Arch Orthop Trauma Surg. 2017 Jul;137(7):933-938.	Original Article
227	Utsunomiya T, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	The Results of Total Hip Arthroplasty After Sugioka Transtrochanteric Anterior Rotational Osteotomy for Osteonecrosis.	J Arthroplasty. 2017 Sep;32(9):2768-2773.	Original Article
228	Baba S, Motomura G, Fukushi J, et al.	整形外科	Osteonecrosis of the femoral head associated with pigmented villonodular synovitis.	Rheumatol Int. 2017 May;37(5):841-845.	Case report
229	Haraguchi A, Nakashima Y, Miyahara H, et al.	整形外科	Minimum 10-year results of cementless total hip arthroplasty in patients with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 2017 Jul;27(4):598-604	Original Article
230	Takeuchi N, Mae T, Fukushi J	整形外科	Management of Intra-Articular Calcaneal Fractures: Clinical Results of Reduction Technique Using a Bone Spreader.	J Foot Ankle Surg. 2017 Sep - Oct;56(5):1025-1030.	Original article
231	Takeuchi N, Okada T, Kozono N	整形外科	Symmetric Peripheral Running Sutures are Superior to Asymmetric Peripheral Running Sutures for Increasing the Tendon Strength in Flexor Tendon Repair.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2017 Jun;22(2):208-213.	Original article
232	Takeuchi N, Matsumoto Y, Okada T	整形外科	Brodie's Abscess of the Radius in a Child.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2017 Jun;22(2):244-247.	Case report
233	Iida K, Matsumoto Y, Setsu N	整形外科	The neurological outcome of radiotherapy versus surgery in patients with metastatic spinal cord compression presenting with myelopathy.	Arch Orthop Trauma Surg. 2018 Jan;138(1):7-12.	Original Article
234	Kubo Y, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Factors influencing progressive collapse of the transposed necrotic lesion after transtrochanteric anterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head.	Orthop Traumatol Surg Res. 2017 Apr;103(2):217-222.	Original Article
235	Sonoda K, Motomura G, Ikemura S, et al.	整形外科	Effects of intertrochanteric osteotomy plane and preoperative femoral anteversion on the postoperative morphology of the proximal femur in transtrochanteric anterior rotational osteotomy: 3D CT-based simulation study.	Orthop Traumatol Surg Res. 2017 Nov;103(7):1005-1010.	Original Article
236	Iwasaki K, Yamamoto T, Motomura G, et al.	整形外科	Computed tomography findings of subchondral insufficiency fractures of the femoral head.	J Orthop. 2018 Feb 2;15(1):173-176.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
237	Yoshida F, Hirata M, Onodera A et al.	脳神経外科	Noninvasive spatiotemporal imaging of neural transmission in the subcortical visual pathway.	Sci Rep. 2017 Jun 30;7(1):4424.	Original Article
238	Kurogi R, Nakamizo A, Suzuki SO, et al.	脳神経外科	Comparing intracerebral hemorrhages associated with direct oral anticoagulants or warfarin.	Neurology. 2018 Mar 27;90(13):e1143-e1149.	Original Article
239	Kurogi R, Nishimura K, Nakai M, et al.	脳神経外科	Inhibition of glioblastoma cell invasion by hsa-miR-145-5p and hsa-miR-31-5p co-overexpression in human mesenchymal stem cells.	J Neurosurg. 2018 Mar 9:1-12.	Original Article
240	Yoshimoto K, Hatae R, Suzuki SO, et al.	脳神経外科	High-resolution melting and immunohistochemical analysis efficiently detects mutually exclusive genetic alterations of adamantinomatous and papillary craniopharyngiomas.	Neuropathology. 2018 Feb;38(1):3-10.	Original Article
241	Miki K, Arimura K, Nishimura A, et al.	脳神経外科	Revascularization Operation for Moyamoya Disease with Concurrent von Willebrand Disease.	World Neurosurg. 2017 Dec;108:991.e17-991.	Case report
242	Kawamura Y, Takouda J, Yoshimoto K, et al.	脳神経外科	New aspects of glioblastoma multiforme revealed by similarities between neural and glioblastoma stem cells. V	Cell Biol Toxicol. 2018 Jan 31.	Review
243	Kawamura Y, Katada S, Noguchi H, et al.	脳神経外科	Synergistic induction of astrocytic differentiation by factors secreted from meninges in the mouse developing brain.	FEBS Lett. 2017 Nov;591(22):3709-3720.	Original Article
244	Kawamura Y, Maruyama D, Akagi Y, et al.	脳神経外科	Effective Intraluminal Shunt in Carotid Endarterectomy for Carotid Artery Near Occlusion: Technical Report.	World Neurosurg. 2017 Oct;106:813-818.	Others
245	Kawamura Y, Sayama T, Maehara N, et al.	脳神経外科	Ruptured Aneurysm of an Aberrant Internal Carotid Artery Successfully Treated with Simultaneous Intervention and Surgery in a Hybrid Operating Room.	World Neurosurg. 2017 Jun;102:695.e1-695.	Case report
246	Miki K, Yoshimoto K, Nishimura A, et al.	脳神経外科	A Case of Ecchordosis Physaliphora in the Prepontine Cistern: A Rare Entity in the Differential Diagnosis of an Epidermoid Cyst.	World Neurosurg. 2017 Sep;105:1033.	Case report
247	Yoshimoto K, Hatae R, Sangatsuda Y, et al.	脳神経外科	Prevalence and clinicopathological features of H3.3 G34-mutant high-grade gliomas: a retrospective study of 411 consecutive glioma cases in a single institution.	Brain Tumor Pathol. 2017 Jul;34(3):103-112.	Original Article
248	Hata N, Hatae R, Yoshimoto K, et al.	脳神経外科	Insular primary glioblastomas with IDH mutations: Clinical and biological specificities.	Neuropathology. 2017 Jun;37(3):200-206.	Original Article
249	Hatae R, Hata N, Suzuki SO, et al.	脳神経外科	A comprehensive analysis identifies BRAF hotspot mutations associated with gliomas with peculiar epithelial morphology.	Neuropathology. 2017 Jun;37(3):191-199.	Original Article
250	Ushijima T, Fujimoto N, Matsuyama S, et al.	心臓血管外科	The actin-organizing formin protein Fhod3 is required for postnatal development and functional maintenance of the adult heart in mice.	J Biol Chem. 2018 Jan 5;293(1):148-162.	Original Article
251	Yanagi Y, Nakayama K, Taguchi T, et al.	小児外科	Histological and immunohistochemical characteristics of undifferentiated small round cell sarcomas associated with CIC-DUX4 and BCOR-CCNB3 fusion genes.	Virchows Arch. 2017 Apr;470(4):373-380.	Original Article
252	Taguchi T, Obata S, Ieiri S	小児外科	Current status of Hirschsprung's disease: based on a nationwide survey of Japan.	Pediatr Surg Int. 2017 Apr;33(4):497-504.	Original Article
253	Taguchi T, Kitagawa H	小児外科	The joint meeting of AAPS, JSPS, IPEG and WOFAPS.	Pediatr Surg Int. 2017 Apr;33(4):397.	Letter

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
254	Obata S, Fukahori S, Yagi M, et al	小児外科	Internal anal sphincter achalasia: data from a nationwide survey of allied disorders of Hirschsprung's disease in Japan.	Surg Today. 2017 Dec;47(12):1429-1433.	Original Article
255	Fuyuno Y, Uchi H, Yasumatsu M 他	皮膚科	Perilaldehyde Inhibits AHR Signaling and Activates NRF2 Antioxidant Pathway in Human Keratinocytes.	Oxid Med Cell Longev. 2018 Feb 14;2018:9524657.	Original Article
256	Akamine S, Sagata N, Sakai Y 他	皮膚科	Early-onset epileptic encephalopathy and severe developmental delay in an association with de novo double mutations in NF1 and MAGEL2.	Epilepsia Open. 2017 Nov 23;3(1):81-85.	Original Article
257	Furue M, Ito T, Wada N 他	皮膚科	Melanoma and Immune Checkpoint Inhibitors.	Curr Oncol Rep. 2018 Mar 23;20(3):29.	Review
258	Akahane M, Matsumoto S, Kanagawa Y 他	皮膚科	Long-Term Health Effects of PCBs and Related Compounds: A Comparative Analysis of Patients Suffering from Yusho and the General Population.	Arch Environ Contam Toxicol. 2018 Feb;74(2):203-217.	Original Article
259	Mitoma C, Furue M	皮膚科	Overexpression of S100A7 protein is an integral part of abnormal epidermal differentiation in cornoid lamella of porokeratosis.	Int J Dermatol. 2018 Feb;57(2):e7-e9	Original Article
260	Takeuchi S, Oba J, Esaki H 他	皮膚科	Non-corticosteroid adherence and itch severity influence perception of itch in atopic dermatitis.	J Dermatol. 2018 Feb;45(2):158-164.	Original Article
261	Namikawa K, Tsutsumida A, Mizutani T 他	皮膚科	Randomized phase III trial of adjuvant therapy with locoregional interferon beta versus surgery alone in stage II/III cutaneous melanoma: Japan Clinical Oncology Group Study (JCOG1309, J-FERON).	Jpn J Clin Oncol. 2017 Jul 1;47(7):664-667.	Original Article
262	Furue K, Mitoma C, Tsuji G 他	皮膚科	Protective role of peroxisome proliferator-activated receptor α agonists in skin barrier and inflammation.	Immunobiology. 2018 Mar;223(3):327-330.	Review
263	Murai M, Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, 他	皮膚科	An endogenous tryptophan photo-product, FICZ, is potentially involved in photo-aging by reducing TGF- β -regulated collagen homeostasis.	J Dermatol Sci. 2018 Jan;89(1):19-26.	Original Article
264	Furue M, Kadono T, Tsuji G, 他	皮膚科	Topical E6005/RVT-501, a novel phosphodiesterase 4 inhibitor, for the treatment of atopic dermatitis.	Expert Opin Investig Drugs. 2017 Dec;26(12):1403-1408.	Review
265	Sagata N, Kato TA, Kano SI 他	皮膚科	Dysregulated gene expressions of MEX3D, FOS and BCL2 in human induced-neuronal (iN) cells from NF1 patients: a pilot study.	Sci Rep. 2017 Oct 24;7(1):13905.	Original Article
266	Furue K, Yamamura K, Tsuji G 他	皮膚科	Highlighting Interleukin-36 Signalling in Plaque Psoriasis and Pustular Psoriasis.	Acta Derm Venereol. 2018 Jan 12;98(1):5-13.	Review
267	Hirano A, Goto M, Mitsui T 他	皮膚科	Antioxidant Artemisia princeps Extract Enhances the Expression of Filaggrin and Loricrin via the AHR/OVOL1 Pathway.	Int J Mol Sci. 2017 Sep 11;18(9). pii: E1948.	Original Article
268	Yamada Y, Kinoshita I, Kenichi K 他	皮膚科	Histopathological and genetic review of phosphaturic mesenchymal tumours, mixed connective tissue variant.	Histopathology. 2018 Feb;72(3):460-471.	Original Article
269	Sakoda T, Kanamitsu Y, Mori Y 他	皮膚科	Recurrent Subcutaneous Sweet's Disease in a Myelofibrosis Patient Treated with Ruxolitinib before Allogeneic Stem Cell Transplantation.	Intern Med. 2017 Sep 15;56(18):2481-2485.	Original Article
270	Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Kiyomatsu-Oda M 他	皮膚科	Aryl hydrocarbon receptor activation restores filaggrin expression via OVOL1 in atopic dermatitis.	Cell Death Dis. 2017 Jul 13;8(7):e2931.	Review

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
271	Wada N, Uchi H, Furue M	皮膚科	Bullous pemphigoid induced by pembrolizumab in a patient with advanced melanoma expressing collagen XVII.	J Dermatol. 2017 Oct;44(10):e240-e241.	Case report
272	Furue M, Tsuji G, Chiba T 他	皮膚科	Cardiovascular and Metabolic Diseases Comorbid with Psoriasis: Beyond the Skin.	Intern Med. 2017;56(13):1613-1619.	Review
273	Furue M, Kadono T	皮膚科	"Inflammatory skin march" in atopic dermatitis and psoriasis.	Inflamm Res. 2017 Oct;66(10):833-842.	Review
274	Uryu M, Furue M	皮膚科	p16(INK4a) Expression in Porokeratosis	Ann Dermatol. 2017 Jun;29(3):373-376.	Original Article
275	Morino-Koga S, Uchi H, Mitoma C 他	皮膚科	6-Formylindolo[3,2-b]Carbazole Accelerates Skin Wound Healing via Activation of ERK, but Not Aryl Hydrocarbon Receptor.	J Invest Dermatol. 2017 Oct;137(10):2217-2226.	Original Article
276	Maehara E, Mitoma C, Tsuji G 他	皮膚科	Breast angiosarcoma without radiation history, putatively associated with subclinical lymphedema: A case report and review of the Japanese literature.	J Dermatol. 2017 Oct;44(10):e266-e267.	Case report
277	Furue M, Mitoma C, Mitoma H 他	皮膚科	Pathogenesis of systemic sclerosis-current concept and emerging treatments.	Immunol Res. 2017 Aug;65(4):790-797.	Review
278	Takeda T, Komiya Y, Koga T 他	皮膚科	Dioxin-induced increase in leukotriene B4 biosynthesis through the aryl hydrocarbon receptor and its relevance to hepatotoxicity owing to neutrophil infiltration.	J Biol Chem. 2017 Jun 23;292(25):10586-10599.	Original Article
279	Wada N, Uchi H, Furue M	皮膚科	Case of remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema (RS3PE) syndrome induced by nivolumab in a patient with advanced malignant melanoma.	J Dermatol. 2017 Aug;44(8):e196-e197.	Case report
280	Morokuma S, Tsukimori K, Hori T 他	皮膚科	The Vernix Caseosa is the Main Site of Dioxin Excretion in the Human Foetus.	Sci Rep. 2017 Apr 7;7(1):739.	Original Article
281	Wada M, Ito T, Tsuji G 他	皮膚科	Acral lentiginous melanoma versus other melanoma: A single-center analysis in Japan.	J Dermatol. 2017 Aug;44(8):932-938.	Original Article
282	Ito T, Tsuji G, Ohno F 他	皮膚科	Potential role of the OVOL1-OVOL2 axis and c-Myc in the progression of cutaneous squamous cell carcinoma.	Mod Pathol. 2017 Jul;30(7):919-927.	Original Article
283	Kitajima K, Ashida K, Wada N 他	皮膚科	Isolated ACTH deficiency probably induced by autoimmune-related mechanism evoked with nivolumab.	Jpn J Clin Oncol. 2017 May 1;47(5):463-466.	Case report
284	Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Takemura M 他	皮膚科	Palladium and Platinum Nanoparticles Activate AHR and NRF2 in Human Keratinocytes-Implications in Vitiligo Therapy.	J Invest Dermatol. 2017 Jul;137(7):1582-1586.	Original Article
285	Reich A, Chatzigeorgidis E, Zeidler C 他	皮膚科	Tailoring the Cut-off Values of the Visual Analogue Scale and Numeric Rating Scale in Itch Assessment.	Acta Derm Venereol. 2017 Jun 9;97(6):759-760.	Original Article
286	Furue M, Kadono T	皮膚科	Pemphigus, a pathomechanism of acantholysis.	Australas J Dermatol. 2017 Aug;58(3):171-173	Review
287	Wada N, Uchi H, Furue M	皮膚科	Case of angiosarcoma of the scalp successfully controlled by eribulin.	J Dermatol. 2018 Jan;45(1):116-117.	Case report

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
288	Furue M, Chiba T, Tsuji G, 他	皮膚科	Atopic dermatitis: immune deviation, barrier dysfunction, IgE autoreactivity and new therapies.	Allergol Int. 2017 Jul;66(3):398-403.	Review
289	Yagami A, Furue M, Togawa M 他	皮膚科	One-year safety and efficacy study of bilastine treatment in Japanese patients with chronic spontaneous urticaria or pruritus associated with skin diseases.	J Dermatol. 2017 Apr;44(4):375-385.	Original Article
290	Itoh E, Nakahara T, Furumura M 他	皮膚科	Case of autosomal recessive woolly hair/hypotrichosis with atopic dermatitis.	J Dermatol. 2017 Oct;44(10):1185-1186.	Case report
291	Tsuji G, Takei K, Takahara M 他	皮膚科	Simultaneous onset of sporotrichosis in mother and daughter	J Dermatol. 2017 Sep;44(9):1068-1069.	Case report
292	Ichiki T, Jinnai S, Nakagawa R 他	皮膚科	Case of widespread fat necrosis that was caused by severe pancreatitis and histologically resembled pancreatic panniculitis.	J Dermatol. 2017 Aug;44(8):979-981.	Case report
293	Tsuji G, Takei K, Takahara M 他	皮膚科	Cutaneous Pseudallescheria boydii/Scedosporium apiospermum complex infection in immunocompromised patients: A report of two cases.	J Dermatol. 2017 Sep;44(9):1067-1068.	Case report
294	Hide M, Yagami A, Togawa M 他	皮膚科	Efficacy and safety of bilastine in Japanese patients with chronic spontaneous urticaria: A multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group phase II/III study.	Allergol Int. 2017 Apr;66(2):317-325.	Original Article
295	Ijichi A, Mitoma C, Yasukochi Y 他	皮膚科	Vulvar verruciform xanthoma developing in acquired lymphangioma circumscriptum.	J Dermatol. 2017 May;44(5):604-605.	Case report
296	Masaoka H, Ito H, Gallus S, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Combination of ALDH2 and ADH1B polymorphisms is associated with smoking initiation: A large-scale cross-sectional study in a Japanese population.	Drug Alcohol Depend. 2017 Apr 1;173:85-91.	Original Article
297	Shiota M, Yokomizo A, Takeuchi A, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Protein kinase C regulates Twist1 expression via NF- κ B in prostate cancer.	Endocr Relat Cancer. 2017 Apr;24(4):171-180.	Original Article
298	Shiota M, Takeuchi A, Sugimoto M, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	The Differential Impact of Body Mass Index and the Feature of Metabolic Syndrome on Oncological Outcomes Following Different Surgical Procedures in Japanese Men with Prostate Cancer.	Ann Surg Oncol. 2017 May;24(5):1443-1450.	Original Article
299	Inokuchi J, Eto M, Hara T, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Impact of lymph node dissection on clinical outcomes during nephroureterectomy in patients with clinically node-negative upper urinary tract urothelial cancer: subanalysis of a multi-institutional nationwide case series	Jpn J Clin Oncol. 2017 Jul 1;47(7):652-659.	Original Article
300	Masaoka H, Ito H, Yokomizo A, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Potential overtreatment among men aged 80 years and older with localized prostate cancer in Japan.	Cancer Sci. 2017 Aug;108(8):1673-1680.	Original Article
301	Masaoka H, Gallus S, Ito H, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Aldehyde Dehydrogenase 2 Polymorphism Is a Predictor of Smoking Cessation.	Nicotine Tob Res. 2017 Sep 1;19(9):1087-1094.	Original Article
302	Inokuchi J, Kuroiwa K, Kakehi Y, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Role of lymph node dissection during radical nephroureterectomy for upper urinary tract urothelial cancer: multi-institutional large retrospective study JCOG1110A.	World J Urol. 2017 Nov;35(11):1737-1744.	Original Article
303	Matsumoto T, Uchiumi T, Monji K, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Doxycycline induces apoptosis via ER stress selectively to cells with a cancer stem cell-like properties: importance of stem cell plasticity.	Oncogenesis. 2017 Nov 29;6(11):397.	Original Article
304	Masaoka H, Matsuo K, Sawada N, et al	泌尿器・前立 腺・腎臓・副腎 外科	Alcohol consumption and bladder cancer risk with or without the flushing response: The Japan Public Health Center-based Prospective Study.	Int J Cancer. 2017 Dec 15;141(12):2480-2488.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
305	Shiota M, Fujimoto N, Takeuchi A, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The Association of Polymorphisms in the Gene Encoding Gonadotropin-Releasing Hormone with Serum Testosterone Level during Androgen Deprivation Therapy and Prognosis of Metastatic Prostate Cancer.	J Urol. 2017 Sep 20. pii: S0022-5347(17)77562-3.	Original Article
306	Kashiwagi E, Inoue S, Mizushima T, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prostaglandin receptors induce urothelial tumourigenesis as well as bladder cancer progression and cisplatin resistance presumably via modulating PTEN expression.	Br J Cancer. 2018 Jan;118(2):213-223.	Original Article
307	Lee K, Isogai A, Antoh M, et al	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Role of K ⁺ channels in regulating spontaneous activity in the muscularis mucosae of guinea pig bladder.	Eur J Pharmacol. 2018 Jan 5;818:30-37.	Original Article
308	Takeuchi A, Kato K, Akashi K, Eto M:	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Cyclophosphamide-induced tolerance in kidney transplantation avoids long-term immunosuppressive therapy.	Int J Urol. 2018 Feb;25(2):112-120.	Original Article
309	Castillo E, eon J, Mazzei G, Hruyama N et al	精神科神経科	Comparative profiling of cortical gene expression in Alzheimer's disease patients and mouse models demonstrates a link between amyloidosis and neuroinflammation.	Sci Rep. 2017 Dec 19;7(1):17762.	Original Article
310	Hashimoto N, Ito Y, Okada N et al	精神科神経科	The effect of duration of illness and antipsychotics on subcortical volumes in schizophrenia: Analysis of 778 subjects.	Neuroimage Clin. 2017 Nov 8;17:563-569.	Original Article
311	Hayakawa K, Kato TA*, Imamura S et al	精神科神経科	Progressive brain atrophy and cognitive decline along with multiple episodes of delirium.	Psychiatry Clin Neurosci. 2017 Jun;71(6):418-419.	Original Article
312	Hirakawa N, Hirano Y, Nakamura I, et al	精神科神経科	Right hemisphere pitch-mismatch negativity reduction in patients with major depression: An MEG study.	J Affect Disord. 2017 Jun;215:225-229	Original Article
313	Hirano S, Nakhnikian A, Hirano Y, et al	精神科神経科	Phase-Amplitude Coupling of the Electroencephalogram in the Auditory Cortex in Schizophrenia.	Biol Psychiatry Cogn Neurosci Neuroimaging. 2018 Jan;3(1):69-76.	Original Article
314	Hirano Y, Hosaka K	精神科神経科	Creativity and arts in psychiatry.	doi: 10.1111/pcn.12617.	Original Article
315	Ikari K, Nakao T, Nemoto K et al	精神科神経科	Morphologic and clinical differences between Early- and Late-onset obsessive-compulsive disorder.	Journal of Obsessive-Compulsive and Related Disorders. 2017	Original Article
316	Ishisaka N, Shimano S, Miura T et al	精神科神経科	Neurocognitive profile of euthymic Japanese patients with bipolar disorder.	Psychiatry Clin Neurosci. 2017 Jun;71(6):373-382.	Original Article
317	Kato TA*, Kanba S	精神科神経科	Modern-Type Depression as an "Adjustment" Disorder in Japan: The Intersection of Collectivistic Society Encountering an Individualistic Performance-Based System.	Am J Psychiatry. 2017 Nov 1;174(11):1051-1053.	Letter
318	Kato TA, Ohgidani M, and Kanba S	精神科神経科	[Translational Research on Neuropsychiatric Disorders: Focusing on Microglia Hypothesis].	Brain Nerve. 2017 Sep;69(9):1007-1015.	Original Article
319	Mukai N, Ohara T, Hata J, Hirakawa Y et al	精神科神経科	Alternative Measures of Hyperglycemia and Risk of Alzheimer's Disease in the Community: The Hisayama Study.	J Clin Endocrinol Metab. 2017 Aug 1;102(8):3002-3010.	Original Article
320	Nagata M, Hata J, Hirakawa Y, Mukai N et al	精神科神経科	The ratio of serum eicosapentaenoic acid to arachidonic acid and risk of cancer death in a Japanese community: The Hisayama Study.	J Epidemiol. 2017 Dec;27(12):578-583.	Original Article
321	Ohara T, Hata J, Yoshida D et al	精神科神経科	Trends in dementia prevalence, incidence, and survival rate in a Japanese community.	Neurology. 2017 May 16;88(20):1925-1932.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
322	Ohara T, Ninomiya T	精神科神経科	Author response: Trends in dementia prevalence, incidence, and survival rate in a Japanese community.	Neurology. 2017 Oct 31;89(18):1930-1931.	Letter
323	Ohara T, Oishi E, Ninomiya T	精神科神経科	Day-to-day blood pressure variability and dementia.	Oncotarget. 2017 Dec 6;8(70):114416-114417.	Others
324	Oishi E, Ohara T, Sakata S, Fukuhara M et al	精神科神経科	Day-to-Day Blood Pressure Variability and Risk of Dementia in a General Japanese Elderly Population: The Hisayama Study.	Circulation. 2017 Aug 8;136(6):516-525.	Original Article
325	Takae K, Hata J, Ohara T, Yoshida D et al	精神科神経科	Albuminuria Increases the Risks for Both Alzheimer Disease and Vascular Dementia in Community-Dwelling Japanese Elderly: The Hisayama Study.	J Am Heart Assoc. 2018 Jan 20;7(2).	Original Article
326	Takeuchi K, Ohara T, Furuta M et al	精神科神経科	Tooth Loss and Risk of Dementia in the Community: the Hisayama Study.	J Am Geriatr Soc. 2017 May;65(5):e95-e100.	Original Article
327	Wu YT, Beiser AS, Breteler MMB et al	精神科神経科	The changing prevalence and incidence of dementia over time - current evidence.	Nat Rev Neurol. 2017 Jun;13(6):327-339.	Review
328	Yoshida S, Nakama T, Ishikawa K et al	眼科	Periostin in vitreoretinal diseases.	Cell Mol Life Sci. 2017 Dec;74(23):4329-4337.	Review
329	Okumura N, Nakao S, Inoue T et al	眼科	Rho Kinase in Eye Disease.	J Ophthalmol 2017;9281745, 2017/08/27	Review
330	Zhou Y, Yoshida S, Peng Y et al	眼科	Diverse roles of macrophages in intraocular neovascular diseases: a review.	Int J Ophthalmol. 2017; 10(12): 1902-1908.	Review
331	Yang M, Chung Y, Lang S et al	眼科	The tear cytokine profile in patients with active Graves' orbitopathy.	Endocrine. 2018 Feb;59(2):402-409.	Original Article
332	Sakamoto Y, Yamamoto T, Sugano N et al	眼科	Genome-wide Association Study of Idiopathic Osteonecrosis of the Femoral Head.	Sci Rep. 2017 Nov 8;7(1):15035.	Original Article
333	Yoshida S, Kobayashi Y, Nakao S et al	眼科	Differential association of elevated inflammatory cytokines with postoperative fibrous proliferation and neovascularization after unsuccessful vitrectomy in eyes with proliferative diabetic retinopathy.	Clin Ophthalmol. 2017 Sep 19;11:1697-1705.	Original Article
334	Takeda A, Ishibashi T, Sonoda KH et al	眼科	Epidemiology of Uveitis, Caused by HTLV-1, Toxoplasmosis, and Tuberculosis; the Three Leading Causes of Endemic Infectious Uveitis in Japan.	Ocul Immunol Inflamm. 2017;25(sup1):S19-S23.	Original Article
335	Mohdoun S, Kensuke Shibata, Yasunobu Yoshikawa et al	眼科	In vivo blockade of T cell development reveals alternative pathways for generation of intraepithelial lymphocytes in mice.	Immunol Lett. 2017 Nov;191:40-46.	Original Article
336	Taki R, Takeda A, Yoshikawa Hiroshi et al	眼科	Clinical Features of Systemic Metastatic Retinal Lymphoma in Japanese Patients.	Ocul Immunol Inflamm. 2017 Oct;25(5):654-662.	Original Article
337	Wada I, Yoshida S, Kobayashi Y et al	眼科	Quantifying metamorphopsia with M-CHARTS in patients with idiopathic macular hole.	Clin Ophthalmol. 2017; 11: 1719-1726.	Original Article
338	Ichise H, Nagano S, Maeda T, Miyazaki M et al	眼科	NK Cell Alloreactivity against KIR-Ligand-Mismatched HLA-Haploidentical Tissue Derived from HLA Haplotype-Homozygous iPSCs.	Stem Cell Reports. 2017 Sep 12; 9(3): 853-867.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
339	AKiyama M, Okada Y, Kanai M, Takahashi A et al	眼科	Trans-ancestry genome-wide association study identifies 12 genetic loci influencing blood pressure and implicates a role for DNA methylation.	Nat Genet 49(10):1458-67, 2017/09/11	Original Article
340	Hasegawa E, Inafuku S, Mulki L et al	眼科	Cytochrome P450 monooxygenase lipid metabolites are significant second messengers in the resolution of choroidal neovascularization.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2017 Sep 5; 114(36): E7545-E7553.	Original Article
341	Kaizu Y, Nakao S, Wada I, Yamaguchi M et al	眼科	Imaging of Retinal Vascular Layers: Adaptive Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy Versus Optical Coherence Tomography Angiography.	Transl Vis Sci Technol. 2017 Sep; 6(5): 2.	Original Article
342	Kaizu Y, Nakao S, Yoshida S et al	眼科	Optical Coherence Tomography Angiography Reveals Spatial Bias of Macular Capillary Dropout in Diabetic Retinopathy.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2017 Sep 1;58(11):4889-4897.	Original Article
343	Sano Y, Matsukane Y, Watanabe A et al	眼科	Lack of FOXE3 coding mutation in a case of congenital aphakia.	Ophthalmic Genet. 2018 Jan-Feb;39(1):95-98.	Case report
344	Hisatomi T, Tachibana T, Notomi S et al	眼科	INCOMPLETE REPAIR OF RETINAL STRUCTURE AFTER VITRECTOMY WITH INTERNAL LIMITING MEMBRANE PEELING.	Retina. 2017 Aug;37(8):1523-1528.	Original Article
345	Ruamviboonsuk P, Tadarati M, Singhanetr P et al	眼科	Genome-wide association study of neovascular age-related macular degeneration in the Thai population.	J Hum Genet. 2017 Nov;62(11):957-962.	Original Article
346	Oshima Yuji, Kimoto K, Yoshida N et al	眼科	One-Year Outcomes following Intravitreal Aflibercept for Polypoidal Choroidal Vasculopathy in Japanese Patients: The APOLLO Study.	Ophthalmologica. 2017;238(3):163-171.	Original Article
347	Berdasco M, Gómez A, Rubio MJ et al	眼科	DNA Methylomes Reveal Biological Networks Involved in Human Eye Development, Functions and Associated Disorders.	Sci Rep. 2017 Sep 18;7(1):11762.	Original Article
348	Yanai R, Harada D, Uchi SH et al	眼科	Poor prognosis of elderly individuals >80 years of age with acute retinal necrosis.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2017 Jun 22;7:107-112.	Case report
349	Arima M, Tsukamoto S, Fujiwara K et al	眼科	Late-onset Circulatory Collapse and Continuous Positive Airway Pressure are Useful Predictors of Treatment-requiring Retinopathy of Prematurity: A 9-year Retrospective Analysis.	Sci Rep. 2017 Jun 20;7(1):3904.	Original Article
350	Zhou Y, Yoshida S, Kubo Y et al	眼科	Different distributions of M1 and M2 macrophages in a mouse model of laser-induced choroidal neovascularization.	Mol Med Rep. 2017 Jun;15(6):3949-3956.	Original Article
351	Frimmel S, Zandi S, Sun D et al	眼科	Molecular Imaging of Retinal Endothelial Injury in Diabetic Animals.	J Ophthalmic Vis Res. 2017 Apr-Jun;12(2):175-182.	Original Article
352	Yamaguchi M, Nakao S, Arima M et al	眼科	Rho-Kinase/ROCK as a Potential Drug Target for Vitreoretinal Diseases.	J Ophthalmol. 2017;2017:8543592.	Review
353	Fujiwara K, Ikeda Yasuhiro, Murakami Y et al	眼科	Risk Factors for Posterior Subcapsular Cataract in Retinitis Pigmentosa.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 58:2534-2537, 2017/05/01	Original Article
354	Peng YQ, Tang LS, Yoshida S et al	眼科	Applications of CRISPR/Cas9 in retinal degenerative diseases.	Int J Ophthalmol. 2017 Apr 18;10(4):646-651.	Original Article
355	Kimura K, Zhou H, Orita T et al	眼科	Suppression by an RAR- γ Agonist of Collagen Degradation Mediated by Corneal Fibroblasts.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2017 Apr 1;58(4):2250-2257.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
356	Murakami D, Sawatsubashi M, Omori H 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Safety and efficacy of short-term oral immunotherapy with Cry j 1-galactomannan conjugate for Japanese cedar pollinosis: a randomized controlled trial.	Sci Rep. 2017 Apr 11;7:46142.	Original Article
357	Yasui T, Uezono N, Nakashima H 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Hypoxia epigenetically confers astrocytic differentiation potential on human pluripotent cell-derived neural precursor cells.	Stem Cell Reports. 2017 Jun 6; 8(6): 1743-1756.	Original Article
358	Yamasaki R, Yamaguchi H, Matsushita T, et al.	放射線科	Early strong intrathecal inflammation in cerebellar type multiple system atrophy by cerebrospinal fluid cytokine/chemokine profiles: a case control study.	J Neuroinflammation. 2017 Apr 24;14(1):89.	Original Article
359	Hayashida S, Masaki K, Yonekawa T, et al.	放射線科	Early and extensive spinal white matter involvement in neuromyelitis optica.	Brain Pathol. 2017 May;27(3):249-265.	Original Article
360	Obara M, Togao O, Yoneyama M, et al.	放射線科	Acceleration-selective arterial spin labeling for intracranial MR angiography with improved visualization of cortical arteries and suppression of cortical veins.	Magn Reson Med. 2017 May;77(5):1996-2004.	Original Article
361	Togao O, Keupp J, Hiwatashi A et al.	放射線科	Amide proton transfer imaging of brain tumors using a self-corrected 3D fast spin-echo dixon method: Comparison With separate B0 correction.	Magn Reson Med. 2017 Jun;77(6):2272-2279.	Original Article
362	Yamashita K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Cerebral blood flow laterality derived from arterial spin labeling as a biomarker for assessing the disease severity of Parkinson's disease.	J Magn Reson Imaging. 2017 Jun;45(6):1821-1826.	Original Article
363	Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K et al.	放射線科	Lumbar plexus in patients with chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy: Evaluation with 3D nerve-sheath signal increased with inked rest-tissue rapid acquisition of relaxation enhancement imaging (3D SHINKEI).	Eur J Radiol. 2017 Aug;93:95-99.	Original Article
364	Yamashita K, Hiwatashi A, Togao O et al.	放射線科	Additive value of "otosclerosis-weighted" images for the CT diagnosis of fenestral otosclerosis.	Acta Radiol. 2017 Oct;58(10):1215-1221.	Original Article
365	Kikuchi K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Structural changes in Parkinson's disease: voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging analyses based on 123I-MIBG uptake.	Eur Radiol. 2017 Dec;27(12):5073-5079.	Original Article
366	Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K et al.	放射線科	Diffusivity of intraorbital lymphoma vs. inflammation: comparison of single shot turbo spin echo and multishot echo planar imaging techniques.	Eur Radiol. 2018 Jan;28(1):325-330.	Original Article
367	Momosaka D, Togao O, Hiwatashi A, et al.	放射線科	Spindle cell/sclerosing rhabdomyosarcoma with intracranial invasion without destroying the bone of the skull base: a case report and literature review.	Acta Radiol Open. 2017 Aug 18;6(8):2058460117727316.	Case report
368	Kikuchi K, Hiwatashi A, Togao O, et al.	放射線科	Correlation between arterial spin-labeling perfusion and histopathological vascular density of pediatric intracranial tumors.	J Neurooncol. 2017 Dec;135(3):561-569.	Original Article
369	Togao O, Hiwatashi A, Obara M, et al.	放射線科	Acceleration-selective Arterial Spin-labeling MR Angiography Used to Visualize Distal Cerebral Arteries and Collateral Vessels in Moyamoya Disease.	Radiology. 2018 Feb;286(2):611-621.	Original Article
370	Takayama Y, Nishie A, Togao O, et al.	放射線科	Amide Proton Transfer MR Imaging of Endometrioid Endometrial Adenocarcinoma: Association with Histologic Grade.	Radiology. 2018 Mar;286(3):909-917.	Original Article
371	Yabuuchi H, Kawanami S, Kamitani T, et al.	放射線科	Detectability of BI-RADS category 3 or higher breast lesions and reading time on mammography: comparison between 5-MP and 8-MP LCD monitors.	Acta Radiol. 2017 Apr;58(4):403-407.	Original Article
372	Nagao M, Yamasaki Y, Kamitani T, et al.	放射線科	Quantification of myocardial oxygenation in heart failure using blood-oxygen-level-dependent T2* magnetic resonance imaging: Comparison with cardiopulmonary exercise test.	Magn Reson Imaging. 2017 Jun;39:138-143.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
373	Maruoka, Y, Nagao M, Baba S, et al.	放射線科	Three-dimensional fractal analysis of 99mTc-MAA SPECT images in chronic thromboembolic pulmonary hypertension for evaluation of response to balloon pulmonary angioplasty: association with pulmonary arterial pressure.	Nucl Med Commun. 2017 Jun;38(6):480-486.	Original Article
374	Kawakubo, M, Akamine H, Yamasaki Y, et al.	放射線科	Three-dimensional phase contrast magnetic resonance imaging validated to assess pulmonary artery flow in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Radiol Phys Technol. 2017 Jun;10(2):249-255.	Original Article
375	Kitamura Y, Baba S, Isoda T, et al.	放射線科	The Efficiency of Respiratory-gated 18F-FDG PET/CT in Lung Adenocarcinoma: Amplitude-gating Versus Phase-gating Methods.	Asia Ocean J Nucl Med Biol. 2017 Winter;5(1):30-36.	Original Article
376	Nagao M, Yamasaki Y, Kamitani T, et al.	放射線科	Geometrical characteristics of aortic root and left ventricular dysfunction in aortic stenosis: quantification of 256-slice coronary CT angiography.	Heart Vessels. 2017 May;32(5):558-565.	Original Article
377	Yabuuchi H, Kawanami S, Iwama E, et al.	放射線科	Prediction of Therapeutic Effect of Chemotherapy for NSCLC Using Dual-Input Perfusion CT Analysis: Comparison among Bevacizumab Treatment, Two-Agent Platinum-based Therapy without Bevacizumab, and Other Non-Bevacizumab Treatment Groups.	Radiology. 2018 Feb;286(2):685-695.	Original Article
378	Nishie A, Goshima S, Haradome H, et al.	放射線科	Cost-effectiveness of EOB-MRI for Hepatocellular Carcinoma in Japan.	Clin Ther. 2017 Apr;39(4):738-750.e4.	Original Article
379	Sonoda K, Motomura G, Kawanami S, et al.	放射線科	Degeneration of articular cartilage in osteonecrosis of the femoral head begins at the necrotic region after collapse: a preliminary study using T1 rho MRI.	Skeletal Radiol. 2017 Apr;46(4):463-467.	Original Article
380	Takayama Y, Nishie A, Asayama Y, et al.	放射線科	Image quality and diagnostic performance of free-breathing diffusion-weighted imaging for hepatocellular carcinoma.	World J Hepatol. 2017 May 18;9(14):657-666.	Original Article
381	Morita K, Nishie A, Asayama Y, et al.	放射線科	Does apparent diffusion coefficient predict the degree of liver regeneration of donor and recipient after living donor liver transplantation?	Eur J Radiol. 2017 May;90:146-151.	Original Article
382	Asayama Y, Nishie A, Ishigami K, et al.	放射線科	Prognostic significance of contrast-enhanced CT attenuation value in extrahepatic cholangiocarcinoma.	Eur Radiol. 2017 Jun;27(6):2563-2569.	Original Article
383	Tsurumaru D, Miyasaka M, Muraki T, et al.	放射線科	Diffuse-type gastric cancer: specific enhancement pattern on multiphasic contrast-enhanced computed tomography.	Jpn J Radiol 2017 Jun;35(6):289-295	Original Article
384	Okuaki T, Takayama Y, Nishie A, et al.	放射線科	T1 ρ mapping improvement using stretched-type adiabatic locking pulses for assessment of human liver function at 3T.	Magn Reson Imaging. 2017 Jul;40:17-23.	Original Article
385	Asayama Y, Okamoto D, Ushijima Y, et al.	放射線科	Predictors of therapeutic effect of transarterial chemoembolisation using drug-eluting beads for hepatocellular carcinoma.	Clin Radiol. 2017 Sep;72(9):780-785.	Original Article
386	Kyuragi Y, Nishie A, Takayama Y, et al.	放射線科	Mass-forming Retroperitoneal Endometriosis Including a Fat Component: A Diagnostic Dilemma.	Magn Reson Med Sci. 2017 Jul 10;16(3):181-182.	Case report
387	Tsurumaru D, Miyasaka M, Muraki T, et al.	放射線科	Histopathologic diversity of gastric cancers: Relationship between enhancement pattern on dynamic contrast-enhanced CT and histological type.	Eur J Radiol. 2017 Dec;97:90-95	Original Article
388	Shibayama Y, Arimura H, Hirose TA, et al.	放射線科	Investigation of interfractional shape variations based on statistical point distribution model for prostate cancer radiation therapy.	Med Phys. 2017 May;44(5):1837-1845.	Original Article
389	Tsutsui Y, Awamoto S, Himuro K, et al.	放射線科	Edge Artifacts in Point Spread Function-based PET Reconstruction in Relation to Object Size and Reconstruction Parameters.	Asia Ocean J Nucl Med Biol. 2017 Spring;5(2):134-143.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
390	Maruoka Y, Baba S, Isoda T, et al.	放射線科	Association between Volumetric Analysis of Lung Metastases on F-18-fluoro-2-deoxy-D-glucose Positron Emission Tomography/Computed Tomography and Short-term Progression after I-131 Therapy for Differentiated Thyroid Carcinoma.	Indian J Nucl Med. 2017 Jul-Sep;32(3):167-172.	Original Article
391	Isoda T, Baba S, Maruoka Y, et al.	放射線科	Influence of the Different Primary Cancers and Different Types of Bone Metastasis on the Lesion-based Artificial Neural Network Value Calculated by a Computer-aided Diagnostic System, BONENAVI, on Bone Scintigraphy Images.	Asia Ocean J Nucl Med Biol. 2017 Winter;5(1):49-55.	Original Article
392	Maruoka Y, Baba S, Isoda T, et al.	放射線科	A Functional Scoring System Based on Salivary Gland Scintigraphy for Evaluating Salivary Gland Dysfunction Secondary to 131I therapy in Patients with Differentiated Thyroid Carcinoma.	J Clin Diagn Res. 2017 Aug;11(8):TC23-TC28.	Original Article
393	Ogawa E, Furusyo N, Nomura H, et al.	総合診療科	NS5A resistance-associated variants undermine the effectiveness of ledipasvir and sofosbuvir for cirrhotic patients infected with HCV genotype 1b.	J Gastroenterol. 2017 Jul;52(7):845-854.	Original Article
394	Ogawa E, Furusyo N, Murata M, et al.	総合診療科	Potential risk of HBV reactivation in patients with resolved HBV infection undergoing direct-acting antiviral treatment for HCV.	Liver Int. 2018 Jan;38(1):76-83.	Original Article
395	Ogawa E, Furusyo N, Nomura H, et al.	総合診療科	Short-term risk of hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus eradication following direct-acting antiviral treatment.	Aliment Pharmacol Ther. 2018 Jan;47(1):104-113.	Original Article
396	Ogawa E, Furusyo N, Nguyen MH.	総合診療科	Tenofovir alafenamide in the treatment of chronic hepatitis B: design, development, and place in therapy.	Drug Des Devel Ther. 2017 Nov 6;11:3197-3204.	Review
397	Tanaka R, Furusyo N, Takeda R, et al.	総合診療科	A case of amebiasis with negative serologic markers that caused intra-abdominal abscess.	J Infect Chemother. 2017 Nov;23(11):778-781.	Case report
398	Ikezaki H, Furusyo N, Jacques PF, et al.	総合診療科	Higher dietary cholesterol and ω -3 fatty acid intakes are associated with a lower success rate of Helicobacter pylori eradication therapy in Japan.	Am J Clin Nutr. 2017 Aug;106(2):581-588.	Original Article
399	Ikezaki H, Ai M, Schaefer EJ, et al.	総合診療科	Cardiovascular disease prevalence and insulin resistance in the Kyushu-Okinawa Population Study and the Framingham Offspring Study.	J Clin Lipidol. 2017 Mar-Apr;11(2):348-356.	Original Article
400	Kato Y, Furusyo N, Tanaka Y, et al.	総合診療科	The Relation between Serum Endostatin Level and Carotid Atherosclerosis in Healthy Residents of Japan: Results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS).	J Atheroscler Thromb. 2017 Oct 1;24(10):1023-1030.	Original Article
401	Yoshiya K, Imamura Y, Nakaji Y, et al.	総合診療科	Successful surgical intervention for rectal perforation due to polyarteritis nodosa: report of a case.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):43.	Case report
402	Hijkata Y, Okazaki T, Tanaka Y, et al.	先端分子・細胞治療科	A phase I clinical trial of RNF43 peptide-related immune cell therapy combined with low-dose cyclophosphamide in patients with advanced solid tumors.	PLoS One. 2018 Jan;13(1):e0187878	Original Article
403	Ohtsuka T, Mori Y, Ishigami K, et al.	光学医療診療部	Clinical significance of circumportal pancreas, a rare congenital anomaly, in pancreatotomy.	Am J Surg. 2017 Aug;214(2):267-272.	Original Article
404	Ohtsuka T, Mori Y, Fujimoto T, et al.	光学医療診療部	Feasibility of Prophylactic Pancreatojejunostomy in Possible High-Risk Patients for Prevention of Pancreatic Fistula during Enucleation or Limited Pancreatic Resection.	Am Surg. 2018 Jan 1;84(1):149-153.	Original Article
405	Nakadate R, Omori S, Ikeda T, et al.	先端医工学診療部	Improving the strength of sutureless laser-assisted vessel repair using preloaded longitudinal compression on tissue edge.	Lasers Surg Med. 2017 Jul;49(5):533-538.	Original Article
406	Nagata T, Himeno S, Himeno A, et al.	先端医工学診療部	Successful Hospital Evacuation After the Kumamoto Earthquakes, Japan, 2016.	Disaster Med Public Health Prep. 2017 Oct;11(5):517-521.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
407	Korehisa S, Ikeda T, Okano S, et al.	先端医工学診療部	A novel histological examination with dynamic three-dimensional reconstruction from multiple immunohistochemically stained sections of a PD-L1-positive colon cancer.	Volume72, Issue4 March 2018 Pages 697-703	Original Article
408	Nakata R, Hyodo F, Murata M, et al.	先端医工学診療部	In vivo redox metabolic imaging of mitochondria assesses disease progression in non-alcoholic steatohepatitis.	Sci Rep. 2017 Dec 7;7(1):17170.	Original Article
409	Arata J, Fukami K, Oguri S, et al.	先端医工学診療部	Laparoscopic ultrasound manipulator with a spring-based elastic mechanism.	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2018 Feb 28.	Original Article
410	Kawano T, Murata M, Kang JH, et al.	先端医工学診療部	Ultrasensitive MRI detection of spontaneous pancreatic tumors with nanocage-based targeted contrast agent.	Biomaterials. 2018 Jan;152:37-46.	Original Article
411	Uemura M, Tomikawa M, Miao T, et al.	先端医工学診療部	Feasibility of an AI-Based Measure of the Hand Motions of Expert and Novice Surgeons.	Comput Math Methods Med. 2018 Mar 4;2018:9873273.	Original Article
412	Kojima T, Kawakubo M, Rahmawati M 他	睡眠時無呼吸センター	Assessment by airway ellipticity on cine-MRI to differentiate severe obstructive sleep apnea.	Clin Respir J. 2018 Mar;12(3):878-884.	Original Article
413	Tsuda H, Wada N, Ando S 他	睡眠時無呼吸センター	Practical considerations for effective oral appliance use in the treatment of obstructive sleep apnea: a clinical review	Sleep Science and Practice 2017 Jun 1:12	Original Article
414	Aman M, Ohishi Y, Imamura H, et al	病理診断科・病理部	Expression of protease-activated receptor-2 (PAR-2) is related to advanced clinical stage and adverse prognosis in ovarian clear cell carcinoma.	Hum Pathol. 2017 Jun;64:156-163.	Original Article
415	Bekki H, Kohashi K, Yamada Y, et al	病理診断科・病理部	Phosphorylation of STAT3 in Undifferentiated Pleomorphic Sarcoma Is Correlated with a Favorable Prognosis.	Pathobiology. 2017;84(3):161-169.	Original Article
416	Hiraki-Hotokebuchi Y, Yamada Y, Kohashi K, et al	病理診断科・病理部	Alteration of PDGFR β -Akt-mTOR pathway signaling in fibrosarcomatous transformation of dermatofibrosarcoma protuberans.	Hum Pathol. 2017 Sep;67:60-68.	Original Article
417	Ishii T, Kohashi K, Ootsuka H, et al	病理診断科・病理部	Comparison between retroperitoneal leiomyosarcoma and dedifferentiated liposarcoma.	Pathol Res Pract. 2017 Jun;213(6):634-638.	Original Article
418	Iura K, Kohashi K, Ishii T, et al	病理診断科・病理部	MAGEA4 expression in bone and soft tissue tumors: its utility as a target for immunotherapy and diagnostic marker combined with NY-ESO-1.	Virchows Arch. 2017 Sep;471(3):383-392.	Original Article
419	Kuma Y, Yamada Y, Yamamoto H, et al	病理診断科・病理部	A novel fusion gene CRTC3-MAML2 in hidradenoma: histopathological significance.	Hum Pathol. 2017 Dec;70:55-61.	Original Article
420	Miyazaki T, Ohishi Y, Miyasaka Y, et al	病理診断科・病理部	Molecular Characteristics of Pancreatic Ductal Adenocarcinomas with High-Grade Pancreatic Intraepithelial Neoplasia (PanIN) Are Different from Those without High-Grade PanIN.	Pathobiology. 2017;84(4):192-201.	Original Article
421	Oda Y, Aishima S, Shindo K, et al	病理診断科・病理部	SLC2A1/GLUT1 expression in mural nodules of intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	Hum Pathol. 2017 Jul;65:71-78.	Original Article
422	Ozono K, Ohishi Y, Onishi H, et al	病理診断科・病理部	Brain-derived neurotrophic factor/tropomyosin-related kinase B signaling pathway contributes to the aggressive behavior of lung squamous cell carcinoma.	Lab Invest. 2017 Nov;97(11):1332-1342.	Original Article
423	Wada T, Ohishi Y, Kaku T, et al	病理診断科・病理部	Endocervical Adenocarcinoma With Morphologic Features of Both Usual and Gastric Types: Clinicopathologic and Immunohistochemical Analyses and High-risk HPV Detection by In Situ Hybridization.	Am J Surg Pathol. 2017 May;41(5):696-705.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
424	Yamada Y, Kinoshita I, Kohashi K, et al	病理診断科・病理部	HIF-1 α , MDM2, CDK4, and p16 expression in ischemic fasciitis, focusing on its ischemic condition.	Virchows Arch. 2017 Jul;471(1):117-122.	Original Article
425	Matsuishi YI, Kato H, Masuda K, et al.	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Accelerated dentinogenesis by inhibiting the mitochondrial fission factor, dynamin related protein 1	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Jan 8;495(2):1655-1660	Original Article
426	Kato H, Han X, Yamaza H, et al.	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Direct effects of mitochondrial dysfunction on poor bone health in Leigh syndrome.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Nov 4;493(1):207-212.	Original Article
427	Kato H, Thi Mai Pham T, Yamaza H, et al.	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	Mitochondria Regulate the Differentiation of Stem Cells from Human Exfoliated Deciduous Teeth.	Cell Struct Funct. 2017 Aug 19;42(2):105-116.	Original Article
428	Yoshizaki K, Hu L, Nguyen T et al.	矯正歯科	Mediator 1 contributes to enamel mineralization as a coactivator for Notch1 signaling and stimulates transcription of the alkaline phosphatase gene.	J Biol Chem. 2017 Aug 18;292(33):13531-13540.	Original Article
429	Furukawa Y, Haruyama N, Nikaido M et al.	矯正歯科	Stim1 Regulates Enamel Mineralization and Ameloblast Modulation.	J Dent Res. 2017 Nov;96(12):1422-1429.	Original Article
430	Serita S, Tomokiyo A, Hasegawa D et al.	歯内治療科	Transforming growth factor- β -induced gene product-h3 inhibits odontoblastic differentiation of dental pulp cells.	Arch Oral Biol. 2017 Jun;78:135-143.	Original Article
431	Mizumachi H, Yoshida S, Tomokiyo A et al.	歯内治療科	Calcium-sensing receptor-ERK signaling promotes odontoblastic differentiation of human dental pulp cells.	Bone. 2017 Aug;101:191-201.	Original Article
432	Hasegawa D, Wada N, Yoshida S et al.	歯内治療科	Wnt5a suppresses osteoblastic differentiation of human periodontal ligament stem cell-like cells via Ror2/JNK signaling.	J Cell Physiol. 2018 Feb;233(2):1752-1762.	Original Article
433	Hamano S, Tomokiyo A, Hasegawa D et al.	歯内治療科	Extracellular Matrix from Periodontal Ligament Cells Could Induce the Differentiation of Induced Pluripotent Stem Cells to Periodontal Ligament Stem Cell-Like Cells.	Stem Cells Dev. 2018 Jan 15;27(2):100-111.	Original Article
434	Sugii H, Grimaldi A, Li J	歯内治療科	The Dlx5-FGF10 signaling cascade controls cranial neural crest and myoblast interaction during oropharyngeal patterning and development.	Development. 2017 Nov 1;144(21):4037-4045.	Original Article
435	Takano A, Fukuda T, Shinjo T, et al	歯周病科	Angiopoietin-like protein 2 is a positive regulator of osteoblast differentiation.	Metabolism. 2017 Apr;69:157-170.	Original Article
436	Nishimura F, Sano T, Sanui T, et al	歯周病科	The influence of periodontal burden on metabolic control of diabetes - Myth or reality? From a nutritional perspective -	Current Oral Health Reports 2017 Apr;4(2):59-63.	Review
437	Sanui T, Fukuda T, Yamamichi K, et al	歯周病科	Microarray analysis of the effects of amelogenin on U937 monocytic cells.	American Journal of Molecular Biology 2017 Apr;7(2):107-122.	Original Article
438	Sanui T, Takeshita M, Fukuda T, et al	歯周病科	Adhesion attenuates respiratory burst induced by different modes of triggering in resting or LPS-primed neutrophils.	Immunobiology. 2017 Aug;222(8-9):865-871.	Original Article
439	Sanui T, Takeshita M, Fukuda T, et al	歯周病科	Roles of serum in innate immune responses of human leukocytes to synthetic lipopeptide.	Int Immunopharmacol. 2017 Sep;50:61-68.	Original Article
440	Yamamichi K, Fukuda T, Sanui T	歯周病科	Amelogenin induces M2 macrophage polarisation via PGE2/cAMP signalling pathway.	Arch Oral Biol 2017 Nov;83:241-251.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
441	Sanui T, Fukuda T, Tanaka U, et al	歯周病科	Sprouty2 Inhibition Resolves Inflammation in Periodontal Disease and Creates a Suitable Environment for Periodontal Tissue Regeneration.	Journal of Cell Biology & Immunology 2017 Oct;1(1): 101.	Review
442	Tsuruta M, Iwashita M, Shinjo T, et al	歯周病科	Metabolic Endotoxemia-Activated Macrophages Promote Pancreatic β Cell Death via IFN β -Xaf1 Pathway.	Horm Metab Res. 2018 Feb;50(2):160-167.	Original Article
443	Matsunaga H, Iwashita M, Shinjo T, et al	歯周病科	Adipose tissue complement factor B promotes adipocyte maturation.	Biochem Biophys Res Commun. 2018 Jan 1;495(1):740-748.	Original Article
444	Soichiro Sonoda, Yu-feng Mei, Ikiru Atsuta, et al	歯周病科	Exogenous nitric oxide stimulates the odontogenic differentiation of rat dental pulp stem cells.	Sci Rep 2018 Feb;21;8(1):3419.	Original Article
445	Mieda M, Atsuta I, Matsushita Y et al.	義歯補綴科	The effective design of zirconia coping on titanium base in dental implant superstructure.	Dent Mater J. 2018 Mar 30;37(2):237-243.	Original Article
446	Kanazawa M. Atsuta I, Ayukawa Y. et al.	義歯補綴科	The influence of systemically or locally administered mesenchymal stem cells on tissue repair in a rat oral implantation model.	Int J Implant Dent. 2018 Jan 13;4(1):2.	Original Article
447	W.Koto, Y. Shinohara, K. Kitamura, et al	咬合補綴科	Porcine Dental Epithelial Cells Differentiated in a Cell Sheet Constructed by Magnetic Nanotechnology.	Nanomaterials (Basel). 2017 Oct 13;7(10). pii: E322	Original Article
448	Maehara T	顎口腔外科	IgG4-related disease -Mechanistic insights from both clinical and immunologic understanding of this condition.	Nihon Rinsho Meneki Gakkai Kaishi. 2017;40(3):206-212.	Original Article
449	Ogata K, Katagiri W, Hibi H.	顎口腔外科	Secretomes from mesenchymal stem cells participate in the regulation of osteoclastogenesis in vitro.	Clin Oral Investig. 2017 Jul;21(6):1979-1988.	Original Article
450	Ogata K, Matsumura M, Moriyama M	顎口腔外科	Cytokine mixtures mimicking secretomes from mesenchymal stem cells improve medication-related osteonecrosis of the jaw in a rat model.	JBMR Plus2017 Sep 6	Original Article
451	Furukawa S, Oobu K, Moriyama M	顎口腔外科	Oral Methotrexate-related Lymphoproliferative Disease Presenting with Severe Osteonecrosis of the Jaw: A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2018 Feb 15;57(4):575-581.	Case report
452	Mitate E, Hayashida J, Toyoshima T	顎口腔外科	Peripheral facial palsy after set-forward orthognathic surgery: A case report and review of literature.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Volume 30, Issue 2, March 2018, Pages 154-160	Case report
453	Kaneko N, Kawano S, Yasuda S	顎口腔外科	Differential roles of kallikrein-related peptidase 6 in malignant transformation and Δ Np63 β -mediated epithelial-mesenchymal transition of oral squamous cell carcinoma.	Oral Oncol. 2017 Dec;75:148-157.	Original Article
454	Nakashima A, Yamada T, Nakano H, et al.	顔面口腔外科	Jaw asymmetry may cause bad posture of the head and the spine -a preliminary study-.	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine and Pathology	Original Article
455	Kamata Y, Yamada T, Sumida T, et al.	顔面口腔外科	Pediatric treatment-resistant nonbacterial osteomyelitis of the mandible associated with SAPHO syndrome.	Journal of Dental and Oral Health July 17, 2017	Case report
456	ISHIBASHI, K., ISHII, K., SUGIYAMA, G., et al.	顔面口腔外科	Deregulation of Nicotinamide N-Methyltransferase and Gap Junction Protein Alpha-1 Causes Metastasis in Adenoid Cystic Carcinoma.	Anticancer Res. 2018 Jan;38(1):187-197.	Original Article
457	Esaki K, Tsukamoto M, Sakamoto E, et al.	歯科麻酔科	Effects of preoperative oral carbohydrate therapy on perioperative glucose metabolism during oral-maxillofacial surgery: randomised clinical trial.	Asia Pac J Clin Nutr. 2018;27(1):137-143.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
458	Tsukamoto M, Hirokawa J, Yokoyama T	歯科麻酔科	Intraoperative fluid management in pediatric patients using bioelectrical impedance analysis during oral surgery.	Pediatric Anesthesia and Critical Care Journal, 2017;5(2):81-85	Original Article
459	Tsukamoto M, Yokoyama T	歯科麻酔科	Effect of swallowing maneuver on fentanyl-induced coughing.	Journal of Anesthesia, 2017;31(6):922.	Letter
460	Tsukamoto M, Hirokawa J, Hitosugi T, et al	歯科麻酔科	Airway Management for a Pediatric Patient With a Tracheal Bronchus.	Anesth Prog. 2018 Spring;65(1):50-51.	Letter
461	Tsukamoto M, Hirokawa J, Yokoyama T	歯科麻酔科	Airway management with a rigid external distractor in placental	Indian J Anaesth. 2017 Aug;61(8):679-680.	Letter
462	Tsukamoto M, Hirokawa J, Yokoyama T	歯科麻酔科	Effect of swallowing maneuver on fentanyl-induced coughing.	J Anesth. 2017 Aug;31(4):639.	Letter
463	Kise Y, Chikui T, Yamashita Y, et al.	口腔画像診断科	Clinical usefulness of the mDIXON Quant the method for estimation of the salivary gland fat fraction: comparison with MR spectroscopy.	Br J Radiol. 2017 Aug;90(1077):20160704.	Original Article
464	Mitarai H, Wada N, Hasegawa D,	口腔総合診療科	Transgelin mediates transforming growth factor- β 1-induced proliferation of human periodontal ligament cells.	J Periodontal Res. 2017 Dec;52(6):984-993.	Original Article
465	Sakamoto Y, Yano T, et al	薬剤部	Vancomycin induces reactive oxygen species-dependent apoptosis via mitochondrial cardiolipin peroxidation in renal tubular epithelial cells.	Eur J Pharmacol. 2017 Apr 5;800:48-56.	Original Article
466	Yamada T, Kubota T, et al	薬剤部	Evaluation of Teicoplanin Trough Values After the Recommended Loading Dose in Children With Associated Safety Analysis.	Pediatr Infect Dis J. 2017 Apr;36(4):398-400.	Original Article
467	Yamamoto S, Ushio S, et al	薬剤部	Excessive spinal glutamate transmission is involved in oxaliplatin-induced mechanical allodynia: a possibility for riluzole as a prophylactic drug.	Sci Rep. 2017 Aug 29;7(1):9661.	Original Article
468	Ogawa E, Furusyo N, Murata M, et al	検査部	Comparison of the Abbott RealTime HCV and Roche COBAS Ampliprep/COBAS TaqMan HCV assays for the monitoring of sofosbuvir-based therapy.	Antivir Ther. 2017;22(1):61-70.	Original Article
469	Tajiri H, Uruno T, Shirai T, et al	検査部	Targeting Ras-Driven Cancer Cell Survival and Invasion through Selective Inhibition of DOCK1.	Cell Rep. 2017 May 2;19(5):969-980.	Original Article
470	Sasaki K, Gotoh K, Miake S, et al	検査部	p32 is Required for Appropriate Interleukin-6 Production Upon LPS Stimulation and Protects Mice from Endotoxin Shock.	EBioMedicine. 2017 Jun;20:161-172.	Original Article
471	Inoue H, Terachi SI, Uchiumi T, et al	検査部	The clinical presentation and genotype of protein C deficiency with double mutations of the protein C gene.	Pediatr Blood Cancer. 2017 Jul;64(7).	Original Article
472	Yokoyama J, Yamaguchi H, Shigeto H, et al	検査部	A case of rhabdomyolysis after status epilepticus without stroke-like episodes in mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes.	Rinsho Shinkeigaku. 2017 Jul 29;57(7):400-401.	Case report
473	Saito T, Uchiumi T, Yagi M, et al	検査部	Cardiomyocyte-specific loss of mitochondrial p32/C1qbp causes cardiomyopathy and activates stress responses.	Cardiovasc Res. 2017 Aug 1;113(10):1173-1185.	Original Article
474	Matsushima Y, Hirofuji Y, Aihara M, et al	検査部	Drosophila protease ClpXP specifically degrades DmLRPPRC1 controlling mitochondrial mRNA and translation.	Sci Rep. 2017 Aug 16;7(1):8315.	Original Article

小計17件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
475	Ishiyama A, Sakai C, Matsushima Y, et al	検査部	IBA57 mutations abrogate iron-sulfur cluster assembly leading to cavitating leukoencephalopathy.	Neurol Genet. 2017 Sep 8;3(5):e184.	Original Article
476	Murao K, Morioka T, Shimogawa T, et al	検査部	Various pathophysiological states of acute symptomatic seizures immediately after ischemic stroke, namely "onset seizures," shown by complementary use of peri-ictal magnetic resonance imaging and electroencephalography.	Neurol Clin Neurosci 2017(5)169-177.	Original Article
477	Yagi M, Uchiumi T, Sagata N, et al	検査部	Neural-specific deletion of mitochondrial p32/C1qbp leads to leukoencephalopathy due to undifferentiated oligodendrocyte and axon degeneration.	Sci Rep. 2017 Nov 9;7(1):15131.	Original Article
478	Mezuki S, Fukuda K, Matsushita T, et al	検査部	Isolated and repeated stroke-like episodes in a middle-aged man with a mitochondrial ND3 T10158C mutation: a case report.	BMC Neurol. 2017 Dec 13;17(1):217.	Case report

小計4件

合計 478 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	友清淳、濱野さゆり、長谷川大学 他	歯内治療科	歯内治療ならびに修復処置関連溶液によって生じるWhite Mineral Trioxide Aggregateの色調変化に関する比較分析.	日 歯 保 存 誌 2017 60(4): 200-210.	Original Article
2	田口智章	小児外科	パーソナルヘルスコード(PHR)とマイナンバーへの期待	日本医事新報. 2017年 1 月;No.4837:76-77	Original Article
3	宮田潤子、伊崎智子、田口智章	小児外科	肛門模様狭窄:生後3ヶ月ですが、排便時にとていもいきみが強いです	小児外科. 2017年 1 月;49(1) 46-47	Original Article
4	宮田潤子、貝沼茂三郎、岩中 剛、他	小児外科	肛門周囲膿瘍:漢方	小児外科. 2017年 2 月;49(2) 193-196	Original Article
5	伊崎智子、宗崎良太、田口智章	小児外科	【こんなときどうする? 腹部編】肝内巨大血管腫	小児外科. 2017年 3 月;49(3) 283-286	Original Article
6	伊崎智子、松浦俊治、田口智章	小児外科	【消化管吻合アラカルト—あなたの選択は?】小腸吻合 手縫い	臨床外科. 2017年 4 月;72(4) 446-451	Original Article
7	田口智章	小児外科	傷の目立たないQOLを考慮した手術	Fetal&Neonatal Medicine. 2017年 4月;9(1):18-21	Original Article
8	田口智章、山座孝義、松浦俊治、他	小児外科	近未来の再生医療と外科—肝再生医療の展望と乳歯歯髄幹細胞	外科 外科の近未来—1,000号記念. 2017年 11 月;79(11):1023-1030	Original Article
9	松浦俊治、高橋良彰、吉丸耕一朗、他	小児外科	新生児肝移植の現状	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2017年 12 月;31(増刊号):65	Original Article
10	吉丸耕一朗、山座孝義、梶岡俊一、他	小児外科	乳歯歯髄幹細胞を用いた腸管神経再生による先天性腸管蠕動不全に対する新規治療法の開発	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2017年 12 月;31(増刊号):84	Original Article
11	T.Turu, D.Esaki, T.Mathuzaki et al	咬合補綴科	下顎インプラント・オーバーデンチャーのアタッチメントの違いが粘膜部応力に与える力学的影響	日本口腔インプラント学会誌 30(4) 12 2017	Original Article
12	加来啓三、野口浩司、岡部安博 他	第一外科	マージナルドナーからの脳死臓器移植の成績	移植	Original Article
13	Suetsugu K, Yamamoto N, Tsuchiya Y, et al	薬剤部	電気化学免疫測定法(ECLIA法)を用いた everolimus血中濃度測定に関する臨床的評価	移植: 2017Aug, 52(4-5 号): 382-389.	Original Article
14	関 正佳, 高木健一, 吉川洋 他	眼科	発症から短期間で死亡に至った眼窩先端部症候群の1例	眼科臨床紀要 10(12):1004-6, 2017/12/01	Case report
15	筒井紗季, 仙石昭仁, 宮崎勝徳 他	眼科	視神経症を疑い、入院精査できた61症例	臨床眼科 71:1071-1075, 2017/07/01	Original Article

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
16	安田美穂	眼科	近視の疫学 一久山町研究一	日本の眼科 88:1467-1470, 2017/11/01	Review
17	福本嘉一, 仙石昭仁, 宮崎勝徳 他	眼科	漿液性網膜剥離を呈した肥厚性硬膜炎の1例	臨床眼科 71:1057-1062, 2017/07/01	Case report
18	熊野誠也, 武田篤信, 仙石昭仁 他	眼科	Acute syphilitic posterior placoid chorioretinitis の1例	あたらしい眼科 34:857-861, 2017/06/28	Case report
19	吉田茂生, 山名智志, 秋山瑠美 他	眼科	糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF頻回治療により糖尿病網膜症が改善した1例	日本眼科学会雑誌 121:425-430, 2017/05/01	Case report
20	松田健作, 帯刀英樹, 長友雄作, 他	心臓血管外科	二期的に根治した右肺動脈上行大動脈起始症の二例	日小循誌 2018年1月 34(1):46-51	Case report
21	園田拓道, 牛島智基, 大石恭久, 他	心臓血管外科	ハイドロフィット使用後の遠隔期摘出例	日心外会誌 2018年3月 47(2):62-65	Case report
22	増田啓次, 山座治義, 松石裕美子, 他	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	急性骨髄性白血病に対する初回寛解導入療法が開始された小児に重度の乳歯う蝕を認めた1例	日本障害者歯科学会雑誌 38(2), 179-185, 2017	Case report
23	木舩敏郎, 増田啓次, 山座治義, 他	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	トモシンセシスを使った上顎の即時混合歯列分析	小児歯科学雑誌 55(2):260-260, 2017	Original Article
24	市山正子, 井上普介, 井上裕文, 他	小児科	新生児のプロテインC活性基準値と遺伝性プロテインC欠乏症の診断	日本産婦人科新生児血液学会雑誌:2017;26:17-22	Original Article
25	江頭智子, 七條了直, 江頭政和, 他	小児科	当院における極低出生体重児における身体発育の検討〜第二報: zスコアを用いた子宮外発育の評価と周産期因子の及ぼす影響について〜	日本新生児成育医学会雑誌:2017;29(2):87-93	Original Article
26	倉田浩昭, 神野俊介, 日高智子, 他	小児科	小児におけるインフルエンザ抗原迅速診断検査の陽性率に影響する因子の検討	日本小児感染症学会雑誌:2017	Original Article
27	多久佳祐, 波呂 薫, 保科隆之, 他	小児科	発熱を主訴に救急外来を受診した生後6か月未満の乳児への対応に関する後方視的検討	日本小児科学会雑誌: 2017; 121:1338-43	Original Article
28	野口磨衣子, 稲垣二郎, 岡本康裕, 他	小児科	小児急性リンパ性白血病very late relapse例の予後-九州・山口小児がん研究グループ (KYCCSG) ALL96/02研究	日本小児血液がん学会雑誌:2017;54(5)	Original Article
29	平原恵子, 須山ゆかり, 陣内久美子, 他	小児科	出生体重1500g以上2000g未満児の1歳時における発達の検討	日本小児科学会雑誌: 2017;121(5):863-868	Original Article
30	寺西 英人, 石村 匡崇, 古賀友紀, 他	小児科	腸管T細胞性リンパ増殖症として発症した活性化PI3K δ 症候群	臨床血液:2017;58(1):20-25	Case report

小計15件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
31	伴 英樹、永田裕子、古瀬 昭夫、他	小児科	先行的献腎移植に至った5歳男児の1例	日本臨床腎移植学会雑誌:2017;5(1):51-53	Case report
32	村田憲治、實藤雅文、保科隆之、他	小児科	カフアシストを用い人工呼吸器管理を回避できた非古典的乳児型Pompe病の一例	日本ポンペ病研究会記録集2008-2015. p34-35 日本ポンペ病研究会 編, 診断と治療社, 2016	Case report
33	落合正行	小児科	新生児血栓症 エキスパートのための産婦人科・新生児領域の血液疾患診療の手引き	日本産婦人科新生児血液学会編, 2017	other
34	井上普介、永田 弾、内田正志、他	小児科	【日常診療に役立つ超音波検査】小児科における超音波検査	臨床と研究 94(8):988-995, 2017	other
35	本村悟朗、池村聡、中島康晴、他	整形外科	三剤併用による骨壊死予防の試み	整形・災害外科 2017. 10. 60巻11号 Page1369-1372.	Original Article
36	久保祐介、本村悟朗、池村聡 他	整形外科	大腿骨頭回転骨切り術後の関節症性変化の進行防止に向けた試み	整形・災害外科 2017. 10. 60巻11号 Page1401-1406.	Original Article
37	本村悟朗、中島康晴、山本卓明	整形外科	ステロイド関連大腿骨頭壊死症の発生予防は可能か	臨床整形外科 2018. 03. 53巻3号 Page246-248.	Original Article

小計7件

合計 37 件

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の適正な遂行、ガイダンス「ARO次世代医療センターの活用法」、認定試験 臨床研究とP I の責務、研究倫理（臨床研究法/倫理指針/プレ審査/IRB）、医師主導治験、プロジェクト管理、試験デザイン、データ管理/モニタリング・監査/安全性管理、P I 認定試験（I・II）	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	1,289人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮本 敏弘	血液・腫瘍・心血管内科	副診療科長	28年	
赤司 浩一	免疫・膠原病・感染症内科	副診療科長	24年	
北園 孝成	消化管内科	診療科長	34年	
北園 孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	34年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科	診療科長	30年	
小川 佳宏	肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	30年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	30年	
吉良 潤一	神経内科	診療科長	39年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	35年	
中西 洋一	呼吸器科	診療科長	40年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	32年	
大賀 正一	小児科	診療科長	33年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	31年	
森 正樹	第二外科	診療科長	39年	
中島 康晴	整形外科	診療科長	28年	
飯原 弘二	脳神経外科	診療科長	32年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	22年	
田口 智章	小児外科	診療科長	40年	
古江 増隆	皮膚科	診療科長	39年	
江藤 正俊	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	32年	
神庭 重信	精神科神経科	診療科長	38年	
園田 康平	眼科	診療科長	27年	
中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	31年	
本田 浩	放射線科	診療科長	40年	
辛島 裕士	麻酔科蘇生科	副診療科長	29年	
北園 孝成	総合診療科	診療科長	34年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	20年	
村橋 睦了	先端分子・細胞治療科	副診療科長	17年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	32年	
野中 和明	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	40年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	31年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	28年	
西村 英紀	歯周病科	診療科長	34年	
古谷野 潔	義歯補綴科	診療科長	37年	

古谷野 潔	咬合補綴科	診療科長	37年	
中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	37年	
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	37年	
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	29年	
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	36年	
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	21年	
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	17年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
1	第一内科(血液・腫瘍内科)	血液専門医コース	28	2
2		腫瘍専門医コース	25	2
3		循環器専門医コース	21	1
4	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	感染症専門医コース	16	2
5		リウマチ専門医コース	30	1
6		総合診療プログラム	3	1
7	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	33	7
8		消化管治療習熟コース	7	3
9	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	11	3
10		腎臓内科・医学博士取得コース	15	3
11		脳卒中専門医コース1	8	3
12		脳卒中専門医コース2	8	3
13		糖尿病専門医コース	19	2
14		高血圧専門医・臨床コース	8	2
15		高血圧専門医・大学院コース	2	1
16	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	50	4
17	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	49	5
18		血液・腫瘍総合コース	9	1
19	心療内科	心療内科臨床研修コース	12	6
20	神経内科	神経内科専門医コース	16	3
21		神経内科専門医大学院コース	4	3
22		てんかん専門神経内科コース	5	2
23		認知症専門神経内科コース	2	2
24		脳卒中専門神経内科コース	4	4
25	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース	7	5
26		循環器内科専門医・大学院進学コース	30	5
27		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	36	6
28		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	19	5
29	呼吸器科	クリティカルケアコース	30	2
30	産科婦人科	産婦人科専門医コース	36	6
31		周産期研究者コース	1	1
32	小児科	小児科専門医コース1(大学重点)	8	1
33		小児科専門医コース2(大学重点)	1	1
34		小児科専門医コース2(地域重点)	56	1
35		小児科専門医コース3(地域重点)	2	1
36		小児科専門医・大学院進学コース	22	1
37	第一外科	外科専門医コース	31	1
38		消化器外科専門医取得コース	11	1
39		肝胆膵外科専門医コース	2	2
40		内視鏡外科専門医コース	1	1

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
41	第二外科	外科専門医コース	6	1
42		消化器外科専門医コース	26	2
43		呼吸器外科専門医コース	8	1
44		心臓血管外科専門医コース	9	1
45		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース	12	1
46		がん専門医養成コース	1	1
47	整形外科	整形外科専門医コースA	55	6
48		整形外科専門医コースB	94	8
49	脳神経外科	臨床コース	17	3
50	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	21	5
51	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	19	3
52		小児腫瘍外科重点コース	7	3
53		新生児外科重点コース(1)	9	1
54	皮膚科	皮膚科専門医養成+美容皮膚科実践コース	6	4
55		皮膚科専門医養成+熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	14	6
56		皮膚科専門医養成+小児皮膚科コース	2	2
57		皮膚科専門医養成+皮膚科レーザー治療実践コース	3	3
58		皮膚科専門医養成+皮膚病理強化学習コース	6	4
59		皮膚科専門医養成+形成外科強化学習コース	5	4
60		皮膚科専門医養成+褥瘡・プライマリケアコース	11	5
61	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース	4	4
62		泌尿器科臨床研究医師育成コース	5	5
63		臨床指導医育成コース	6	5
64	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース	67	11
65	眼科	眼科総合習得コース	8	1
66		角膜専門医養成コース	6	1
67		網膜専門医育成コース	10	1
68		黄斑疾患専門医育成コース	8	1
69	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	32	8
70		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	7	4
71	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	34	16
72		放射線治療専門医養成コース	5	5
73		放射線治療専門医養成コース	4	4
74		放射線治療専門医ならびに学位取得コース	4	2
75	総合診療科	病院総合診療医重点コース	3	2
76		病院総合診療医・臨床研究コース	2	1
77		病院総合診療医・大学院進学コース	6	2
78	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	58	13
79	病理診断科・病理部	臨床コース	6	4
83		大学院コース	1	1
84	形成外科	形成外科コース	4	1

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・ 別紙「平成29年度看護職員教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・ 研修の主な内容：看護管理者研修Ⅰ（副看護師長）、看護管理者研修Ⅱ（看護師長） 中間管理者育成研修（リーダークラスの看護師） 入職時研修（新人看護師） ・ 研修の期間・実施回数：期間は平成29年度、実施回数は、21回 ・ 研修の参加人数：看護師長41名、副看護師長95名、看護師171名（合計 307名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
対象外

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

<新人看護職員研修>

研修名・テーマ		研修のねらい(目的)	担当・講師など	時間	日程	会場
1	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	4/3	百年講堂大ホール
2	看護部新採用者入職時研修	九州大学病院・看護部の役割を学び、組織の一員であることを理解する 社会人としての基礎的知識・態度を身につける	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・各WG	3日	4/4～ 4/6	臨床大講堂
3	接遇研修	接遇の基本を学び、九州大学病院の職員としての自覚を持つ	患者サービス委員会			
4	看護実践研修1	基本的看護技術を身につけ、看護ケアを安全・正確に実施できる能力を養う	看護師長・副看護師長 認定看護師 院内認定看護師 看護部各委員会・各WG	2日	4/7 4/10	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター
5	看護実践研修2	基本的看護技術を身につけ、看護ケアを安全・正確に実施できる能力を養う	看護師長・副看護師長 認定看護師 院内認定看護師 看護部各委員会・各WG	1.5日	5/11 5/12	臨床小講堂1 スキルトレーニングセンター 百年講堂
6	1ヵ月フォローアップ研修	働き始めて感じていることを話し合い、情報共有することで、ストレス対処法を考える	教育担当	90分		
7	看護部新採用者入職時研修(クレーム対応)	九州大学病院の職員として必要な、クレーム対応の基本を学ぶ	患者サービス課 特別相談役	20分		
8	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基本的知識や方法を身につける	業務委員会 業務WG	90分	6/28	臨床小講堂1
9	看護実践研修3(口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	集中ケア認定看護師 鳥羽 好和 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)	0.5日	6/28～ 6/30	スキルトレーニングセンター
10	看護実践研修4(血糖測定とインスリン療法)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	糖尿病看護認定看護師 梶野 美保	60分		
11	3ヵ月フォローアップ研修	入職後3ヵ月を振り返り、悩みや不安を話し合い情報共有し、ストレスに対応できる能力を養い、職場における対人関係作りや対処法の糸口をつかむ	教育担当	0.5日	7/5	百年講堂
12	看護実践研修5(経管栄養法、膀胱留置カテーテル挿入)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	摂食嚥下障害看護認定看護師 吉村久美子 NST専門療法士 教育WG 感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美 院内認定看護師 (感染管理領域)	120分 +0.5日	7/25～ 7/27	臨床小講堂2 スキルトレーニングセンター
13	感染管理3	標準予防策と経路別予防策の基本	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美	0.5日	8/9 8/10	外来棟5階 会議室2
14	医療安全1	医療安全に関する基本を学び、看護実践に適用する	医療安全担当 池田 由美/泉 涼子			
15	フィジカルアセスメント3(循環管理:基礎編)	循環管理の基本的知識を学び、看護実践に活かす	慢性心不全看護認定看護師 豊沢 真代	60分	8/29	臨床小講堂2 スキルトレーニングセンター
16	看護実践研修6(静脈血採血)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	0.5日	8/29～ 8/31	
17	シミュレーション研修(状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	150分	9/26～ 9/28	スキルトレーニングセンター
18	6ヵ月フォローアップ研修	入職後6ヵ月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える。 ストレスマネジメントの方法を学び、活用する	九州大学基幹教育院 准教授 松下智子 講師 高柳茂美 副看護部長 教育担当	1日	10/12	百年講堂 体育館

19	看護実践研修7 (CVC挿入介助、ドレッシング交換等)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美 院内認定看護師 (感染管理領域)	0.5日	11/8～ 11/10	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター
20	フィジカルアセスメント4(重症不整脈)	重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師 石村 徳彦	60分		
21	心肺脳蘇生法	一時救命処置(BLS)の知識・技術を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域・ 小児救急看護領域)	120分	12/5 12/6	臨床大講堂 スキルトレーニングセンター
22	静脈注射認定看護師育成研修(講義・演習)	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師・薬剤師 医療安全担当	1日 (講義)	2/26	臨床大講堂
			感染管理担当 教育委員会 教育WG	0.5日 (演習)	2/27～ 3/1	スキルトレーニングセンター
			静脈注射認定看護師 育成WG	60分 (試験)	3/14	臨床大講堂 臨床小講堂1
23	12カ月フォローアップ研修	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して、自己の課題を明確にし、次年度の目標を考える。また、後輩を受け入れる心構えを持つ	教育担当	0.5日	3/16	百年講堂 中ホール1・2

＜新卒2・3年目看護職員研修＞

	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など		時間	日程	会場
24	医療安全2	日常業務で安全対策が適正に実施できているかを振り返り、安全対策における役割を再認識する	医療安全担当 池田 由美 泉 涼子	3.5	6/1	外来棟5階 会議室2
25	感染管理4	標準予防策と経路別予防策の実際(事例検討)	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美		6/2	
26	がん看護(基礎編)	・国のがん対策について理解する ・がん患者とその家族の特徴を踏まえた看護師の役割を認識する	がん看護専門看護師 認定看護師 (がん領域) 院内認定看護師	0.5日	6/8	百年講堂
27	フィジカルアセスメント5(呼吸管理)	呼吸器系フィジカルアセスメントに必要な基本的知識と技術を習得する	集中ケア認定看護師 鳥羽 好和 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)	0.5日	9/13・ 14	スキルトレーニングセンター
28	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	教育担当	0.5日	1/31	百年講堂
29	24カ月フォローアップ研修	コミュニケーション能力を高め、看護実践や後輩指導に役立てる	Office Human Bridge 代表 井手 芳美	0.5日	12/15	百年講堂
30	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1.5～ 2日	10月～ 予定	各研修部署
31	人工呼吸管理の実際 (アラーム対応)	・人工呼吸管理の基礎知識を学ぶ ・人工呼吸器の点検とアラーム対応を学び、臨床現場で実践する	集中ケア認定看護師 井上 展幸	120分	9/8	臨床大講堂
32	36カ月フォローアップ研修	キャリアマネジメントについて学び、生き生き働く方法を考える	Office Human Bridge 代表 井手 芳美	0.5日	12/1	百年講堂

平成29年度 看護部教育プログラム (テーマ・分野別/新人・2、3年目研修以外)

平成29年4月1日

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
1	看護部長講演 (同じ内容で計3回開催)	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	濱田看護部長	60分	4/25 4/27 5/2	臨床大講堂 臨床小講堂1 臨床小講堂1	全職員対象 申し込み不要	
2	看護研究発表会	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育WG	0.5日	11/11	臨床大講堂		
3	業務改善報告会	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	0.5日	2/3	臨床大講堂		

<管理者研修>

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
4	新任副看護部長研修	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看護部長として必要な知識を修得し、自身が果たすべき役割を考える	看護部長 副看護部長	計560分	4/17 4/18	打ち合わせ室1	新任副看護部長6名	
5	新任看護部長研修	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	計490分	3/13 3/14	打ち合わせ室1	新任看護部長3名	
6	管理者研修1(全4回) (目的)看護管理者に求められる責務を理解し、部署目標の達成を目指して看護管理過程が達成できる能力を養う	<第1回>看護補助者の活用促進について <第2回>認知症患者の理解と看護 <第3回>PNSマインドの醸成 <第2回>医療経営・管理	救命ICU/ハイケア看護部長 堀 智恵 調整中 総務委員会 東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 尾形 裕也	60分 90分 0.5日 90分	6/14 9/1 10/14 1/24	臨床大講堂 臨床大講堂 百年講堂中ホール1・2 臨床大講堂	副看護部長95名	
7	管理者研修2(全6回) (目的)現在の医療現場を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題点を分析し、解決策の方向性を形成する	<第1回>ストレスマネジメント <第2回>労務管理 <第3回>管理事例検討 <第4回>キャリア開発支援 <第5回>管理事例検討 <第6回>医療経営・管理	九州大学大学院医学研究科保健学部門 講師 青本 さとみ 調整中 看護部 三重大学 宮田 千春 看護部 東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 尾形 裕也	90~120分	5/24 6/28 7/26 9/27 11/22 1/24	外来棟5階会議室2 外来棟5階会議室2 外来棟5階会議室2 外来棟5階会議室2 外来棟5階会議室2 臨床大講堂	看護部長40名	
8	中間管理者育成研修(全10回) (目的)看護管理の基礎を理解し、看護実践に活かす	<第1回>九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは <第2回>看護職員の能力開発・人材育成、看護管理の実践(1) <第3回>重症度、医療・看護必要度 看護管理の実践(2) <第4回>医療保険と介護保険、医療連携 <第5回>医療安全と医療事故時の対策 <第6回>感染管理と病棟管理 <第7回>人事・労務管理 <第8回>診療報酬と看護 <第9回>医療及び看護の質、経営管理と看護 <第10回>災害への対応、研修まとめ	教育委員会	90分	6/7 7/5 8/2 9/6 10/4 11/1 11/22 12/6 1/10 2/7	南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム 臨床大講堂 南棟5階カンファレンスルーム 南棟5階カンファレンスルーム	条件を満たす希望者別途募集	

＜リーダー・指導者育成＞

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
9	プリセプターシップ(平成29年度) *プリセプターシップの役割と機能を 学び、プリセプターとしての能力を高め る	＜第1回＞準備研修	教育担当副看護部 長教育担当	1日	3/14	百年講堂 中ホール3	条件を満たし 推薦されたもの *別途募集	
		＜第2回＞支援研修		1日	6/21			
		＜第3回＞支援研修		1日	10/23			
		＜第4回＞まとめ		0.5日	2/20			
10	プリセプターシップ(平成30年度)	＜第1回＞準備研修	教育担当副看護部 長教育担当	1日	H30年 3/14	百年講堂 中ホール3	H30年3月募集	
11	臨地実習指導者研修 (研修の目的) *看護教育における実習の意義及び実 習指導者としての役割を理解し、効果 的な実習指導ができるよう必要な知識 を習得する *自己の看護観の再構築と実習指導 者像の形成を目指す	＜第1回＞ガイダンス、実習指導者経験談 看護教育課程、実習指導の原理	別紙参照	0.5日 PM	5/30	百年講堂 中ホール3	条件を満たし 推薦されたもの *別途募集	
		＜第2回＞教育原理、教育方法			6/22	百年講堂 中ホール3		
		＜第3回＞看護過程			7/26	総合研究棟1階105 セミナー室		
		＜第4回＞実習指導計画、実習指導の評価			8/23	総合研究棟1階105 セミナー室		
		＜第5回＞カンファレンスの指導方法、青年期の心理			9/8	外来棟5階会議室2		
		＜第6回＞実習指導上の課題			12/11	外来棟5階会議室2		
		＜第7回＞まとめ			1/16	外来棟5階会議室2		
12	臨地実習指導者研修 (アドバンスコース) (研修の目的) *看護教育における実習の意義及び 実習指導者としての役割を再確認し、 実習指導に活かす	＜第1回＞実習指導者の役割 看護教育課程、実習指導の原理	濱田 正典看護部長 九州大学大学院医学研 究院保健学部門 教授 中尾 久子	120分	6/7	百年講堂 中ホール3	条件を満たし 推薦されたもの *別途募集	
		＜第2回＞調整中	福岡看護大学 学長 塚田恵子	120分	9/20	臨床小講堂1		
		＜第3回＞まとめ	看護部 実習指導者育成WG	60分	3/7	基礎会議棟B・C		
13	教育担当者研修	＜第1回＞組織の理念と人材育成の考え方 他	看護部	60分 (第3 回は 0.5日)	5/9	打ち合わせ室1	教育担当副 看護部長45 名	
		＜第2回＞GW(部署の教育状況と評価)	教育委員会		6/13	外来棟5階会議室2		
		＜第3回＞PNSマインドの醸成	総務委員会		10/14	百年講堂中ホール1・2		
		＜第4回＞調整中			12/12	外来棟5階会議室2		
		＜第5回＞目標達成の評価、まとめ	教育委員会		2/13	外来棟5階会議室2		
14	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者(第2期) 更新研修	各部署における指導者としての活動状況を振り返り、今後の活動が円滑に行えるための方法を再確認する	医療機器操作強化WG	0.5日	6/23	スキルトレーニングセンター	該当者	● 40
15	輸液・シリンジポンプ指導者(第6期)育成 研修	・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する 知識や技術を再確認し、指導者として必要な知識・ 技術・態度を修得する ・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用法を指 導する能力を養う	医療機器操作強化WG	1日	2/9			
16	リーダーシップⅠ (同じ内容で2回実施)	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能力を高める	教育委員会	0.5日	6/6	外来棟5階会議室2	Ⅲ	40
					7/13	外来棟5階会議室2		40
17	リーダーシップⅡ	職場の目的達成に向けて、中堅看護師としての問題解決能力を身につけ自己の役割を遂行する	教育委員会	1日	8/25	外来棟5階会議室2	Ⅳ	40
18	問題解決技法	自部署の状況把握、解決法の検討・分析などを通して、看護管理能力を養う	教育委員会	1日	9/16	外来棟5階会議室2	Ⅳ	40
19	コーチング	コーチングの基本的スキルを習得し、看護実践や後輩の指導に適用する	京都大学大学院 教授 任 和子 京都大学病院 内藤知佐子 大阪大学 准教授 内海桃絵 九州大学大学院医学研 究院 保健学部門 教授 谷口初美	1日	11/28	百年講堂 中ホール1・2	Ⅲ	80

<看護倫理>

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
20	看護倫理	看護倫理についての理解を深め、倫理的視点を持つ	看護部倫理委員会	90分	6/9	臨床大講堂	全	150
21	看護倫理1	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理への理解を深める	看護部倫理委員会	0.5日	10/3	外来棟5階会議室2	Ⅱ	60
22	看護倫理2	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探り、看護倫理の理解を深める	看護部倫理委員会	0.5日	11/2	外来棟5階会議室2	Ⅲ	60

<静脈注射認定看護師育成>

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
23	静脈注射認定看護師育成研修	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	IVナース育成WG 教育WG	講義 1日 演習 0.5日 筆記 試験 (60分)	7/1 7/6 7/14	臨床小講堂2 スキルトレーニングセンター 臨床小講堂1	2年目以上の該当者	

<専門領域>

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
24	循環管理(実践編)	循環管理に必要な知識を理解し、看護実践に活用する	慢性心不全認定看護師 豊沢 真代	0.5日	9/1	臨床大講堂	Ⅱ	60
25	専門看護研修 救急看護領域(全3回)	〈第1回〉RRSについて 〈第2回〉BLSについて 〈第3回〉急変対応について	救急看護認定看護師 桑田 睦子 石村 健彦	60分 90分 90分	5/22 6/26 7/18	スキルトレーニングセンター	全	20
26	スキンケア(実践編1)	・褥瘡のリスクアセスメントを理解し、予防ケアに活用する ・褥瘡の病態評価や治療のメカニズム、褥瘡の局所治療について理解する	皮膚排泄ケア認定看護師 立花由紀子	0.5日	5/19	スキルトレーニングセンター	Ⅱ	40
	スキンケア(実践編2)	* H29年度開催無し		0.5日				
27	専門看護研修 皮膚排泄ケア領域	創傷管理の基礎知識	皮膚排泄ケア認定看護師 和田 美香	90分	1/17	臨床大講堂	全	60
	ストーマケアの実際	* H29年度開催無し		1日				
28	糖尿病患者の理解とケア(全4回)	〈第1回〉薬剤師講義 〈第2回〉安全な薬物療法支援(インスリン療法を中心に) 〈第3回〉糖尿病患者の生活調整支援 〈第4回〉病みの軌跡理論を活用した患者支援	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師 橋本真由美 堀野 美保	60分 60分 60分 60分	7/24 8/28 9/25 10/20	臨床小講堂2 北棟2階共用会議室1(旧検査部会議室) 外来棟5階会議室2	Ⅱ	40
29	がん看護(実践編1)	がん患者の症状マネジメントに関する知識を習得する	がん看護関連 専門看護師 認定看護師	1日 0.5日	7/14 9/4 PM	外来棟5階会議室2 外来棟5階会議室2	Ⅱ Ⅱ	40 40
30	がん看護(実践編2)	終末期における患者・家族にケアを提供するために、役割と基本的態度について理解する						
31	専門看護研修:緩和ケア		緩和ケア認定看護師 廣瀬亜由美 熊谷 知子	90分	7/5	北棟2階共用会議室1(旧検査部会議室)	Ⅲ	40
32	専門看護研修:がん放射線療法		がん放射線療法認定看護師 青瀬 穂子	90分	10/4	北棟2階共用会議室1(旧検査部会議室)	Ⅲ	40
33	専門看護研修:感染管理領域	感染管理の基本を再確認し、リーダーシップを発揮して自部署での感染管理に取り組む	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美	90分	6/7	臨床小講堂1	Ⅲ	40
34	専門看護研修:手術看護領域		手術看護認定看護師 松岡 美恵 河野 易子	90分	7/10	手術部	Ⅲ	10
35	専門看護研修:新生児集中ケア		新生児集中ケア認定看護師 印具 亜純	90分	7/12	北棟2階多目的室	Ⅲ	20
	呼吸管理(実践編1)	* H29年度開催無し		0.5日			Ⅱ	
	呼吸管理(実践編2)			0.5日			Ⅲ	

<院内認定看護師育成>

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など		時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
36	院内認定看護師育成研修 (全11回:認定試験含む) (研修目的) 専門分野において高い知識・技術を修得し看護実践や教育・指導に活かす	救急看護	救急看護認定看護師 桑田 睦子 石村 徳彦	90分	会場:スキルトレーニングセンター ①5/22 ②6/26 ③7/24 ④8/28 ⑤9/25 ⑥10/20 ⑦11/15 ⑧12/25 ⑨1/26 ⑩2/19 ⑪3/2	別途募集あり		
37		糖尿病看護	慢性疾患看護 専門看護師 桃坂 真由美 糖尿病看護認定看護師 梶野 美保					
38		感染管理	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美					
39		呼吸管理(ICU実習あり)	集中ケア認定看護師 鳥羽 好和					
40		周術期看護	手術看護認定看護師 河野 易子 松岡 美恵					
41		がん看護(2年間コース2年目)						

<看護助手研修>

No	研修名	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など		時間	日程	会場	学習 段階	募集 人数
42	看護助手研修	<第1回> <第2回> <第3回> <第4回> 調整中	業務委員会 業務WG	0.5日	5/25 7/20~ 21 12/11 ~12 2/15~ 16	スキルトレーニングセンター その他	看護助手	

様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 赤司浩一
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 増田智先 総務課長江藤直行 医療連携センター長 水元一博 医療管理課長 大賀美喜 患者サービス課長 江上正次

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
		・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。 ・本学で定められた保存期間（10年）内の紙カルテは診療録管理室にて一括中央管理で保管しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。 ・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		監査委員会の設置状況	医療管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長	
閲覧担当者氏名	総務課長	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	

閲覧の手続の概要

九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】

九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。

ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】

開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】

法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】

○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円

○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】

法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①・無
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無（ ①・無 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 (7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。 (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (9) 医療安全管理部の業務に関すること。 (10) 医療事故調査に関すること。 (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年47回
・ 研修の内容（すべて）： テーマ ・ 当院の医療安全管理対策について ・ 医薬品の安全使用について ・ 抗菌薬の適正使用 ・ 重症患者の初期評価とRRS ・ 平成28年度発生した事例 ・ これで安心、気道確保 ・ 生体監視モニターの設定と確認事項について ・ 不眠・せん妄対策の基本 ・ 医療裁判と診療録 ・ 再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・ その他の予防すべき感染症 ・ 医薬品の安全使用について ・ 研修医のインシデント報告促進に関する研修会 ・ 医療安全と5S 私たちは5Sに取り組んでいます ・ 除細動器取扱い研修会 ・ 全国で発生している医療事故について	

- ・流動留置カテーテルによる褥瘡予防
- ・創傷被覆材の使い方と症例報告
- ・相互チェック及びピアレビュー報告
- ・医療安全監査委員会報告
- ・こどもの鎮静 Up to Date
- ・公認クリティカルパスと医療安全
- ・公認クリティカルパス分析～電子パスから見えたこと～
- ・ネーザルハイフローによる呼吸ケアと安全管理について
- ・人肺炎診療ガイドライン2017を紐解く～超高齢社会における抗菌薬の有用性と限界～

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
- ・ インシデント情報の発信
日々報告のあるインシデント事例から特に警鐘を促すべき事例について毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している
- ・ リスクマネージャーを対象とした研修会の開催
- ・ 医療安全管理マニュアルとホームページの改訂
- ・ 「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載
- ・ 再活性化B型肝炎予防策策定とシステム改修の検討
- ・ PET-CT検査前チェックリストの作成、改訂
- ・ ガベキサートメシル酸塩の院内ルール作成、周知
- ・ 報告すべき事例の例示
- ・ インスリン注射指示だし、指示受け実施に関する院内ルール作成、周知
- ・ 透視室救急カート、AED配置状況改善

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： (1) 院内感染防止対策のための措置に関すること。 (2) 院内感染防止対策に係る職員の教育及び研修に関すること。 (3) 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 (4) グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 (5) その他院内感染防止対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年42回
・ 研修の内容（すべて）： テーマ ・ これだけは実践しよう！感染対策の基礎 ・ 感染対策担当者の役割 ・ 手指衛生とPPE着脱演習 ・ 医薬品の安全使用について ・ 抗菌薬の適正使用 ・ 敗血症診療と小児感染症 ・ 医療関係者とワクチン～院内感染対策と自らの健康のために～ ・ エピネットの年度集計報告 ・ 呼吸管理における感染症対策 ・ 再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・ その他の予防すべき感染症 ・ 感染防止のための環境管理 ・ 呼吸管理セミナー ・ 流動留置カテーテルによる褥瘡予防 ・ 創傷被覆材の使い方と症例報告 ・ ネーザルハイフローによる呼吸ケアと安全管理について ・ 人肺炎診療ガイドライン2017を紐解く～超高齢社会における抗菌薬の有用性と限界～	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 感染症法に基づく院内報告基準の改訂 ・ 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 ・ アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ・ ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 ・ 経路別予防策の指導・教育 ・ 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ・ ベストプラクティスの作成、遵守状況確認	

- ・抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例）
- ・交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止
- ・血液培養複数セット採取の推奨

(注) 前年度の実績を記入すること

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	⑤・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年10回
・ 研修の主な内容： ・ 抗菌薬の適正使用、医薬品の適正使用について ・ 再活性化B型肝炎の発生予防とシステム更新について ・ 薬剤部におけるリスクマネジメント ・ 医薬品の管理と安全使用について ・ 血糖降下薬、インスリンについて ・ 向精神薬について 等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (⑤・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 ・ 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 ・ 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 ・ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (⑤・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 手順書の見直し ・ 情報の院内通知（ホームページ、電子メール、オーダシステム上） - 特に重要な情報については、使用状況確認し、処方医に文書を送付 ・ 副作用を収集して院内に周知するとともに、重篤事例を厚生労働省へ報告 ・ 疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化（禁忌、適応外使用含む） ・ 類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を工夫 ・ 各診療科に対し適応外使用の状況調査実施	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 3 回
・ 研修の主な内容： ・ 呼吸管理セミナー ・ 生体監視モニターの設定と確認事項について ・ 除細動器取扱い研修会 等	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (①・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 ・ 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ 輸入角膜を使用した角膜移植術（3 症例） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 ・ 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 ・ 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	①・無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。 医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。 なお、平成28年9月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	②（3名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 緊急安全性情報、安全性速報、医薬品の適正使用に関して、ホームページ掲載や全職員宛eメール送信のみでなく、該当診療科のリスクマネージャー宛に再度情報をeメール送信し、周知内容の確認並びに確認表の管理を依頼。その他の情報については必要に応じて対応。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 処方監査時に発生する疑義照会内容の確認・把握と院内情報共有（毎月） 高度新規医療評価部会での協議（適宜） 臨床倫理審査委員会での審議内容の把握（適宜） ・担当者の指名の有無（③・無） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部，職種 薬剤師） （所属：薬剤部，職種 薬剤師） （所属：薬剤部，職種 薬剤師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（④・無）	

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

医療安全

【遵守状況の確認】

- ・影響度レベル 3a 以上のインシデントが発生し報告された時
- ・報告されたインシデントの経過を確認する時
- ・全死亡・死産事例を把握・検討する時

【指導の主な内容】

- ・インシデントに関わる IC 関連記録に不備・不適切な記載があるもの。
- ・インシデントに関する IC の記録がないもの。

診療録

診療録管理室：診療科単位でカルテレビューを行い、対象症例から IC 記載等に関する状況を確認し、内容の検討を行って指導している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	④・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療記録の量的・質的監査を定期的実施し、委員会で報告している。特に退院サマリについては多部署（診療録管理室、診断書作成補助室、がん登録室、DPC 管理室）で監査し、不備が見つかった退院サマリは診療科へ修正依頼を行っている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	④・無
・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ■事故防止に関すること インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる ■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること 基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全	

な業務の遂行につながるような研修を企画・実施

■院内の事故に関すること

状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導
診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底
原因究明・改善策の確認や必要な指導

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（５件）、及び許可件数（５件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・活動の主な内容：
 - （１）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （２）（１）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
 - （３）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
 - （４）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（１件）、及び許可件数（１件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）

・活動の主な内容：

- (1) 診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
- (2) (1)の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- (3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
- (4) 未承認新規医薬品等の使用の適否について決定したとき及び未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（☒有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（☒有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年248件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年146件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成28年9月から実施している。報告の実施状況の確認については、平成28年9月分から医療安全管理部でチェックを行っている。

有害事象（報告範囲）についての報告は、基準を影響度分類3b以上とした上で死亡例も含め既に実施している。

確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会（委員長：病院長）で報告している。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：鳥取大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：東京医科歯科大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

画像診断報告書等の確認に関して院内ルールを制定した。

画像診断報告書等の未読レポートを出力するよう検討中。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

○「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置

・医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼

○「意見箱」：患者、職員等からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置

・外来診療棟1階総合案内、北棟1階エレベーターホール、北棟・南棟5階から11階までの各ラウンジ、ウエストウイング1・2階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記

・医療安全に係る内容に関する意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

・医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策

・職員の安全に対する意識・安全に業務を遂行するための技能及びチームの一員としての意識の向上

・インシデント等の報告

・高難度新規医療技術の導入プロセス

・インフォームド・コンセント

・診療録記録記載について

・監査委員会からの指導報告

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加

(平成29年度は医薬品安全管理責任者及びインフォームド・コンセント責任者の2名が参加)

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

平成29年度 医療安全管理・院内感染対策研修会 (医療安全管理)

○ 全体 (全病院職員) に向けた内容の研修会

開催日	開始時間	時間	場所	受講者数 (名)	受講料 (円)	(人数)					研修会名	テーマ	講師
						医師	看護師	医学生	研修生	その他 (名)			
平成28年4月17日	14:00												
平成28年4月17日	17:30												
平成28年4月18日	17:00	90分	百年講堂大ホール 十中ホール3	2,820	2,826	1,087	69	393	1,039	252	6	必須	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年4月19日	17:00												・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年4月20日	17:00												
平成28年5月9日	14:00	90分	臨床小講堂										
平成28年5月9日	17:00	90分	臨床大講堂										
平成28年5月12日	14:00	90分	臨床大講堂										
平成28年5月12日	17:00	90分	臨床大講堂										
平成28年5月15日	10:00	90分	臨床小講堂										
平成28年5月15日	17:00	90分	臨床大講堂										
平成28年5月18日	10:00	90分	臨床小講堂	409	489	190	15	53	206	35	0	必須	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年5月18日	17:00	90分	臨床大講堂										
平成28年5月19日	10:00	90分	臨床小講堂										
平成28年5月19日	14:00	90分	臨床小講堂										
平成28年5月19日	17:00	90分	臨床大講堂										
平成28年5月24日	10:00	90分	臨床小講堂										
平成28年5月24日	14:00	90分	臨床小講堂										
平成28年5月17日	18:00	60分	百年講堂大ホール	472	472	177	55	59	161	20	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年7月5日	18:00	90分	臨床大講堂	391	391	137	6	55	166	27	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年8月16日	17:30	60分	臨床大講堂	205	206	39	2	26	122	16	1	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年8月22日	18:30	90分	百年講堂大ホール	173	173	95	1	48	24	5	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年8月27日	17:30	30分	臨床大講堂	123	123	41	2	17	56	7	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年7月11日	18:00	90分	百年講堂大ホール	410	410	137	26	53	137	57	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年7月18日	17:30	90分	臨床大講堂	217	217	80	2	28	91	16	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年8月12日	14:00 17:30	90分	臨床大講堂	258	258	64	2	45	103	44	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年8月8日	18:00	90分	臨床大講堂	74	74	60	2	2	5	5	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年9月17日	10:00 14:00 17:30	90分	臨床大講堂	440	441	87	2	61	248	82	1	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年9月28日	17:30	30分	臨床大講堂	24	24	0	0	9	10	5	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎
平成28年10月17日	14:00 17:30	90分	臨床大講堂	408	408	108	13	59	187	41	0	選択	・医療安全管理研修 ・院内感染対策研修 ・これだけは実践しよう！感染対策の基礎

開催日	開始時間	時間	場 所	受講者数 (100名以下)	受講者数 (100名以上)	(内 訳)					研 修 会 名	テ ィ マ	講 師	
						医師 数(人)	看護師 数(人)	技師等 数(人)	研修医 数(人)	その他 (9名以下)				
平成28年10月10日	17:30	30 分	臨床大講堂	106	106	35	3	12	52	4	0	医療安全管理研修会	全国で発生している医療事故について ～他機関と連携されている事例を中心として～	医療安全管理課 後 援
平成28年10月23日	14:00													
平成28年10月24日	17:00													
平成28年11月8日	17:00	90 分	臨床大講堂	235	235	135	3	29	22	46	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD研修会)	本院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	DVD教材使用
平成28年11月9日	14:00													
平成28年11月17日	17:00													
平成28年11月18日	14:00 17:30	60 分	臨床大講堂	383	383	141	6	67	139	30	0	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 エビデンスの活用と実践報告	平成28年度発生した事例 エビデンスの活用と実践報告 第12回研修会をのぞく 「医療安全管理・院内感染対策合同研修会(海 外出張研修会共催)」による感染予防 ・医療安全管理の取り組みと実践報告	DVD教材使用
平成28年1月15日	17:30	60 分	臨床大講堂	74	74	34	1	10	25	4	0	医療安全管理・院内感染対策合同研修会(海 外出張研修会共催)	平成28年度 第一回医療安全管理委員会報告	・医療安全管理課 ・感染制御課 ・立花 由紀子 ・松田 真智
平成28年1月18日	17:30	30 分	臨床大講堂	78	78	26	2	11	35	4	0	医療安全管理研修会	平成28年度 国立大学附属病院 相互チェック及びアラーム 報告 平成28年度 第一回医療安全管理委員会報告	医療安全管理課 後 援
平成28年1月20日	18:00	60 分 北野4階カンファレンス ルーム		48	48	36	1	3	6	2	0	医療安全管理研修会 (小室科共催)	こともの語学 Up to Date	・大分大学 小室科 久 藤 二
平成28年1月31日	17:30	75 分	臨床大講堂	61	61	30	1	4	17	9	0	医療安全管理研修会(カルテ委員会共催)	クリニカル・バイタル・ビートと医療安全 ～公認クリニカル・バイタル・ビートから見たこと～	
平成28年2月1日	18:30	90 分	百年講堂大ホール	148	148	109	0	7	28	4	0	第13回呼吸器学会(共催)	「オーガニザン」による呼吸ケアと安全管理について ・人財本部がガイドライン2017を提議し、一層医療安全における改善 活動の推進を促す	・本館1階研修室 ・大分大学医学部長・大分南院院長 門田 孝一
平成28年4月～ 平成29年3月			各 日	163	163	112	0	14	23	12	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策 DVD研修会	本院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成28年4月～ 平成29年3月			各 日									【選択】医療安全管理・感染対策DVD研修会	(DVD教材)	
合 計				3,717	3,723	1,504	87	489	1,280	345	6			回
必要研修会出席率				102%	102%	41%	2%	13%	35%	9%	0.2%			

平成29年度 医療安全管理・院内感染対策研修会(DVD貸出一覧)

開催日	時間	部署	出席者数 (名)	受講者数 (名)	受講者数					(内訳)					研修名	テーマ	講師
					医師 数	看護師 数	技師 数	管理 職員 数	事務 職員 数	研修 職員 数	その他 (学生等)						
平成28年4月19日	90分	きらめきプロジェクト	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年6月5日	90分	総合外来	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年6月8日	90分	整形外科	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年6月8日	90分	北7-2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年6月14日	90分	放射線科	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年6月20日	90分	歯科衛生室	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月11日	90分	南7-2	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月11日	90分	創傷外科	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月12日	90分	放射線科 光手術室	3	3	3	0	0	0	0	3	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月14日	90分	北4-1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月14日	90分	グローバル感染症センター	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月18日	90分	総合診療科	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年7月27日	90分	管内循環科	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年8月4日	90分	総合外来	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年8月10日	90分	放射線科・光手術室	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年8月18日	90分	放射線科・光手術室	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年8月25日	90分	整形外科	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月1日	90分	北4外4・5階	3	3	3	0	0	0	0	3	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月1日	90分	総合外来	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月8日	90分	放射線科・光手術室	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月8日	90分	検査部	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月20日	90分	ICU	16	16	16	0	0	0	0	16	0	0	選択	合同	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 SSは医療安全の基本	(DVD教材)	
平成28年9月21日	90分	GCU	12	12	12	0	0	0	0	12	0	0	選択	合同	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 抗菌薬の適正使用 経腸栄養の適正使用	(DVD教材)	
平成28年9月28日	90分	第1内科	21	21	21	21	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月28日	90分	MEセンター	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年9月20日	90分	WV1・2階	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年10月2日	90分	総合外来	3	3	3	0	0	0	0	3	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	
平成28年10月17日	90分	南5階5階2病棟	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	選択	合同	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 SSは医療安全の基本	(DVD教材)	
平成28年10月18日	90分	南5-2	2	2	2	1	0	0	0	1	0	0	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)	

開催日	時間	部署	受講人数 (定員)	受講会場	(内訳)				開催形態	開催回数	開催時期	開催場所	開催内容	開催日	開催時間	開催場所
					受講人数	受講会場	受講人数	受講会場								
平成28年10月18日	60分	総合研究課	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年10月18日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年10月18日	90分	総合診療科	4	4	1	0	0	0	3	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年10月18日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年10月27日	60分	北-2	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年10月27日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月2日	60分	南-1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月2日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	北-2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	南10	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	国際医療部	6	6	4	0	0	0	2	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	12:00~13:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	水戸医療部	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	13:00~14:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	南11	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	14:00~15:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	北-1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	15:00~16:00	（DVD教材）
平成28年11月6日	60分	北3	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月6日	16:00~17:00	（DVD教材）
平成28年11月9日	30分	最善サービス課	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月9日	10:00~10:30	（DVD教材）
平成28年11月10日	60分	整形外科	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月10日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月10日	60分	WNI・2階	4	4	0	0	0	0	4	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月10日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年11月10日	60分	南5-1	8	8	0	0	0	0	8	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月10日	12:00~13:00	（DVD教材）
平成28年11月10日	60分	第1内科	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月10日	13:00~14:00	（DVD教材）
平成28年11月16日	60分	皮膚科	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月16日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月16日	90分	精神科	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月16日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年11月17日	60分	神経内科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月17日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月17日	60分	南5-1	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月17日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年11月17日	60分	北-2	4	4	0	0	0	0	4	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月17日	12:00~13:00	（DVD教材）
平成28年11月21日	90分	第2外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月21日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月21日	60分	総合診療科	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月21日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年11月21日	60分	北-1	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月21日	12:00~13:00	（DVD教材）
平成28年11月21日	60分	山口診療科	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月21日	13:00~14:00	（DVD教材）
平成28年11月21日	60分	歯科	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月21日	14:00~15:00	（DVD教材）
平成28年11月21日	60分	がんセンター	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月21日	15:00~16:00	（DVD教材）
平成28年11月22日	60分	総合診療科	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月22日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月22日	60分	小児科	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月22日	11:00~12:00	（DVD教材）
平成28年11月24日	60分	小児科	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月24日	10:00~11:00	（DVD教材）
平成28年11月24日	60分	眼科	24	24	0	0	2	0	2	0	0	0	「医療の適正使用」に関する講演会	平成28年11月24日	11:00~12:00	（DVD教材）

開催日	時間	部署	受講者数 (名)	(内訳)					研修名	講師
				医師 研修生	研修員	研修員 研修生	研修員 研修生	その他 (研修生)		
平成29年11月22日	60分	第1内科	21	21	0	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	法、インフルエンザ予防対策 抗ウイルス薬・抗ウイルス薬の活用方 (DVD教材)
平成29年11月24日	60分	小児科・フェン ニクス	4	4	0	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗ウイルス薬・抗ウイルス薬の活用方 (DVD教材)
平成29年11月24日	60分	検査部	7	7	1	0	6	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	ESは医療安全の基本 (DVD教材)
平成29年11月27日	90分	神経内科	1	1	0	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	心臓血管外科	19	19	0	2	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	循環器内科	37	37	0	5	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	ARO次世代医療セ ンター	8	8	2	0	6	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗ウイルス薬・抗ウイルス薬の活用方 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	1	1	0	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	病理科	1	1	0	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	消化器内科	5	5	4	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗ウイルス薬・抗ウイルス薬の活用方 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	第3内科	3	3	0	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	病理科	11	11	9	0	2	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	ハードセンター	1	1	0	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	3	3	0	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	15	15	1	0	12	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	矯正歯科	10	10	0	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	第一内科	2	2	1	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	小児科	2	2	1	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	5	5	4	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	第3内科	28	28	27	0	1	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗ウイルス薬・抗ウイルス薬の活用方 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	33	33	32	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	眼科	4	4	3	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	1	1	0	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	3	3	2	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	3	3	2	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	ESは医療安全の基本 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	泌尿器科	7	7	6	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	泌尿器科	4	4	4	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	泌尿器科	2	2	0	0	0	0	【必須】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理について これだけは実践しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	泌尿器科	15	15	15	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗ウイルス薬・抗ウイルス薬の活用方 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	第一内科	16	16	15	0	0	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	31	31	26	0	5	0	【選択】医療安全管理、院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度報告 (DVD教材)

開催日	時間	部署	希望者数 (申込者)	受講者数	(内訳)				研修名	テーマ	開 演
					座席 数	座席 数	座席 数	座席 数			
平成29年11月30日	60分	総合診療科	6	6	0	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	高度化医療体制構築とシステム更新について、その後の 予防すべき感染症	(DVD教材)
平成29年11月30日	60分	泌尿器科	8	8	7	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗腫瘍薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年11月30日	60分	皮膚科	6	6	6	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年12月1日	60分	循環器科	4	4	4	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗腫瘍薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年12月1日	60分	子どものこころの 診療科	4	4	1	0	2	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	腫瘍的検査・処置、手術前後の抗腫瘍薬・抗血小胞薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成29年12月1日	60分	手術部	2	2	2	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年12月5日	60分	臨床研修センター ラー	15	15	15	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	5Sは医療安全の基本	(DVD教材)
平成29年12月7日	90分	心療内科	7	7	3	0	2	2	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月7日	90分	3内科	1	1	1	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月10日	90分	産婦人科	5	5	5	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月10日	60分	せきめきプロジェクト	1	1	1	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗腫瘍薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年12月11日	60分	腫瘍外科	16	16	16	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗腫瘍薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年12月14日	60分	心療内科	19	19	17	0	1	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	高度化医療体制構築とシステム更新について、その後の 予防すべき感染症	(DVD教材)
平成29年12月21日	60分	産婦人科	24	24	23	0	1	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年12月25日	90分	総務課	1	1	0	0	0	1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月27日	60分	総務課	2	2	0	0	0	2	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	5Sは医療安全の基本	(DVD教材)
平成29年12月28日	60分	北+2	3	3	0	0	0	3	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	腫瘍的検査・処置、手術前後の抗腫瘍薬・抗血小胞薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成30年1月4日	60分	眼科	1	1	0	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年1月15日	60分	総合診療科	1	1	0	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年1月31日	60分	2内科	2	2	2	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	腫瘍的検査・処置、手術前後の抗腫瘍薬・抗血小胞薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成30年2月5日	60分	せきめきプロジェクト	1	1	0	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	5Sは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月6日	60分	腎臓科	1	1	0	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	5Sは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月7日	60分	救命救急センター	1	1	1	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年2月7日	60分	せきめきプロジェクト	1	1	0	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	5Sは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月8日	30分	産婦人科	3	3	3	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院における8割の症例の高度化対策について	(DVD教材)
平成30年2月8日	90分	産婦人科	1	1	0	0	0	1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年2月8日	60分	形成外科	3	3	2	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度業績報告	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	救命救急センター	4	4	4	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	高度化医療体制構築とシステム更新について、その後の 予防すべき感染症	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	救命救急センター	3	3	3	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	腫瘍的検査・処置、手術前後の抗腫瘍薬・抗血小胞薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	ARO次世代医療セン ター	2	2	2	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度業績報告	(DVD教材)
平成30年2月12日	60分	腫瘍内科	4	4	4	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	自院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)

開催日	時間	部署	受講者数 (人数)	(内 訳)						研 修 会 名	テ ー マ	講 師
				医師 他医療従事者	薬剤師 他医療従事者	看護師 他医療従事者	事務職員 他職員	その他 (学生等)				
平成30年2月13日	90 分	皮膚科	1	1	0	0	0	0	必須	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年2月13日	60 分	顎口腔外科	11	11	0	0	0	0	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成30年2月19日	60 分	2内科	1	1	0	0	0	0	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成30年2月20日	60 分	研究支援課	4	4	0	0	0	4	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月20日	60 分	2内科	19	19	0	0	0	0	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院における6型肝臓の再活性化対策について	(DVD教材)
平成30年2月24日	60 分	小児科	5	5	0	0	0	0	選択	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	再活性化B型肝炎患者の予後とシステム更新について、その他の 予防すべき感染症	(DVD教材)

平成29年度 医療安全管理・院内感染対策研修会

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会

172

平成29年度 医療安全管理・院内感染対策研修会(DVD貸出一覧)

開催日	時間	部署	参加人数 (定員)	受講者数	(内 容)					研 修 名 義	テ ー マ	備 考
					講師 出席人数	聴講者 出席人数	研修員 出席人数	その他 (研修生)				
平成29年4月18日	90 分	きらめくプロジェクト	1	1	0	0	1	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年4月18日	90 分	総合外来	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年4月18日	90 分	整形外科	1	1	1	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年4月18日	90 分	北-2	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年4月18日	90 分	放射線科	2	2	0	0	0	2	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年4月20日	90 分	歯科衛生室	1	1	0	0	1	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年4月20日	90 分	南-2	2	2	0	0	0	2	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月11日	90 分	期面口腔外科	2	2	2	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月12日	90 分	放射線科 光学医療部	3	3	0	0	0	3	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月14日	90 分	北-1	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月14日	90 分	グローバル・医療センター	1	1	0	0	0	0	1	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月18日	90 分	総合診療科	1	1	1	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月27日	90 分	総合診療科	1	1	1	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年7月27日	90 分	総合診療科	2	2	0	0	0	2	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月10日	90 分	きらめくプロジェクト	1	1	1	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月18日	90 分	放射線科・光学医療 部	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月24日	90 分	整形外科	4	4	4	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	北1東4-5院	3	3	0	0	0	3	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	総合外来	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	放射線科・光学医療 部	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	検査部	1	1	1	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	ICU	16	16	0	0	0	16	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	CCU	12	12	0	0	0	12	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	第1内科	21	21	0	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	MEセンター	1	1	1	0	0	0	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年8月31日	90 分	WV1-2階	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年10月3日	90 分	総合外来	3	3	0	0	0	3	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年10月17日	90 分	南棟5階2番機	1	1	0	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	
平成29年10月18日	90 分	南-2	2	2	1	0	0	1	0	必須]医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当該の医療安全管理対策について これだけは要読しよう！感染対策の基礎 (DVD教材)	

開催日	時間	部署	出席者数 (人数)	受講者数 (人数)	(内訳)				研修会名	テーマ	講師
					医師 研修生	研修員 研修生	研修員 研修生	その他 (研修生)			
平成29年11月24日	60分	第一内科	21	21	0	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	臨床的検査・処置・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成29年11月24日	60分	小児科・小児外科・小児科 一室二室	4	4	0	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗凝固薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年11月24日	60分	検査部	7	7	1	0	6	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	神経内科	1	1	1	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	心臓血管外科	19	19	17	0	2	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	循環器内科	37	37	32	0	5	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	ARO近代医療セン ター	8	8	2	0	6	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗凝固薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	1	1	1	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	腫瘍科	1	1	1	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	80分	リハビリテーション センター	5	5	4	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	臨床的検査・処置・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	第三内科	3	3	3	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	循環器科	11	11	9	0	2	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	ハートセンター	1	1	0	0	1	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	80分	薬剤部	3	3	0	3	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	15	15	1	0	12	2	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	矯正歯科	10	10	0	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	第一外科	2	2	1	0	1	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	80分	小児科	2	2	1	0	1	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	5	5	4	0	0	1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	第三内科	28	28	27	0	1	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗凝固薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	放射線科	33	33	32	0	0	1	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度業績報告	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	眼科	4	4	3	0	0	1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	1	1	1	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	呼吸器科	3	3	2	0	1	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	呼吸器科	3	3	2	0	1	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	泌尿器科	7	7	6	0	0	1	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	循環器内科	4	4	4	0	0	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	90分	ARO近代医療セン ター	2	2	0	0	2	0	【必須】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	神経内科	15	15	15	0	0	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗凝固薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年11月27日	30分	第一外科	16	16	15	0	1	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院におけるB型肝炎の再活性化対策について	(DVD教材)
平成29年11月27日	60分	神経科	31	31	26	0	5	0	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)

開催日	時間	場所	受講人数 (定員)	受講者数	(内訳)				開催者	研修者名	テーマ	講師
					医師	看護師	薬剤師	その他 (専攻)				
平成29年11月30日	60分	総合診療科	6	6	0	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	高度化B型肝炎ウイルス予防システム更新について、その他の予防すべき感染症	(DVD教材)
平成29年11月30日	60分	泌尿器科	8	8	7	0	0	0	1	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年11月30日	60分	皮膚科	6	6	6	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成29年12月1日	60分	循環器科	4	4	4	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年12月4日	60分	子どものこころの診療科	4	4	4	1	0	2	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	個別化治療・薬物・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成29年12月4日	60分	手術部	2	2	2	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成29年12月5日	60分	臨床検査科	15	15	15	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成29年12月7日	90分	心療内科	7	7	3	0	2	0	2	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月7日	90分	3内科	1	1	1	0	0	0	0	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月8日	90分	産婦人科	5	5	5	0	0	0	0	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月10日	60分	せらみきプロジェクト	1	1	1	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年12月11日	60分	調剤科	16	16	16	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬の適正使用 抗凝固薬の適正使用	(DVD教材)
平成29年12月14日	60分	心療内科	19	19	17	0	1	0	1	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	高度化B型肝炎ウイルス予防システム更新について、その他の予防すべき感染症	(DVD教材)
平成29年12月21日	60分	産婦人科	24	24	23	0	1	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成29年12月25日	90分	総務課	1	1	0	0	0	0	1	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成29年12月27日	60分	総務課	2	2	0	0	0	0	2	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成29年12月28日	60分	北-2	3	3	0	0	0	0	3	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬・薬物・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成30年1月4日	60分	眼科	1	1	0	0	0	0	0	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年1月15日	60分	総合診療科	1	1	0	0	0	0	0	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年1月31日	60分	2内科	2	2	2	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	抗腫瘍薬・薬物・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成30年2月5日	60分	せらみきプロジェクト	1	1	0	0	0	0	1	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月6日	60分	腎臓科	1	1	0	0	0	0	1	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月7日	60分	救命救急センター	1	1	1	0	0	0	0	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年2月7日	60分	せらみきプロジェクト	1	1	0	0	0	0	1	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	BSは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月8日	30分	産婦人科	3	3	3	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院におけるB型肝炎の感染性化対策について	(DVD教材)
平成30年2月8日	90分	産婦人科	1	1	0	0	0	0	1	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	救命救急センター	3	3	2	0	0	0	1	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	救命救急センター	4	4	4	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	高度化B型肝炎ウイルス予防システム更新について、その他の予防すべき感染症	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	救命救急センター	3	3	3	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	個別化治療・薬物・手術前後の抗凝固薬・抗血小板薬の使用方 法、インフルエンザ予防対策	(DVD教材)
平成30年2月9日	60分	ARO救急センター	2	2	2	0	0	0	0	「選択」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビネットの年度統計報告	(DVD教材)
平成30年2月12日	60分	循環器内科	4	4	4	0	0	0	0	「必須」医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！感染対策の基礎	(DVD教材)

開催日	時間	部署	出席人数 (人)	(内 訳)						研修会名	テ ィ マ	講 師
				医師 数(人)	医科 数(人)	看護系 職員 数(人)	専任 研修 員 数(人)	その他				
								研修員	その他 (人)			
平成30年2月13日	90分	皮膚科	1	1	1	0	0	0	0	合同 (DVD)	当院の医療安全管理対策について これだけは実践しよう！ 感染対策の基礎	(DVD教材)
平成30年2月13日	60分	歯口腔外科	11	11	0	0	0	0	0	合同 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度集計報告	(DVD教材)
平成30年2月14日	60分	口腔腫瘍診療科	1	1	1	0	0	0	0	部会 (DVD)	全職員が知っておきたいスタンダードアプリケーション	(DVD教材)
平成30年2月16日	60分	がんセンター	1	1	0	0	0	0	1	部会 (DVD)	全職員が知っておきたいスタンダードアプリケーション	(DVD教材)
平成30年2月19日	60分	診療情報管理室	2	2	0	0	0	0	2	部会 (DVD)	全職員が知っておきたいスタンダードアプリケーション	(DVD教材)
平成30年2月19日	60分	2内科	1	1	1	0	0	0	0	合同 (DVD)	平成28年度発生した事例、エビデンスの年度集計報告	(DVD教材)
平成30年2月20日	60分	研究支援課	4	4	0	0	0	0	4	合同 (DVD)	ESは医療安全の基本	(DVD教材)
平成30年2月20日	60分	2内科	19	19	0	0	0	0	0	合同 (DVD)	病院における8月以降の異常発生状況について	(DVD教材)
平成30年2月24日	60分	小児科	5	5	0	0	0	0	0	合同 (DVD)	高度化医療対策発生予防システム更新について、その他の 予防すべき事項	(DVD教材)
平成30年3月1日	60分	歯口腔外科	1	1	1	0	0	0	0	部会 (DVD)	目で見る発生例	(DVD教材)
平成30年3月8日	60分	小児科・スベキナル ニース診療	1	1	1	0	0	0	0	部会 (DVD)	全職員が知っておきたいスタンダードアプリケーション	(DVD教材)

平成29年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成29年5月17日	60分	百年講堂大ホール	472	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	・抗菌薬の適正使用 ・医薬品の適正使用	・グローバル感染症センター 下野 信行 ・薬剤部 村岡 香代子
2	平成29年7月19日	60分	臨床大講堂	217	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (グローバル感染症センター、医薬品安全管理専門委員会主催)	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・その他の予防すべき感染症	・検査部 後藤 和人 ・グローバル感染症センター 下野 信行
3	平成29年8月7日	60分	臨床大講堂	258	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (医薬品安全管理専門委員会共催)	(DVD研修会) ・抗菌薬の適正使用 ・医薬品の適正使用	DVD研修会
4	平成29年10月17日	60分	臨床大講堂	408	医療安全管理・院内感染対策合同研修会 (グローバル感染症センター、医薬品安全管理専門委員会主催)	・再活性化B型肝炎発生予防とシステム更新について ・その他の予防すべき感染症	・検査部 後藤 和人 ・グローバル感染症センター 下野 信行
小計				1355			

○ 採用者への研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成29年4月5日	80分	外来第6Fカンファレンスルーム	9	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬剤部 尾川 理恵
2	平成29年5月11日	60分	臨床小講堂	121	新薬用書1ヶ月フォローアップ研修・看護実践研 修2	医薬品の管理と安全使用について	薬剤部 白濱 雅史
小計				130			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	平成29年6月1日	60分	北棟7階カンファレンスルーム	19	北7-2 ナースカンファレンス	血糖降下薬、インスリンについて	薬剤部 尾川 理恵
2	平成29年7月27日	80分	北11階病棟 師長室	11	北11-1病棟 勉強会	レジメン等について	薬剤部 森川 花枝
3	平成29年11月21日	60分	WW1階カンファレンスルーム	9	看護師 勉強会	向精神薬について	薬剤部 白濱 雅史
4	平成30年12月27日	60分	南9階カンファレンスルーム	8	南9階看護師 勉強会	GC療法/nab-PTX療法について	薬剤部 樋口 瞳
小計				47			

平成29年度 医療機器関連研修会

○ 全体（全施設職員）に向けた内容の研修会

日付	研修会分類	研修会名	会場	講師（敬称略）	主催・共催	参加者数	その他	計
1/2017.6.22	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	第37回呼吸器セミナー	MEセンター 佐佐木誠士 ほか	呼吸器セミナー 医療安全管理部 グローバル医療センター 医療機器安全管理部門委員会	95	24	54
2/2017.9.28	除動脈	機器安全使用のための研修会	第38回呼吸器セミナー	MEセンター 渡辺真由美 ほか	呼吸器セミナー 医療安全管理部 グローバル医療センター 医療機器安全管理部門委員会	79	13	104
3/2017.10.20	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	第39回呼吸器セミナー	MEセンター 江崎 元太郎 ほか	呼吸器セミナー 医療安全管理部 グローバル医療センター 医療機器安全管理部門委員会	79	13	104
4/2018.2.1	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	第39回呼吸器セミナー	MEセンター 江崎 元太郎 ほか	呼吸器セミナー 医療安全管理部 グローバル医療センター 医療機器安全管理部門委員会	79	13	104

○ 機器安全使用のための研修会

日付	研修会分類	研修会名	会場	講師（敬称略）	主催・共催	参加者数	その他	計
1/2017.4.10	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター 地下1階共用会議室	日本メトロニック 大塚氏	MEセンター	11	11	11
2/2017.4.12	血液浄化装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	堀江メディカル 谷口氏	MEセンター	12	12	12
3/2017.5.23	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	11	11	12
4/2017.5.29	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	15	15	15
5/2017.6.2・6	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	2	29	5
6/2017.6.5	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	10	10	11
7/2017.6.15	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	1	9	10
8/2017.6.29	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	12	12	12
9/2017.7.6	人工呼吸器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	10	10	10
10/2017.8.10	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	7	7	7
11/2017.8.29・23・28	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	30	2	32
12/2017.8.29	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	13	13	13
13/2017.8.31	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	9	9	9
14/2017.10.12	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	12	12	12
15/2017.10.28	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	2	20	22
16/2017.11.13	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	6	6	6
17/2017.11.28	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	8	8	8
18/2017.11.29	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	9	9	9
19/2017.12.7	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	8	8	8
20/2017.12.14	血液浄化装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	7	7	7
21/2017.12.26	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	8	8	8
22/2018.1.29	人工心臓・補助循環装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	7	7	7
23/2018.2.8	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	11	11	11
24/2018.2.12	その他ME機器	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	10	10	10
25/2018.2.19	血液浄化装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	14	14	14
26/2018.2.27	血液浄化装置	機器安全使用のための研修会	MEセンター	MEセンター 高橋氏 ほか	MEセンター	14	14	14

○ 機器導入研修会

日付	研修会分類	研修会名	会場	講師（敬称略）	主催・共催	参加者数	その他	計
1/2017.4.7	その他ME機器	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	15	7	22
2/2017.4.26	その他ME機器	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	10	10	10
3/2017.6.26	人工呼吸器	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	10	10	10
4/2017.8.17	その他ME機器	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	8	8	8
5/2017.9.19・20	人工心臓・補助循環装置	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	15	8	77
6/2017.11.28・29	人工心臓・補助循環装置	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	14	14	0
7/2018.3.30	その他ME機器	機器導入研修会	MEセンター	MEセンター	MEセンター	14	14	14

医療安全管理マニュアル（抜粋）

4) 医療安全管理部

医療安全管理委員会を有効に機能させるため、医療安全管理部教授を部長とする医療安全管理部を設置する。（医療法施行規則第9条の20の2第1項第6号）

医療安全管理部には、業務の中核を担うセーフティマネージャーを置く。

医療安全管理部は、医療安全管理委員会で決定された方針に基づき、組織横断的に院内の安全管理を担う。

医療安全管理部は以下の業務を行う。

1. 医療法上、医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 医療安全管理委員会に係る事務
- ② 事故その他の医療安全管理部門において取り扱うことが必要なものとして管理者が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、当該事象の発生の原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく従業者への必要な指導
- ③ 医療に係る安全管理に係る連絡調整
- ④ 医療に係る安全の確保のための対策の推進
- ⑤ 医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認

2. 医療法上、行う必要があるその他の業務

- ① インシデントレポートおよび影響度分類レベル3 b以上報告書の分析に関すること
- ② 医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること

3. 医療安全対策加算のために医療安全管理部が行わなければならない業務

- ① 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況および評価結果を記録していること
- ② 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数および相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録していること
- ③ 医療安全対策に係る取組みの評価等を行うカンファレンスが週1回程度開催されており、医療安全管理委員会および必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者が参加していること

4. その他

- ① 医療安全管理マニュアルの編集および見直しに関すること

九州大学病院高度新規医療評価部内規

施行 平成29年 4月 1日

最終改正 平成30年 1月17日

(趣旨)

第1条 この内規は、九州大学病院内規第11条第4項の規定に基づき、九州大学病院高度新規医療評価部（以下「評価部」という。）の組織その他必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 評価部は、医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の23第1項第7号ロ及び第9条の23第1項第8号ロの規定並びに当該規定に係る厚生労働省告示に基づき、九州大学病院（以下「本院」という。）における高度新規医療を用いた医療の適正な提供を図ることを目的とする。

(定義)

第3条 この内規において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 高難度新規医療技術 本院で実施したことのない医療技術（軽微な術式の変更等を除く。）であってその実施により患者の死亡その他の重大な影響が想定されるもの
- (2) 未承認新規医薬品 本院で使用したことのない医薬品であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (3) 未承認新規医療機器 本院で使用したことのない高度管理医療機器であって、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（昭和35年法律第145号）における承認又は認証を受けていないもの
- (4) 高度新規医療 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器を用いた医療

(業務)

第4条 評価部の業務は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 診療科の長から高度新規医療実施申請（以下「申請」という。）が行われた場合において、当該申請の内容を確認するとともに、第9条に規定する各委員会（以下「諮問委員会」という。）に対して当該高度新規医療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
- (2) 前号の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高度新規医療の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
- (3) 高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて、定期的に確認すること。
- (4) 高度新規医療の提供の適否等について決定したとき及び高度新規医療が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。

(組織)

第5条 評価部に、部長及び部員を置く。

- 2 部長は、医療安全管理責任者をもって充てる。
- 3 部長は、評価部の業務を統括する。
- 4 部員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 医療安全管理部長
 - (2) 医薬品安全管理責任者
 - (3) 医療機器安全管理責任者
 - (4) 麻酔科蘇生科科長
 - (5) 手術部副部長のうちから選ばれた者 1人
 - (6) 医師ゼネラルリスクマネージャー
 - (7) 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー

- (8) 看護師ゼネラルリスクマネージャーのうちから選ばれた者 1人
- (9) 臨床工学技士ゼネラルリスクマネージャー
- (10) インフォームド・コンセント小委員会委員長
- (11) その他評価部が必要と認めた者 若干人

(部門)

第6条 評価部に、次に掲げる部門を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門
- (2) 未承認新規医薬品評価部門
- (3) 未承認新規医療機器評価部門

(責任者)

第7条 各部門に次のとおり責任者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 医療安全管理部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 医薬品安全管理責任者
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 医療機器安全管理責任者

(実務担当者)

第8条 各部門に次のとおり実務担当者を置く。

- (1) 高難度新規医療技術評価部門 手術部副部長
- (2) 未承認新規医薬品評価部門 薬剤師ゼネラルリスクマネージャー
- (3) 未承認新規医療機器評価部門 臨床工学技師ゼネラルマネージャー

(諮問委員会)

第9条 評価部は、高度新規医療の提供の適否等について、内容に応じて次の委員会に意見を求めるものとする。

- (1) 高難度新規医療技術の提供 九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会
- (2) 未承認新規医薬品及び未承認新規医療機器の使用 九州大学病院臨床倫理委員会

(秘密の保持)

第10条 評価部の構成員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(事務)

第11条 高度新規医療評価部に関する事務は、研究支援課の協力を得て医療管理課において処理する。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、評価部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成30年1月17日から施行し、平成30年1月1日から適用する。

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第2条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成27年度九大規則第29号）第3条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第2号及び第3号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（平成29年10月4日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第2条第2項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力
医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。
2. 病院の管理運営上必要な資質・能力
当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。
3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力
九州大学アクションプランや九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有）

・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (委員名簿、選定理由：有 委員の経歴：無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有） ・ 公表の方法 本学Webサイトにおいて公表した。				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別 の 関係
荒殿 誠	九州大学	○	九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第1号に基づき理事のうちから総長が指名した者	有
玉上 晃	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第1号に基づき理事のうちから総長が指名した者	有
住本英樹	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第2号に基づく役職指定（医学研究院長）	有
古谷野潔	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第3号に基づく役職指定（歯学研究院長）	有
北園孝成	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第4号に基づき病院の診療科長を兼務する副医学研究院長から選出	有
中西洋一	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第5号に基づき病院から選出された本学の教員	有
松田峻一良	福岡県医師会		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第6号に基づき総長が委嘱した学外有識者（福岡県医師会長として医療について高い識見を有している）	無
大森 徹	福岡県保健医療介護部		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第6号に基づき総長が委嘱した学外有識者（福岡県の保健医療の責任者として豊富な知見を有している）	無
井上 亨	福岡大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第6号に基づき総長が委嘱した学外有識者（大学病院長として医学・医療安全について豊富な経験等を有している）	無
石橋達朗	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第7号に基づき総長が必要と認めた者	有
濱田正美	九州大学		九州大学病院長候補者選考会議規則第3条第1項第7号に基づき総長が必要と認めた者	有

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有	
合議体の主要な審議内容			
合議体の名称：九州大学病院運営会議			
合議体の主要な審議内容			
①運営方針に関する事項			
②中期目標及び中期計画に関する事項			
③規程等の制定及び改廃に関する事項			
④予算及び決算に関する事項			
⑤その他病院の運営に関する重要事項			
・ 審議の概要の従業者への周知状況			
議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知			
・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（有）			
・ 公表の方法			
本学Webサイトに掲載			
・ 外部有識者からの意見聴取の有無（有）			
九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
赤司浩一	○	医師	病院長
中村誠司		歯科医師	副病院長・科長
北園孝成		医師	副病院長・科長
須藤倡行		医師	副病院長・科長
中島康晴		医師	副病院長・科長
中村雅史		医師	副病院長・科長
堀内孝彦		医師	副病院長
濱田正美		看護師	副病院長
新納宏昭		医師	病院長補佐
塩瀬 明		医師	病院長補佐・科長
飯原弘二		医師	病院長補佐・科長
大賀正一		医師	病院長補佐・科長
中島直樹		医師	病院長補佐
水元一博		医師	病院長補佐
鮎澤純子		教員	病院長補佐
宮本敏浩		医師	副科長
有信洋二郎		医師	副科長

小川佳宏		医師	科長
吉良潤一		医師	科長
筒井裕之		医師	科長
中西洋一		医師	科長
加藤聖子		医師	科長
吉住朋晴		医師	副科長
田口智章		医師	科長
古江増隆		医師	科長
江藤正俊		医師	科長
神庭重信		医師	科長
園田康平		医師	科長
中川尚志		医師	科長
本田浩		医師	科長
辛島裕士		医師	副科長
門田英輝		医師	科長
水野晋一		医師	科長
野中和明		歯科医師	科長
高橋一郎		歯科医師	科長
前田英史		歯科医師	科長
西村英紀		歯科医師	科長
古谷野潔		歯科医師	科長
森 悦秀		歯科医師	科長
横山武志		歯科医師	科長
吉浦一紀		歯科医師	科長
和田尚久		歯科医師	科長
柏崎晴彦		医師	科長
三森功士		医師	科長
播谷勝三		医師	科長
平川雅和		医師	科長
池田水子		医師	副科長
康東天		医師	部長
小田義直		医師	部長
前田高宏		医師	部長
大塚隆生		医師	部長
下野信行		医師	センター長
後信		医師	部長
安藤真一		医師	センター長
清水周次		医師	部長
増田智先		薬剤師	部長
河野一郎		理学療法士	部長
吉田勇人		事務	部長
住本英樹		医師	教授
笹栗俊之		医師	教授
鴨打正浩		医師	教授
樽木晶子		医師	教授

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
 - ・ 公表の方法
本学Webサイトに掲載
 - ・ 規程の主な内容
九州大学学則第25条第2項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
九州大学病院規則第16条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、
病院長が別に定める。」
国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第9条第2項
「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算
責任者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - (1) 副病院長を7名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
副病院長 ①歯科担当、②統括担当、③総務担当、④経営担当、
⑤安全管理・危機管理担当、医療安全管理責任者、⑥別府病院担当、
⑦看護部総括担当
 - (2) 病院長補佐を7名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び
調査を行い、意見を具申
病院長補佐 ①教育担当、②経営担当、③医療安全、④安全管理・移行期医療担当、
⑤医療情報担当、⑥診療報酬担当、⑦監査・法規・IC担当
 - (3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日程	事業名	場所	参加者
平成30年2月16日	第1回病院経営次世代 リーダー養成塾	学術総合センター (東京)	病院長補佐(現病院長)、看護 師長等
平成31年2月9日	第3回病院長塾	品川シーズンテラス (東京)	病院長、副病院長等 (予定)

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	☒ 有・無				
・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： 第1回監査 以下の現状について監査 ・ 医療安全対策マニュアルやポケットマニュアルの整備状況 ・ 医療安全管理委員会の開催状況 ・ 医療事故調査制度の該当性判断のプロセス ・ 医療事故発生時の報告、原因究明、再発防止策の立案等 ・ 高度新規医療技術の導入の際の審査手続き ・ 未承認新規医薬品等の使用の際の審査手続き ・ 未承認医薬品、承認医薬品の適応外使用、禁忌使用に関する情報把握や指導 ・ 診療録の監査 ・ インフォームド・コンセント ・ 診療内容のモニタリング ・ 医療安全に関する内部通報 ・ 医療安全に関する職員研修の実施状況 ・ 事例検討会やM&Mカンファレンスなど、実際の事例の会議資料 第2回監査 以下の現状について監査 ・ 第一回委員会での指摘や提案に関する改善状況 ・ 医療安全対策マニュアルの改訂内容と周知 ・ 高難度新規医療技術および未承認医薬品等の審査事項 ・ 医療安全に関する内部通報 ・ 手術を安全に確保するための手順（ラウンド） ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（☒有・無） ・ 委員名簿の公表の有無（☒有・無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（☒有・無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・ 公表の方法：九州大学病院ホームページ					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
古賀 和徳	産業医科大学	○	安全管理の識見者	有・ ☒ 無	1
木村早希子	佐賀大学		安全管理の識見者	有・ ☒ 無	1
高橋 一久	産業医科大学		安全管理の識見者	有・ ☒ 無	1
秋好美代子	さく病院		安全管理の識見者	☒ 有・無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	有・ ☒ 無	1
宮部 治恵	NPO 法人がんサーサ ポート		医療を受ける者	有・ ☒ 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人九州大学の業務の適性を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。

本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。

・専門部署の設置の有無（有）

・内部規程の整備の有無（有）

・内部規程の公表の有無（有）

・公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
本年度より予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。
- ・ 会議体の実施状況（ 年38回（平成29年度））
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ 年 回 ）
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）
- ・ 公表の方法
本学Webサイトに掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：九州大学役員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ） ・ 周知の方法 メールにより病院内の全教職員へ定期的に周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 1) 「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価Ver. 6. 0」の更新審査を平成24年10月に受審し平成25年2月1日付けで認定（認定期間～平成30年12月31日） 2) 「公益財団法人日本適合性認定協会」の「ISO15189」（臨床検査室）の更新審査を平成25年11月に受審し平成26年3月26日付けで認定（認定期間～平成30年3月31日） 3) 「日本輸血・細胞治療学会」の「I&A」（遺伝子・細胞療法部）の更新審査を平成26年10月に受審し平成27年4月30日付けで認定（認定期間～平成32年3月31日） 4) 「一般財団法人日本医療教育財団」の「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の審査を平成29年2月に受審し平成29年3月15日付けで認定（認定期間～平成32年3月14日）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供 ○広報誌 1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付） 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供 2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付	

先進医療、臨床研究、医療連携、センター、トピックス等の情報を提供

3) 九大病院だより（患者向けに配布）

診療科・センターの診断・治療、外来診療日一覧、トピックス等の情報を提供

4) 診療科リーフレット（患者向けに配布）

病気の症状・治療法・検査内容等を診療科ごとに案内

○記者懇談会

九州大学記者クラブ（新聞社、テレビ局）に本院の情報を提供（新治療法、施設設置等）

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

○周術期支援センター

手術を受ける患者に、安全かつ円滑に手術前後の時期（周術期）を過ごしてもらうため、医師や看護師など他職種が連携して周術期管理の質の向上を目指す、周術期支援センターを開設している。

患者の全身状態は周術期の安全の維持に非常に大きな意味を持っていることから、周術期支援センターでは、麻酔科医が入院前に診察を行い、全身状態を把握し、手術に支障となる問題点があれば、どちらの治療を優先するべきかどうか判断する。看護師は身体的精神的評価と麻酔・手術のオリエンテーションを行い、不安の軽減に努める。また、周術期口腔ケアセンターと連携し、口腔ケアを確実に行い、周術期感染症の減少にも努める。手術前に中止すべき薬剤の確認を薬剤師が行い、確認もれによる手術中止や延期を防ぐ。

このように患者を中心として、外科系医師、麻酔科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、放射線部、事務など様々な職種が密に連携をとり協力して患者支援を進める体制をとっている。